

事務局からのお願い

★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください!

「澁江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受け付けております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

電話 06-6990-3664（直通）、FAX 06-6328-4564（直通）

電話 06-6328-2431（大学代表）

メール okusu@osaka-ue-denko.com



また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス → <https://www.osaka-ue-denko.com/>

大阪経済大学大樟会

検索

● 編集後記 ●

皆様のご協力のお陰で「澁江60号」を発刊することができました。感謝申し上げます。

この1年、本学発展のため大樟会がどのような協力をさせていただいたのか、学内でどんな行事があったのか、在学生たちはどんな活躍をしたのかを紹介しました。また、全国の支部、各種団体の活動報告や卒業生、恩師からのお便りも掲載しました。さらに、活躍されている卒業生の取材も行いました。特に今回、皆様からの情報をもとに取材した方が多いのも特徴です。今後とも、皆様の更なるご協力を宜しくお願いいたします。

（広報部部长・田中伸治）

表紙の言葉

今号の表紙は、大学と大樟会の「つながる力。」を表現しました。キッズスマイルフェスタ、客員教授アグネス・チャン氏の講演会、卒業生が講師のスケッチ教室・煎茶道教室、全日本大学駅伝ではチアリーダー部が初めて本格的な応援を繰り広げました。青山学院大学と神奈川大学に挟まれての晴れ舞台でした。これらの行事に大樟会が全面協力しました。

漫画・風狸けん(47回)

「澁江」の由来

初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澁江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば【澁江】大阪の淀川。澁水（でんすい）、澁河（でんが）。『淀』は「澁（でん）」に通ずる」と記載されています。

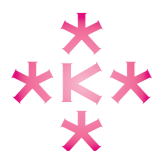
澁江

大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌
DENKO

2025年

60号



でんこう
澁江
2025

■発行日 2025年2月25日
■編集 大阪経済大学大樟会 広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話 06-6990-3664(直通)、06-6328-2431(大学代表)
メール okusu@osaka-ue-denko.com URL <https://www.osaka-ue-denko.com/>
■印刷 株式会社 広済堂ネクスト
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2F 電話06-7178-0530

OSAKA
UNIVERSITY
OF ECONOMICS

おおくすかい
大樟会(同窓会) 会員の皆さまへ

大阪経済大学大樟会
会長 角脇 忠行 (34回)



拝啓

初春の候、皆様にはますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素より大樟会(同窓会)活動に対し多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本年も多くの同窓生の皆さまとともに、母校の発展と同窓会の活動を推進していただけることに感謝し、その責任の重さを改めて実感しております。近年、急速な社会変化が進む中で、同窓会として果たすべき役割も多様化しています。このような時代においてこそ、卒業生が時代や地域を超えて繋がり合い、お互いに励まし合い、母校の未来を、さらなる発展を支えることが重要であると、そのような同窓会の意義を改めて感じる日々です。

昨年は、大樟会の次世代を担う若手会員の確保のため、重点施策の一つ目として「全国各支部の活性化」を取上げ、対応1として卒業生の中で住所が判明している約53,000人全員に本部から、地域支部総会のご案内を送付させていただき、支部総会開催の意義を多くの同窓生に感じていただけたのではないかと考えております。

また、対応2として中国ブロックを最初として、四国、九州、北陸、中部等のブロック会議を開催、各支部の課題を抽出し持続可能な支部総会の在り方を整理させていただきました。

【2025年度大樟会(同窓会)の目標と展望】

1.同窓生ネットワークの強化

全国に広がる同窓生のネットワークを生かし、交流をより活発にするための新たなオンラインフォーム構築を進めます。「つながる力」を活かしたネットワークの強化は、個人だけでなく、同窓生全体や母校の未来にも貢献します。

特に、デジタル技術を活用し、オンラインイベントや情報共有の機会を増やすことで、多様な世代が参加しやすい環境を整備します。同窓会が持続可能で豊かな活動展開ができる土台が築かれます。

2.在学生支援の充実

母校で学ぶ後輩たちが充実した大学生活を送れるよう奨学金やキャリア支援プログラムを拡充してまいります。同窓生が培った経験や知識を還元できる場を創出することで、在学生の未来を支える役割を果たしたいと考えています。「つながる力」は、同窓生、在学生がお互いに結び付き、母校や地域社会と協働して成長していく為の原動力です。

また、同業種、異業種間の「つながる力」の交流の場も検討してまいります。

3.記念事業の計画

将来に向けた大樟会(同窓会)の90周年記念事業を企画し、長い歴史を共有する意義を同窓生全体で感じられる機会を提供してまいります。招待する講師として著名な卒業生や企業経営者を考えています。また、学生や卒業生によるパフォーマンスも検討してまいります。

私たち大樟会(同窓会)は、これからも母校と在学生、そして全国に広がる同窓生を結びつける架け橋としての役割を果たしてまいります。引き続き同窓生の皆さま、大学関係者の皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

敬具
令和7年1月

学長再任にあたって

大阪経済大学
学長 山本 俊一郎



2019年4月に学長を拝命してから早6年が経とうとしています。この間、新たなミッション、100周年ビジョンに基づく新第一次中期計画を、各学部・研究科、事務部署の事業計画と有機的に結びつけながら、事業を推進してまいりました。特に、就任当初から継続案件であった学部再編に取り組み、最終的に各学部の入学定員増と国際共創学部の開設を実現することができました。これも偏に日頃よりご支援いただいている大樟会の皆様方のおかげです。この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。

これまでの6年間は、100周年の際に新たな本学の強みとなる事業の種まきの期間でもありました。例えば、グローバル科目の設置やダブルディグリー制度の実施に向けた体制の整備、オンライン授業の整備、学生が交流できるコモンズの整備、社会連携センター、国際交流センターの設置などがそれにあたります。3期目はその種から芽を出させ、花を咲かせることができるように尽力してまいります。

本学の最大の強みは4年間で学生を成長させる確かな教育力にあります。今年度は日経HRの就職力ランキングで全国上位に入りましたが、その背景には各教員が各学術分野において最先端の研究に勤しみ、その成果のエッセンスを教育現場にて学生に伝える「研究に裏打ちされた教育」にあると考えています。教育と研究、どちらも大切にしている大学としての評価をさらに強化すべく、研究ビジョンにおける主要施策にも力を入れていく所存です。

引き続き、変わらぬご支援、ご指導のほど何卒よろしく願いいたします。

CONTENTS

2 大樟会(同窓会)会員の皆さまへ 角脇会長	14 記念講演 アグネス・チャン客員教授	44 ゼミ短信
3 学長再任にあたって 山本学長	15 会則及び会則(内規)改正のその後	50 お世話になった先生からの お元気なお便り/叙勲・訃報
4 特集 阪南大学・平山弘学長に聞く	16 活躍するクラブ活動紹介	52 ズームアップ経大人
6 在学生の活動紹介	18 だいきけいキッズマイルフェスタ	66 本部だより
8 在学生支援の取り組み	19 風景スケッチを楽しむ会/煎茶道体験教室	69 大樟会支部長・各種部会会長一覧
9 能登地震寄付/学生支援企画/奨学金制度	20 新・北から南から	70 卒回理事一覧
10 スケッチ&エッセイ 母校周辺・思い出散歩	29 支部だより	71 都道府県別(地区別)支部会員数
11 経大を陰で支える人々	38 支部活動紹介	
12 2024大樟会総会	40 OB・OGネットワーク	

大学院で学んだ結果、学者さんになられた卒業生

高校の教え子たちに、よりレベルの高い授業をとの思いから

特集 阪南大学・平山弘学長に聞く



阪南大学学長
ひらやま ひろし
平山 弘氏 (51回)

令和6年4月1日、大阪府松原市にある「阪南大学」学長に卒業生の平山弘氏が就任されました。角協会長、角庵事務局長、田中広報部部長の3名が表敬訪問して対談させていただきました。

今回の対談に際しましては、職員の米田美夏係長に大変お世話になりました。本日も学長室までご案内いただきましたが、平山学長から驚きの発言がありました。「米田さんは冬季オリンピックに3回出場したショートトラックの選手で、7位入賞経験もあります」。

ご存知の方も多いと思いますが、この大学は硬式野球、サッカー、トランポリンなどでも優秀な成績を残されています。

* * *
この度は、ご就任おめでとうございます。

同窓生が学長に就任されたことは、大樟会にとっても大きな慶事です。まずは、学長のお子様時代から本学入学までのことをお聞かせください。

私は、昭和36年生まれの神戸市灘区出身です。摩耶山の麓でしたので父に連れられ、兄と共に山岳訓練的な登山を行っていました。夏には須磨海岸で本格的に水泳を学びました。小学校の時に剣道を始め、高校では硬式野球部に所属しました。

一次に、本学入学後のことをお聞かせください。

大学時代は弓道、少林寺拳法、中国拳法、社交ダンス、クラシックギターにも挑戦しました。岡本正ゼミに所属しゼミ幹事も経験しました。当時は、社会で活躍されている素晴らしい卒業生の講演会が頻繁に行われていました。中でも井阪健一氏(注1)の講演会が印象的でした。終了後、学生から「学ばれたマルクス経済学と近代経済学では、どちらが役立つ立ちましたか」との質問がありました。井阪氏は「どちらの学びも、社会に出てから大変役に立ちました」と答えられました。短いお答えでしたが、色々な考えを学問として学び、その学びを実社会で活かすという基本に気付かせていただきました。現に、岡

本先生は著名なマルクス経済学者でしたが、毎年発行される国の「経済白書」研究にも熱心に取り組んでおられました。(私自身4回生の時に地方上級公務員試験(近代経済学専攻)と自衛隊一般幹部候補生試験に合格し、証券会社からも内定をいただきました)。

一本学卒業後のことをお聞かせください。

卒業後、神戸女子商業高等学校教諭となり、平成2年に尼崎市立尼崎産業高等学校に異動。この間、昭和63年に神戸大学法学部を卒業。生徒たちに、より高度な内容の授業をする為さらに学びを深めたいと思い、大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程に入学し、平成9年修了。昼間大学院で学び、夜は尼崎市立城内高等学校の定時制で教えました。さらに平成13年に神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程で単位取得。平成15年まで兵庫県立西宮高等学校に勤務。教え子たちに、母校が募集している「17歳からのメッセージ」にチャレンジさせたこともあります。

一阪南大学に移られた後のことや学長の研究についてお聞かせください。

より学問の道を極めたいとの思いが強まり、平成15年に阪南大学流通学部の専任講師に採用されました。教授、学部長、大学院研究科長を経て学長に就任しました。私の学問は一言で表すと「ブランド価値の創造」です。大学院時代は日本のビール業界について研究しました。当時発売された「アサヒスーパードライ」とキリンとの戦い。

サッポロやサントリーはどうすれば良いのか。また、中国はじめ国際市場にどう参入したら良いのか、などを考察しました。現在は、海外の一流ブランドの戦略や日本での流通について、また国内の伝統産業の新しい取り組みについて、学生たちと現地に出向いて調査研究しています。

一学長室には一流ブランド品や色々な品が所狭しと並んでいますが、例えばこのジーンズや和傘についてお教えてください。また、その他にも取り組みがあればお教えてください。

このジーンズは「京都デニム」さんの製品です。着物作りの技術を活かした製品を製造

されています。和傘は「日吉屋」さんの作品ですが、伝統の技を利用して和風照明器具などを製造されています。伝統産業は生活様式の変化で需要が落ち込んでいますが、新たな価値を生み出すことで生き残りを図っている企業がたくさんあります。私は、学生たちが教室を飛び出して現場で学ぶ機会を増やすようにしています。新たな試みとして、近くのショッピングセンターでファッションショーを始めました。ショーの衣装もテナント様の商品をお借りすることで、地域、お店、学生に一体感が生まれ大盛況でした。

一他にも、特色ある取り組みはありますか。

eスポーツも本学は積極的に取り組んでおり、学内でeスポーツ大会も開催しています。「ゲームばかりしないで早く勉強なさい」と親が叱っていたのは過去の話です。ドローン操作もライセンス取得講座が開講され、毎年多くの学生が免許を取得しています。

また、2007年度に文科省の補助金、現代GP(注2)に選ばれ、「実学指向型総合的キャリアシステムの構築」に向けて取り組みました。大変有意義な補助金でしたが、期間は3年で終わるため、理事会にお願いして、引き続き、各キャリアゼミ活動に年20万円ずつの予算をいただくことで、継続することになりました。本学のゼミは、企業や地域社会などと連携する機会が多いのが特徴です。この予算は学長として私の掲げる「半端ないゼミ活動」推進にも大いに役立っています。

一最後に、同窓会についての学長の考えをお聞かせください。

まず同窓会活性化のため、在学中から学生との関わりを多くすることが大切だと思います。同窓会総会などで学生との接点を増やす工夫をして、同窓会の存在を学生たちに浸透させることも必要だと思います。同窓会では、学園祭で卒業生の皆さんに1,000円分のチケットをお渡ししています。学生たちの模擬店で使っていただくことで、良い関係性を築ききっかけになっています。将来的には同窓会にもお手伝いいただき、卒業生が仕事をしながらゲストスピーカー的に母校で後



輩たちを教えるようなシステムも構築できればと考えています。大学経営は今後益々厳しくなっていくと思いますが、卒業生、教職員、そして地域の皆さんも巻き込み一体化することで生き残りを図っていききたいと思います。

一学長は、地元松原市の総合計画策定の委員長や松原ブランド研究会のトップなどを務めておられます。長年の研究で得たノウハウを、地元発展のために活用されており、すでに地元を巻き込むことに成功されています。本日、学長の熱い思いをお聞きして、この大学が益々発展されることを確信いたしました。お忙しい中、本当にありがとうございます。

(聞き手= 会長・角協忠行、
事務局長・角庵勝巳、
広報部部長・田中伸治)



角協会長



角庵事務局長



田中部長

略歴 昭和60年本学経済学部卒業後、神戸女子商業高等学校、尼崎市立尼崎産業高等学校、尼崎市立城内高等学校(定時制)、兵庫県立西宮高等学校にて教諭。神戸大学法学部卒業。大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得満期退学。阪南大学流通学部教授、阪南大学流通学部長、阪南大学理事・評議員、阪南大学大学院企業情報研究科教授、阪南大学大学院企業情報研究科長。現在、阪南大学学長。文科省各種委員、松原市第5次総合計画「基本計画審議会」会長等歴任。現在、松原ブランド研究会顧問、まつばらマルシェ企画委員会副委員長、医療法人徳洲会松原総合病院医科研修管理委員会委員、日本教師会理事。

注1 本学元理事長。野村證券副社長、野村アセットマネジメント社長・会長、東京証券取引所副理事長、平和不動産社長を歴任。

注2 「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の略。各大学等から応募された中の優れた教育プロジェクトを財政支援し、高等教育の活性化を促進させることを目的とする。採択率19%の難関補助金。



阪南大学

在学生が、新入生や在学生らを支援！ ——ピア・サポート団体「DOGs」

母校キャンパスには、社会や地域に貢献し人々の役に立つ、多様な活動に取り組む学生の姿があります。今回は、学生が学生を支援するピア・サポート団体「DOGs (ドッグス)」をご紹介します。

(2024年8月3日取材、学年・肩書等は当時、敬称略)

在学生によるピア・サポート団体「DOGs」は、新入生の学習支援等を目的とし、2021年に発足した組織で、2024年度は165人が所属、活動しています。主な取り組みは次の通りです。

- ①新入生オリエンテーション(履修科目の選択に関する相談、大学ポータルサイトの説明など。2024年度は新入生2,000人に対応した交流会を開催)
- ②オープンキャンパス参加者(志願者、保護者)への対応

■ オープンキャンパスで活動するピア・サポーターたち



オープンキャンパスに参加する高校生や保護者らを出迎え



山本学長から大学の概要を紹介



キャンパスツアーで、参加者を案内するDOGsメンバー



フリートークで、参加者の質問に応えるDOGsメンバー



1日の活動が終了、全員で「明日もがんばろう！」

(学部別ブースでのフリートーク、キャンパスツアーなど)

③新入生・在学生への日常的な学習支援活動(レポート作成のサポートなど)


④各種研修の参加、他大学との交流活動(学内外で研修。また、他大学とのリーダー研修やピア・サポーター研修に参加など)


主な活動場所は母校図書館内の「ラーニング・コモンズ」で、館内には教育・学習支援センター(SCTL)が併設されており、教職員・学生が一体となって在学生たちの活動を支えている。DOGsの求める人物像は、ホスピタリティやピア・サポート精神などを養い、学内のさまざまな場面において他の学生に好影響を与える人材です。

■ 役員座談会

代表 田中 健斗さん (経済学部 3 回生)
 副代表 佐井 美月さん (経営学部 3 回生)
 副代表 牧野 莞大さん (経済学部 3 回生)
 渉外・広報 起 ほのかさん (経営学部 3 回生)
 <司会：広報部 田島 裕司>


司会 本日は、オープンキャンパスでの活動、おつかれさまでした。訪問した親子が「在学中の学生さんに直接、話が聞けてよかった」と感想を述べていたり、非常に好評でした。DOGsに参加した動機や活動して感じたことなどについて聞かせてください。


田中  まだ何もわからない新入生のとき、履修と単位の違い、大学ポータルサイトの使い方、学内資料の読み方などについて、DOGsの先輩にガイダンスしてもらい、大学生活への不安が払拭できました。私にとって衝撃的な出会いで、この先輩と関わりたい、先輩のようにになりたいと思い、DOGsに応募しました。

牧野  何か人のためになる活動がしたかったので、応募チラシを見て参加しました。想像通り、やりがいがあり、自分も成長できる活動でした。今年の新入生交流会は企画段階から携わり、2,000人を3部制に分けて運営。終了後、新入生たちのうち解けた笑顔を見て「やってよかった」と実感できました。


DOGs(DAIKEI Oritor's Group for Students)
 新入生・在学生をサポートし、学生同士で学び合う在学生組織。役員(代表/副代表/渉外・広報)は8月の選挙で決定。定例会・役員会を週1回ずつ開く。
教育・学習支援センター(SCTL)
 2019年4月、大学教育の充実と発展を目的した教育・学習支援センター(SCTL: Support Center for Teaching and Learning)を設置。
 2023年には、図書館1階にラーニング・コモンズ「創発の泉」を整備し、ピア・サポーターの活動等を支援する。
ピア・サポートとは？
 “ピア”は仲間、“サポート”とは「支援」することを意味し、“ピア・サポート”とは仲間や同輩が相互にサポートする活動のこと。



佐井  1回生のときオープンキャンパスの全体説明会で、自分自身についてスピーチしたのですが、数百人の前で話すのは初めてのこと。ものすごく緊張しましたが、おかげで自信ができました。2回生になったとき、「あのスピーチを聞いてDOGs参加を決めました」と1回生が言ってくれ、嬉しかったですね。

起  今日のオープンキャンパスで、私の留学体験を話した相手が「自分もそんな留学がしたい。大経大の入試、がんばります」と言ってくれました。「自分の進む道が見えてきた。受験したい」と言う高校生もいました。学生、教職員、他大学の学生など交流の輪が広がり、キャンパスライフを豊かにする活動です。

田中 研修の種類も豊富で、なかには夏期休暇中に離島で受けるプログラムもあります。定例会では、学年にかかわらず発言しやすいよう取り組んでいます。

司会  今では皆さんが、新入生や後輩の憧れになっていると思います。本日はありがとうございました。

在学生支援の取り組み

後輩たちの門出を祝い、卒業式・入学式を華やかに演出！

2024(令和6)年3月16日、午前・午後の2部制で、卒業式および学位授与式が開かれました。大樟会ではキャンパス入口にエアアーチを設置、撮影ブース設置や無料コーヒーサービスを行い、祝の式典に彩りを添えました。4月1日には入学式が行われ、新入生がピカピカのスーツ姿等で大学の門をくぐりました。

卒業式は暖かさと晴天に恵まれ、色とりどりの着物と袴、スーツなどを身に着けた卒業生が笑顔で会場のA館(フレアホール)へ入場。コロナ規制の解除により保護者の会場参加が可能となる一方、ライブ配信による自宅等からの視聴も選択できるようになりました。午前には経済学部、人間科学部、大学院経済学研究科、人間科学研究科、午後には経営学部、情報社会学部、大学院経営学研究科、経営情報学研究科の式典が行われ、合計1,538名(学部1,482名、大学院56名)が母校を巣立ちました。

式典は、吹奏楽総部によるファンファーレで開幕し、登壇した山本学長、山澤理事長が式辞を贈りました。続いて、角脇大樟会会長が祝辞として、「コロナ禍を多様な創意工夫で乗り越えてきた」学生たちを称賛・激励すると共に、卒業によって正会員となる彼らに歓迎の意を伝えました。次に、ウ

エルシアホールディングス株式会社社長・池野隆光氏(32回)、ジャパネットたかた創業者・高田明氏(37回)、大和リース株式会社社長・森田俊作氏(45回)の卒業生3名のビデオメッセージが披露され、学歌斉唱ののち閉式となりました。

大樟会の「エアアーチ」をくぐってD館に入ると、自由に撮影できる「顔出しパネル」や、背景に「祝・卒業」と書かれた「撮影ブース」が設置され、卒業を喜び合う学生で大賑わい。大樟会の理事らが撮影係を買って出て、「支部総会へ来てね」「必ず出席します」など、温かい会話を交わしました。また、ホットコーヒーを無料提供し、学生や保護者をもてなしました。

* * *

ようやく桜花が開き始めた4月1日に、入学式が行われました。新設された国際共創学部の新入生も加わり、合計2,268名(学部2,196名、大学院72名)が入学して、大樟会の仲間になりました。卒業式と同様、大樟会では入学を祝うエアアーチを設置。入学を祝う「撮影ブース」は行列ができるほどの人気ぶり、無料コーヒーも好評を博していました。

そのほか、学生支援の思いをこめて、入学生とその保護者の方々にも「瀬江」を配布し、一層の認知度アップを図りました。
※卒業生数・入学者数(編入含)は2024年5月1日現在



卒業式は、吹奏楽総部のファンファーレで開幕



撮影ブースで卒業を祝う



入学式でもエアアーチを設置



入学式でも好評の無料コーヒーサービス



入学式の撮影ブースで緊張の記念写真

能登地震義援金 500万円を寄付

地震から1カ月後の2024年2月、大樟会では各支部から協力をいただき能登地震の義援金として、北國新聞社勤務の小山健吾さん(70回)の協力で同社を通じて、多くの卒業生が暮らす石川県に、500万円を寄付しました。



2024年度も、食事支援を継続！

大樟会では、コロナ禍で苦勞する学生を支援するため、2020年度から無料弁当の配布や50円大樟うどんを提供、続けて2021年度～2023年度もさまざまな食事を安価で支援しました。

2024年度も同様に、4月9日～7月26日、10月15日～2025年1月24日の各期間に、生協手作りの丼弁当5種を100円で販売しました。

(2024年12月末現在、累計48,690食の支援を行いました)



大樟会の奨学金制度について

同窓会設立80周年記念事業の一つとして、2016年度の大樟会理事会で承認された大学の奨学金制度の支援が、2017年度から実施に移されました。大学の奨学金制度のうち、「遠隔地学生奨学金制度」について、大学枠とは別に同窓会枠を設け、援助しています。(2025年1月現在)



○大樟会遠隔地学生奨学金

遠隔地(近畿圏以外、または近畿圏で通学に2時間以上を要する地域)からの入学者を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
遠隔地からの入学者	新入生 20名	一部生 20万円 二部生 10万円	6月	家計基準 成績基準 (修得単位数)

★大樟会の奨学金制度を末永く続けるため、同窓生からのご寄付をお願いします。
(同封の振込票をご覧ください)

シリーズ
スケッチ & エッセイ
母校周辺
思い出散歩
③

瑞光寺に立って
A君との別れ道



大 樟会広報部長のお声かけで始めた母校周辺スケッチ歩き、今回は瑞光寺を訪ねることにした。「訪ねる」と書いたものの、瑞光寺は大隅通と内環状線の交差点のすぐ近く、ちょうど新幹線の高架下の一角に建つだけだから、大学への通学路の途上にあっただけだ。しかし4年間の学生生活の中で、真横を通りながら一度も参拝したことはなかった。

聖徳太子創建との謂われもある瑞光寺は臨済宗妙心寺派の古刹で、今日では「雪鯨橋」の名と共に広く知られているようだ。江戸中期に潭住禅師が紀州太地浦に立ち寄った折、不漁に苦しむ村長に豊漁祈願を頼まれ、殺生が五戒の一つであることからいったんは断ったが、繰返し懇願され已むに已まれず大漁を祈願したところ、この浦の鯨漁が盛んになったという。そのお礼にと贈られてきた鯨骨を使い、鯨供養として橋の欄干が作られたのがそもその由来らしい。

とにかく世間ではあまり見られない「鯨の橋」をこの機会に一見しようと、瑞光寺の前に立った時、「あっ、そうか、ここだったのか」と唐突に半世紀前の小さな記憶がよみがえった。

1974年春、卒業を間近かにひかえた日のことだ。2月になってやっと就職先が決まったことを、ゼミ指導教官の松村幸一先生に報告すべく大学へ行く途上、上新庄駅へ向かうA君にばったり行き会った。A君は語学クラスだけでなく同じ履修講座が多かったこともあり、入学してすぐに親しくなった学友の一人である。彼が茨木市に下宿していたので、京都から通学する僕はよく阪急電車を途中下車して彼の下宿で長話したことで親交を深め、僕が2回生の冬に学生結婚した時にも祝賀パーティーに出たり、僕の住まいを訪ねてくれた数少ない友人だった。また同じ松村ゼミに属し、自主的に結成した経済学研究会の中心メンバーでもあった。夏休みにはA君の郷里である鳥取へ遊びに行き、彼の自宅に泊めてもらって砂丘や隠岐へ旅をしたことも貴重な青春の思い出だ。

だが研究会の運営をめぐる考え方の違いや、卒論のテーマが異なっていたこともあり、卒業が近づいた頃には徐々に距離が出来ていたのかも知れない。おそらく卒業後の進路についてもお互いに知らないままであったから、偶然に出会ったのを機会にどちらからともなく就職先のことなどが話題になったのだろう。ついつい立ち話が長くなり、いつの間にか新幹線高架下から北に向かい、石橋の欄干に座って久しぶりにあれこれ語り合った。それが瑞光寺の石橋であったことを、僕は半世紀ぶりに知るようになった。

「それじゃあ、またな!」と言葉を交わし、僕は大学へA君は上新庄へとそれぞれ別方向へ向かったが、何となくいつでもまた会えるような気分であった。しかしそれっきりお互いに連絡を取り合うこともなく、4月に入り僕は入社研修で東京へ、彼は鳥取へ帰った。その後、折にふれA君のことを思い出すことはあったものの、音信不通のままいつの間にか半世紀の歳月が過ぎ去ってしまった。

今、瑞光寺に立って思う。青臭い議論を聞かせたり、時としていがみ合ったりしたことが無性に懐かしく、若さゆえの言動への苦い悔恨さえも含めて、過ぎ去った日々のすべてが愛おしいものであるということ。

スケッチエッセイスト 大森俊次(40回)

経大を陰で支える人々 3



学内をキレイに保つ
くろご
黒衣のような存在

松栄株式会社
大隅キャンパス清掃業務・班長
小池 真理子 さん

母校キャンパスライフの裏方として、学舎や校庭などを快適に保ち、学生・大学を支える存在があります。シリーズ第3回は、大隅キャンパス清掃業務の班長・小池さんにお話をうかがいました。



「学内をくまなく歩き、最もよく知っているのは私たち。授業に支障が出ないよう、学生さんや教職員の方たちが快適に過ごせるよう頑張っています」。衛生的環境の確保と維持保全業務を、細やかな心配りと思いやりが支えています。

学生の活動を応援したり、健康を心配したり

スタッフの中には小池さんを上回るベテランも少なからず。最高齢はなんと80代半ば。「学生たちは、孫のような年代」と、小池さんは目を細めます。常々、学内の掲示板を眺めては弓道部や陸上部など、クラブの活躍ぶりをチェック。清掃用の洗濯スペースは柔道部の部室に近く、「関西エリアで優勝しました!」よかったね!といった温かい交流もあります。



そんななかに気になっているのは、今年度に入って学生の嘔吐が増えたこと。「コロナ禍が一段落したとはいえ感染症がなくなったわけではありません。学舎の入口などには消毒用アルコールが設置されているので、油断せず使ってほしいです」。また、たばこのポイ捨てが増えてスタッフを悩ませています。大学関係者との月例会議を通して、ポイ捨て禁止の学内アナウンスを行うなど、迅速な対応が図られているとのことでした。

母校の学生たちは「学内イベントを自発的に企画・実行したり、地域産業とコラボしたり、すごくパワフル!」だと感じています。在学生による大学紹介の動画で「キャンパスのトイレがきれい。それ、ポイント高いです」という女子学生の声を聞いたときは、自分たちの仕事がきちんと評価された気持ちに。「私たちは、歌舞伎の黒衣のようなもの。皆さんが、気づかないうちに、大経大のキレイを保っています」。黒衣がいなければ、役者も舞台も成立しない、そんな大切な仕事だと感じました。

(聞き手=広報部副部長・天野康弘)



細やかな配慮で、心地よい衛生環境をキープ

企業の経理事務の仕事で定年退職し、ビルの清掃などを手がける松栄株式会社の職員募集に応募しました。「デスクに張り付いて数字の勘定ばかりしていたので、体を動かす仕事がしたくなりました。災害時に避難できる程度の体力を付けなければ、と感じたのです」。ところが、想像以上に体力が必要で、早朝から10時までに八千歩、終業の15時には一万数千歩を数えるほど。1カ月で筋肉痛を起こし、整形外科へ通うことになりました。

具体的にはどんな業務内容でしょう? 大隅キャンパスを担当するスタッフは45人。朝7時スタートですが、早めに来て、割り当てられた学舎を10時まで清掃します。E館なら4人、D館だと8~9人で拭き掃除、掃除機がけ、床や壁のシミ抜きなどを担当。守備範囲は、教室・談話スペース・共同研究室・会議室・事務所・キッチン・トイレ・廊下・階段・体育館・更衣室・シャワー室・倉庫・校庭、さらに塀の外の桜並木やベンチも。

10時にパート職員30人が帰った後は、清掃用具の洗濯や手入れ、備品の補充などを行いますが、例えばトイレットペーパーなら、D館だけでも2日間で90個ほど消費されるので、台車で運ぶのも大変です。勤続約10年となった今は、班長の一人として清掃状況の記録・報告を行います。学内での忘れ物・落し物はまとめて



学生部に届けますが、財布やスマートフォンなどの貴重品は発見次第、届けます。さらに、設備の故障・電球切れなどの連絡役も担っています。

2024 大樟会総会を開催!

2024年11月2日(土・祝)、母校A館フレアホールで大樟会総会を開催し、全国各地から約400名が参加する盛況となりました。総会終了後、学生会館2階ホールで懇親会(第2部)を行い、会員らが旧交を温めました。

雨天のなか大盛況の総会

11時、角庵勝巳事務局長(43回)の司会、與世田正雄副会長(34回)の開会宣言で総会がスタート。続いて物故者黙祷、グリークラブと参加者全員による学歌斉唱が行われました。角脇忠行会長(34回)は式辞で「大樟会は来年90周年を迎える。支部会の活性化などを進め、つながる輪を育て100周年を迎えたい。今後も母校と連携して事業推進を目指す」と挨拶しました。

大学幹部紹介に次いで、山本俊一郎学長が祝辞を贈り、「現代の日本・世界情勢により、人々の視点が近視眼的になるなか、中長期的な考え方を重視して大学改革を進めている。少子化対策として高い教育力を背景とする就職実績を掲げ、必要とされ続ける大学を目指す」と述べ大樟会への支援・協力を呼びかけました。

次に山澤俱和理事長が祝辞を述べ、2023年4月の定員増、22年ぶりに新設した国際共創学部について、順調な応募状況を説明。そのうえで「今後、大学の財力・ブランド力向上を図り、100周年に向けて募金を行うほか、地域との共創力を高める。大樟会の皆さんと、2本の鉄道レールのように同じ方向を目指したい」と呼びかけました。

続いて、永年にわたり大樟会の発展に尽力し、退任された支部長・部会長(別掲)の表彰が行われ、感謝状が贈呈されました。その後、クラブ表彰・壮行会を実施。全日本学生弓道選手権大会・個人戦優勝(女子)の溝口千織選手(経済学部2回生)、日経STEAM2024シンポジウム「DIS STEAMゼミ」で優秀賞を受賞した経済学部の岡島成治ゼミのメンバーが表彰されました。全日本大学駅伝対校選手権大会(伊勢駅伝)壮行会では、陸上競技部の西本一弘ゼネラルマネージャー(49回)が

「大会開催56回のうち、26回と半数近くに出場しています。今後も良い成績を目指します」と意気込みを述べました。さらに、いわきFC(J2)に加入することが内定したサッカー部・村上陽斗選手が登壇し「大経大の名を背負い、プロの舞台でも元気にひたむきに頑張ります」と述べ応援を仰ぎました。

12時30分から、OUEスイングハードオーケストラスペシャル(軽音楽部OB会)の演奏が披露され、会場を盛り上げました。

引き続き、アグネス・チャン客員教授による記念講演(P14)が行われました。

華やかなムードの懇親会

15時、渡辺美幸総務部部長(71回)の司会で懇親会がスタートし、足立徳太郎副会長(36回)が開会のことばを述べました。足立副会長、山澤理事長、山本学長により恒例の鏡開きを実施、草薙信照副学長が乾杯の音頭を取り、会場は華やかな雰囲気になりました。

その後、グリークラブ学生・OB混成チームが合唱を披露し、賑やかな歓談タイムに。お楽しみ抽選会では1万円×5本、5千円×6本、3千円×10本の計21本と、重田吉庸さん(38回)提供の日本酒「越乃寒梅」×10本、計31名が当選されました。

最後に、応援団OBとチアリーダー・グリークラブの学生がエールを切り、與世田副会長のリードで学歌・逍遙歌斉唱、万歳三唱を行い、足立副会長が閉会を告げ、会員らは互いに来年の再会を誓い、会場を後にしました。

総会



受付風景



グリークラブによる学歌斉唱



会場風景



司会・角庵事務局長



開会のことば・與世田副会長



式辞・角脇会長



祝辞・山澤理事長



祝辞・山本学長



OUE スイングハードオーケストラスペシャル(軽音楽部OB会)演奏

感謝状贈呈 <敬称略>

- 足立徳太郎(36回)丹有支部
- 山下 徹男(37回)日立大樟会
- 田安 敏男(38回)福井支部
- 池上 照夫(40回)明石支部
- 西村 幸雄(43回)大樟教育研究会
- 森田 幸伯(45回)東京支部



山下日立大樟会前会長



足立丹有支部前支部長



池上明石支部前支部長

クラブ表彰



弓道部女子・溝口選手

ゼミ表彰



岡島成治ゼミ

クラブ壮行会



陸上競技部・西本ゼネラルマネージャー

サッカーJ2入団内定激励会



サッカー部・村上選手

懇親会



司会・渡辺常務理事



乾杯・草薙副学長



鏡開き・左から山澤理事長、足立副会長、山本学長



グリークラブ現役・OBの合唱



お楽しみ抽選会で1等当選!



応援団OBとチアリーダーとともに学歌・逍遙歌



万歳三唱・與世田副会長



閉会のことば 足立副会長



懇親会会場風景



記念講演

テーマ 私のターニングポイント

講師 大阪経済大学客員教授 アグネス・チャン氏

母校経済学部と大樟会の共催で、歌手・エッセイスト・教育学博士のアグネス・チャン氏(客員教授)による記念講演が実施されました。講演後は経済学部・小川貴之学部長の司会で、角協会長、山本学長と学生とのトークセッションも行われました。

(2024年11月2日、以下敬称略)

講演 私のターニングポイント(要旨)

香港で17歳まで過ごし、来日して50年以上になります。6人兄弟の4番目に生まれ、内気な子どもとして育ちました。

最初の転機は、ボランティア活動に参加した中学1年生のとき。身体障がい者施設を訪問すると、子どもたちが一斉に集まり私たちを歓迎してくれました。私はこのとき、自分がすごく恵まれた子どもだと気づきました。ギターを覚えて人前で歌い、貧しい子どもへの寄付を募るようになりました。そんな活動が知られて14歳のとき香港で歌が大ヒット、気づけばプロの歌手になっていました。

日本へ渡り、歌・仕事・結婚と多くのものを得ましたが、一番の宝物になったのは「平和を愛する心」。被爆地の広島・長崎、激戦地の沖縄から多くを学びました。今も紛争は絶えず、宗教や民族の違いから排他的な考えもなくなりません。けれど、一人ひとりが違いを認め合い、共存共栄することが大切だと、私は思います。

日本でのデビュー後、父から「知識は一生の宝。勉強できるときに学ばせよ」という助言を得て、カナダで心理学を学びました。また、子どもが生まれた後、米国・スタンフォード大学へ入学しました。子連れで働くことの是非を問う「アグネス論争」*を知った教授が「後へ続く人に伝えるべきでは」と声を掛けてくださいました。渡米して二人の乳幼児を育てながら通学。のちに教育学博士号も取り、本当に自信がつかしました。



また、難民問題をテーマにしたテレビ番組の司会をしたきっかけで、周囲の反対を押し切り自分から強く希望してエチオピアの難民キャンプを訪ねました。現地は内戦中でコレラ等感染症が蔓延。人びとは困窮しており、キャンプには大勢の飢えた子どもがいました。それでも、私が歌うと、一人、二人と子どもたちが立ち上がり、合いの手を入れたり踊ったり……。3年後、ユニセフ協会からオファーを受け大使に就任しました。

今、私たちは人類のターニングポイントに立っているのかもしれませんが、格差社会において、人と人とのコミュニケーションが大切。とりわけ若者たちとも、よく話し合うべきだと思います。

*アグネス論争: 1987年、アグネス・チャンさんがテレビ番組の収録スタジオに乳児を連れてきたことがマスコミに取り上げられ、「大人の職場に子供を連れて来るな」、「周囲に迷惑」、「プロとして甘え」と批判され、これを機に仕事をもつ母親の立場について論争が起こった。

学生たちも交えてのトークセッション

出席者: (左から) 芳末瑠花さん、村井彩子さん、右田彩さん(3名とも経済学部3年生)、角協実行会長、山本俊一郎学長、小川貴之経済学部長



角 協 お話を聞き、あらためて平和について考えさせられました。子どもの教育に関して具体的にもう少しお話ください。

アグネス 子育てのとき、勉強だけではなく音楽、絵画、スポーツも勧めるようにしました。子どもの脳全体を活性化するためです。人生の豊かさを測る基準は、財産、名誉、それとも子孫の繁栄ぶりでしょうか。私はどれだけ感動したかだと思います。その力を育むことが大切です。

右 田 ボランティア活動のご経験の中で「自分にしかできない」と感じたことは?

アグネス 私が医者や看護師だったら、と無力さを感じるばかりでした

が、日本へ帰り、声をあげて社会に訴えるのが私の役割だと思いました。

村 井 若い頃、どのように芸能活動を展開されたのですか。
アグネス 芸能界は歌やダンスといった実力だけではありません。失敗は成功への過程だと信じ、迷ったら一番難しいことに取り組んできました。損得にこだわらず、文句を言わずに続けることで、いくつになっても運が開けてくるのではないかと思います。

芳 木 就活中なのですが、やりたいことが見つかりません。
アグネス ライブが好きとのこと、舞台監督・AD・音響などスタッフを目指すのもいいですね。経済学の知識を必要とする人は芸能界にたくさんいるので、その学びもぜひ活かして。また、現場で会いましょう。

山 本 心を揺さぶられるお話でした。互いの違いを認め合うこと、知識は奪われない財産であること、災害や紛争を自分事として発言・行動すること。私たち教育者は学生の気づきや発言・行動を後押しする役割を担うとあらためて感じました。

小 川 くじけず、損得を考えず、真っすぐに進めば、それぞれの道が開ける、それは年齢に関係ない、というお話が印象的でした。本日は、どうもありがとうございました。



司会・小川経済学部長

【会則及び会則(内規)改正のその後】

2023理事会総会において議決された会則第22条第3項支部運営費改正の中で総会案内状の印刷、郵送料は本部負担することが議決されました。

モデル支部を募り、2024年度より本格的に運用に入りました。

これによる支部の負担軽減は明らかであるが、それによる中間の数字を見てみました。

6月以降12月迄の総会実施支部の内、回答のあった32支部についての結果報告。

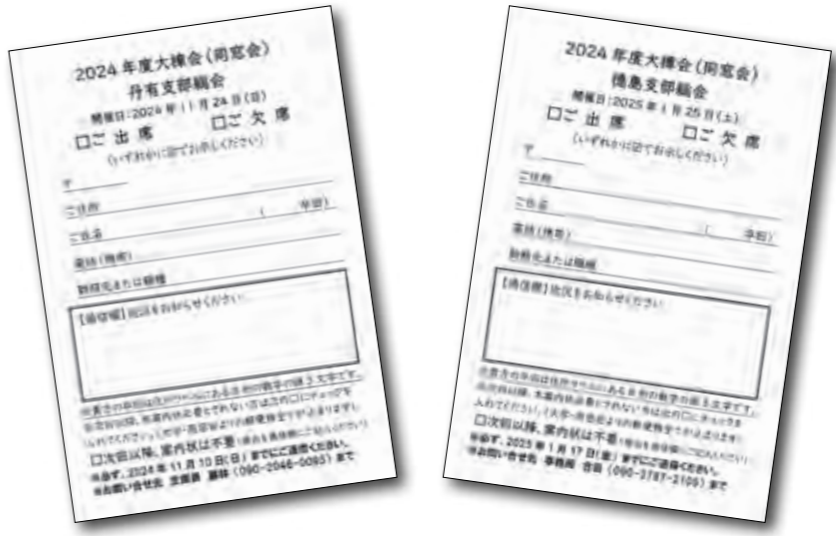
(人)

送付数合計	返信数合計	平均返信率	出席者数	出席率	初参加者
31,775	5,177	16.3%	738	2.3%	124

(2024.12.20現在)

上記のごとく当初目標とした平均返信率30%、出席率5%を下回っていますが、引き続き2025年度も継続する予定で、費用対効果の観点から目標をクリアしたいと思います。

(事務局次長 大山寿久)



お気軽にご相談ください♪



池田泉州銀行

SHD

上新庄支店・豊里支店

大阪市東淀川区上新庄 2-24-23
(阪急京都線・上新庄駅駅舎プラザ1F)
TEL 06-6328-2761

淡路支店

大阪市東淀川区東淡路 4-18-9
(阪急淡路駅 南東 50m)
TEL 06-6322-9240

学術会◆ボランティアクラブ

更なる飛躍！新たな創発！



現在、部員数300名を超える文化系クラブの学術会ボランティアクラブの活動内容を紹介します。(敬称略)

* * *

ボランティアクラブに入学した動機を教えてください

松本 4月のクラブの机だし(各クラブの一斉勧誘)時に先輩と接する体験があり、部長さんといろんな話ができ、自分自身もこどもが好きなのでこどもの世話ができるということで入学しました。

山中 私は、机だしの時にボランティアクラブに出会いました。元々、体を軽く動かせるサークルに興味を持っていましたが、先輩から丁寧に接して頂き、決めました。最初は、3ヶ月に1回ぐらいの活動でいいと言われていましたが、今は大樟祭の時に頑張っている先輩たちを見て、自分も先輩みたいになりたいと思っています。

現在の活動状況を簡単に教えてください

松本 現在クラブの活動は9つのグループに分けています。簡単に説明しますと

- ①フリースクール 東淀川区の豊新地域で活動。不登校、また少し障がいのある主に小学生の勉強のサポートをしたり、この場所を楽しい場所だと思ってもらえるよう、一緒に遊んだりしています。
- ②しゅくだいカフェ(主に共稼ぎ家庭対象) ヒガヨドベース(株)ソレイユさんが開いていて、毎週月～金曜日の放課後、こども達と一緒に宿題をし、終われば一緒に遊んだりします。
- ③わくわく(小学生対象)(和歌山県、大阪南部の学生が主に担当) 大阪南部の金剛の施設で職員として、こども達と一緒に遊んだりします。最近では、お店屋さんごっこや登山もしました。
- ④わくわくジュニア わくわくと活動は同じですが、対象は小学生未満の未就学児です。
- ⑤献血(月1回ぐらいの参



加) 梅田のヘップ、京橋駅前、大学内で活動。赤十字さんから献血の予定の連絡があり、部員及び一般学生にも協力を呼びかけています。

⑥ほうぶ(月1回ぐらいの参加) 今里筋線の清水駅近くの施設「ほうぶ」で発達障がい(軽度～重度)のこども達と接して一緒に遊んでいます。

⑦てらこや フリースクールと似た感じで大元は学生団体が運営していて、毎週土曜日に淀川区の三国で小学生高学年から中学生に勉強を教えています。

⑧よろず 地域のイベントや祭りの手伝い。大学に依頼のメールが来たとき、また大学から依頼が来た時に部員を派遣します。区役所からのイベントや、社会福祉協議会からの依頼もあります。直近では東淀川区民祭りや「くわんか花火大会」のお手伝いもしています。活動に参加するたびにInstagramに投稿しています。

⑨アシストふくろう 口と手で絵を描く芸術家協会があり、その方達と協力して、保育所とかでこども達と一緒に絵を描いたり、高齢者に対するボランティア活動もしています。

現状の活動について感じることは?

松本 部員は3か月に1回参加すればいいのですが、みんなそれ以上に参加してくれています。また、こども達と月1回の接触により、こども達の成長をすごく感じられます。ボランティアクラブという名の通り僕たちは全て無償で活動させて頂いています。1回生の時に「よろず」を作り活動を始めましたが、大きなイベントに呼んでもらったり、現在も月2～3回ももらっています。地域から信頼関係を構築できたと思うし、こども達からも顔と名前を憶えてくれてうれしいです。

山中 次期部長として、元々部員が150名ぐらいでしたが、いっきに330名に増えたため、これから部員をまとめていきたいとおもいます。また、何かをやりたい！ 自分のできることが出来るクラブです。ぜひ、入学してください。

ありがとうございました。

(聞き手=広報部・田島裕司)



中：現部長 松本 捷さん(人間科学部3回生)
左：次期部長 山中来春さん(経営学部2回生)

体育会◆陸上競技部

「完全燃焼」を目指す

陸上競技の魅力は、努力の結果が「明確に」「数字」でみえることです。部員一同が日々厳しい練習に取り組み「完全燃焼」を目指しています。今回本学陸上競技部の長距離パート長、短距離パート長、女子パート長の皆さんに取材させていただきました。

出席者

- 新 博貴さん(長距離パート長・人間科学部3回生)
- 田村 奏人さん(短距離パート長・人間科学部3回生)
- 三宅 彩菜さん(女子パート長・人間科学部3回生)

* * *

陸上競技を始めたいきっかけを教えてください

三宅 小学校の体力測定の50m走が好きで、それがきっかけで中学校の時から陸上競技を始めました。もちろん高校でも続け大学でも続けたかったので、就職率も高く大経大指導者からの熱い勧誘もあり大経大に進学しました。

田村 小学校2年から陸上を始めました。家の近くに陸上のクラブチームがあり、走ることができれば色々なスポーツが出来ると思い続けました。得意種目は100mです。どこの大学に進学しようか考えていたところ大経大のコーチがSNSでいろんな情報を発信されていて、このコーチの下で続けたいと思い入学しました。

新 小・中学校とバスケットをしていて、小・中学校の時駅伝と一緒に走った友達が他の高校の陸上部に入学し、自分も同じ距離を走ろうと思い、高校入学後陸上部に入学しました。

現在の活動内容を教えてください

短距離(男子30名・女子7名) 16時35分から摂津キャンパスのグラウンドで20時まで練習しています。土曜日は10時から13時まで。コーチはつきっきりで、みっちり鍛えられています。水曜日・日曜日は練習は休みです。

長距離(男子29名) 一月曜日から金曜日は15時から19時半まで練習。また朝練は各自の自主参加です。土



左から、田島、新さん、田村さん、三宅さん



曜日は10時から12時まで。コーチはつきっきりです。日曜日は休みです。

陸上競技部の目標は

田村 関西インカレにおいて現在2部ですが、1部昇格が絶対的な目標です。現在、コーチが2名いて部員をうまく引っ張ってくれています。各自課題を解決するようにメニュー等を考えてくれていて取り組んでいます。

三宅 全日本インカレに100m、走り幅跳び、三段跳びに出場しましたが不本意な結果に終わってしまいました。来シーズンは入賞する為に冬季練習に各自問題点を明確にし、少しでも上位にいける様に取り組んでいきたいです。

新 まず関西インカレにおいて1部昇格です。駅伝においては、直近では全日本大学駅伝(伊勢駅伝)があるので、地方勢トップ(16位以上)になることと、関東の大学の一角を崩していきたいです。また、全日本大学駅伝の2週間後に関西学生対校駅伝競走大会(丹後駅伝)がありますが、目標は優勝のみです。

陸上競技部としてお願いなのですが、夏場の暑い日差しの中で過酷な練習をしていますが、休憩時に屋根(日よけ)のついた場所が欲しいです。今も休憩できるこはありますが、5人ぐらいのキャパしかなく大勢の人達が休める場所を設けていただきたいです。

OBが代表の(株)HUB様には短距離は1年間トータルで、長距離は試合に応じて援助頂き大変ありがたいです。これからも応援頂けるよう頑張ります。

最後になりますが、いつも陸上競技部の試合において、学校関係の皆様、大学OBの皆様、また選手の家族の皆様にも熱い応援を頂きありがとうございます。今後とも部員一同目標に向かって日々練習に取り組んで目標を達成できるよう頑張りますので、今後とも応援の程宜しくお願い致します。

ありがとうございました。(聞き手=広報部・田島裕司)

※陸上競技部は、2024年11月3日、第56回全日本大学駅伝対校選手権大会に出場し、結果は18位でした。また11月16日、第86回関西学生対校駅伝(丹後大学駅伝)にも出場し、結果は4位でした。

全クラブ一覧(2024年12月現在)

<ul style="list-style-type: none"> ●体育会 <ul style="list-style-type: none"> 合気道部 アイススケート部 (スピード・フィギュア) アメリカンフットボール部 空手道部 弓道部(男子・女子) 競技スキー部(休部中) 剣道部 硬式庭球部 硬式野球部 ゴルフ部 サッカー部 自転車部 (レース・サイクルサッカー) 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部 柔道部 重量挙げ部 準硬式野球部 少林寺拳法部 水泳部 ソフトテニス部 ソフトボール部 卓球部 チアリーダー部 日本拳法部 バスケットボール部 バドミントン部 バレーボール部(男子・女子) ハンドボール部 	<ul style="list-style-type: none"> ボクシング部 洋弓部 ヨット部(休部中) ラクロス部(男子・女子) ラグビー部 陸上競技部 	<ul style="list-style-type: none"> ●独立総部 <ul style="list-style-type: none"> アルバム委員会 CBS文化放送局 吹奏楽総部 ワンダーフォーゲル部
<ul style="list-style-type: none"> ●学術会 <ul style="list-style-type: none"> E.S.S部 将棋部 証券研究部 パソコン部 文芸部 簿記会計研究部 ボランティアクラブ ユースホステルクラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ●総部会 <ul style="list-style-type: none"> II部軽音楽部 II部バスケットボール部(休部中) フットサル部 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術会 <ul style="list-style-type: none"> 映画研究部 演劇研究部 ギタークラブ(休部中) グリークラブ 軽音楽部 茶道部 写真部 	



だいけいだいキッズスマイルフェスタ開催 大樟会も物産展等で参加!

「防災・教育・福祉」をテーマにした子ども向け体験型イベント「だいけいだいキッズスマイルフェスタ～ぼうさいでつながる力、かがやく命～」(大学主催、大樟会后援)が2024年11月24日、初の試みとして大隅キャンパスで開かれました。物産展を出展した大樟会や自衛隊、東淀川消防署、阪急電鉄など、地元企業・各種団体、さらに教職員や学生も参加。予想を大幅に上回る約1,600人の親子が来場しました。

「いっぱい体験したいプログラムがある!」と、地元の小学3年生が目を見守ります。小学校で配布されたチラシを見て、お母さんとともに参加しました。自衛隊車両への乗車、阪急電車の写真撮影を体験しましたが、大樟会による小型ドローン操縦コーナーは予約満杯、「次は絵本作りを体験しに行く!」とのこと。

地域の皆さんに防災を意識してもらい、大経大の認知度を高めるため、母校が約1年半前から企画・準備しました。学生や教職員が「大学を盛り上げよう」とアイデアを出し合い、近隣等の企業・団体に協力を仰ぎ、プログラムを練り上げました。

大樟会も独自企画の出展等で参加。卒業生の協力を得て、新米コシヒカリや青果の袋詰め、サイフォンコーヒーを屋外テントで廉価販売。予想以上の好評で、午前中にほぼ全てが売り切れました。また、大樟会提供の小型ドローンのコーナーは、体育館内で子どもたちがリ

モート操縦を行い、障害物の向こうに隠れた物品をモニターで確認するもの。防災訓練の一環として行い、大人気を博しました。

D館1階のステージでは、吹奏楽部やチアリーダー部が演奏・演技を披露し、卒業生のマジシャン・松田有生氏(82回)による実演、クイズ大会などが繰り広げられました。D館2階では留学生とカードゲームで遊ぶグローバルBOSAI体験会、D館3階では防災グッズ展示や防災グッズづくりなど。G館では防災工作教室やゼミの学生によるゲームやメタバース体験など、C館2階では縁日も行われ、キャンパス内いたるところで、多彩な催しが開かれ、子供たちがにぎやかに、真剣に参加しました。

多くの力を集結した手作りプログラムはいずれも大盛況で、準備されたスタンプラリー用紙はイベント終了の数時間前に品切れ。親子で防災を考え、大経大に親しむ、楽しい1日となりました。

風景スケッチを楽しむ会 ～水彩絵の具で色彩を楽しもう～

9月28日、保護者によって組織される後援会と大樟会共催の水彩画教室を開催しました。講師は本誌連載中の「母校周辺思い出散歩(P10参照)」担当のスケッチエッセイスト、大森俊次氏(40回)にお願いしました。講師にご用意いただいた下絵に、水彩絵具で彩色する方法が進められました。

卒業生の男性は「趣味の山登りで、友人がいつもスケッチブックを持参して景色を描かれます。彼の口癖は『写真は記録、絵は記憶を残す』です。いつも羨ましく思っていたが、私も記憶を残すスケッチを描きたいと思い参加しました」。明後日、信州の山を目指されるそうです。

お孫さんと参加された後援会員さんは「阪急電車の中でも随分ぐずられたので心配でしたが、最後までおとなしく座って仕上げてくださいました。先生の優しいお声掛けに助けられました」。未来のピカソを彷彿させるような秀作が仕上がりました。

在学生の女性(2回生)は「以前絵を習っていましたが長く離れており、いつか再開したいと思っていましたが良い機会なので



参加しました。こんなに軽いタッチで絵を描いたのは初めてです。さすが経験者、この素敵な絵を私の部屋に飾りたいなと思ってしまうほどの作品が仕上がりました。同じ下絵を使用したのに、各々の作品が個性豊かで驚きました。初めての試みでしたが、大森さんの協力と参加いただいた皆様のおかげで成功裏に終えることができました。ありがとうございました。

(広報部部長・田中伸治)

煎茶道体験教室 ～煎茶と礼法～

12月7日、昨年に引き続き後援会と大樟会共催の「煎茶道体験教室～煎茶と礼法～」を開催しました。講師は前回と同じく、京都の煎茶道二條流七世家元二條雅瑛氏(58回)にお願いしました。

中国からの留学生の女性(2回生)は「私の国から伝わったお茶の文化が煎茶道として受け継がれ、今日このように学べて感動しました」と話されました。



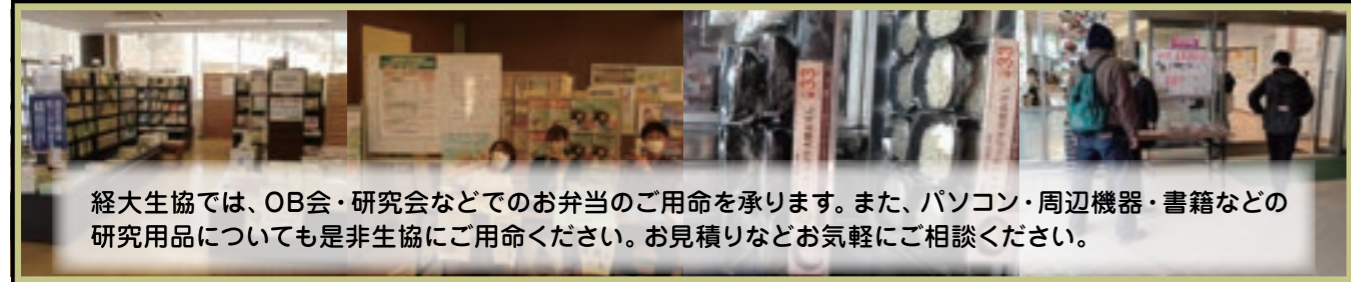
2回生の男子学生は「社会に出た時、今日学んだことは必ず役立つと思います。このような素晴らしい先輩の教えをもっと深く学びたいし、他の友人たちにも学んで欲しいと思います。



ぜひ、授業として取り入れてください」と熱く語ってくれました。後援会の男性は「3回生の娘は畳の部屋の無いマンションで育ったので、本日学んだような礼儀、作法の経験は無いと思います。次の機会には、必ず参加させます」と言われました。

今回も、茶道部の皆さんには全面的にご協力いただきました。普段学ばれている抹茶を使う茶道とは趣の異なる煎茶道に、戸惑いながらも楽しんでくれたようで「今後もぜひ続けてください」との要望をいただきました。なお両教室共、大学総務部の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

(広報部部長・田中伸治)



経大生協では、OB会・研究会などのお弁当のご用命を承ります。また、パソコン・周辺機器・書籍などの研究用品についても是非生協にご用命ください。お見積りなどお気軽にご相談ください。

大阪経済大学生協同組合 〒533-0011 大阪市東淀川区大桐3-16-10
TEL.06-6379-2230 Fax.6379-2232 URL.https://oue.u-coop.net/
e-mail oue-coop@univ.coop

わたしたちは お客様に寄り添う **シゴトバ** **コンサルティング** で、あり続けるために。

NIKKO 株式会社 **日興商会**

バックオフィス改革のお手伝い

- 膨大な商品やサービスをお伝えしたい!
- お客様の都合や学びたい! 次の働き方を学びたい!
- 各地域の事例をもっと知りたい!
- もっとお客様のことを知りたいたい!

オフィス創りの総合商社 IT 関連商品・オフィス家具・LED照明・事務用品・印刷物

本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06-6487-1401 Fax. 06-6487-1414
支店 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他

おすすめ商品はこちら!



このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字以内にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。(原稿・写真のメール送信を歓迎します)

・締め切り	2025年8月末日必着
・送付先	〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学大樟会「北から南から」係 宛
・eメール	okusu@osaka-ue-denko.com

※以下の原稿は2024年に寄稿いただいたものです。

いつまで働けばよいのか

杉山 誠一(39回)

大学を卒業後、岡山県庁に入り37年勤務し、59歳で定年退職しました。これまで「瀬江」では「ズームアップ経大人」と「北から南から」でご紹介等をいただき、これが3回目の掲載です。2回は退職前でありましたので、今回は退職後の職等であります。まず、農業関係の外郭団体で5年半、学校法人で5年、各々役員として務め、今は社会福祉法人で理事長をしており、年齢は74歳です。この間、70歳の時に行政功労で叙勲の栄に浴するという大変光栄な出来事もありました。近況ではありますが、今勤めている法人は障がい者支援施設や保育園など12施設を運営しており、毎日多忙な日々を過ごしております。



学生時代は日本拳法部で練習に明け暮れ、忍耐力や精神力を養ったように思いますが、最近では体力・気力が低下し「いつまで働けばよいのか」と考えるようになってまいりましたが、人生も残りわずか、今までどおり「陽転思考」で全うしたいと思います。▼写真:理事長として新採用者へ辞令を交付する (岡山県津江市)

大学時代の4年間は今なお覚えていない

前川 優(39回)

そうか、大学を卒業してからもう半世紀以上になるのか。大学紛争・70年安保・大学管理法で全学挙げての反対運動など、あの時代でなければ経験できない4年間でした。竹林祐吉先生のゼミで流通経済論を学び、小売業に就職して定年に至りして何をやるか考えました。まずは以前から活動していた国立文楽劇場ボランティア解説員(文楽応援団)に本腰を入れて今に至っています。その次に手を付けたのがポタニカルアートで、こちらも2年に一回の作品展に途切れなく出品。自分では少しは腕を上げたと思自しています。そして4年前に縁あって総務大臣の委嘱を受けて行政相談委員をお引き受けし相談者への対応や協議会の研修委員として忙しくしています。「あてにされているうちが華」だと思っているのですがクラブ(経営経済研究部)の同期との月に一回のオンライン飲み会も途切れなく、今の生活の意義ある拡がりは大経大時代に培われたあれこれの裏打ちがあればこそだと感謝しているのです。(大阪府泉南市)



私の来し方 行く末

増岡 孝則(39回)

経大を卒業して半世紀、今も懐かしい青春時代を思い出します。当時は大学紛争で学校内外が荒れる世相ではありましたが、「三重県人会」という同郷出身者によるサークル活動に参加し、会報の発行、学園祭への出店や女子大学との合ハイも行いました。また、グリーンクラブの地元開催など大きな事業を実施するなど、授業を忘れて?楽しい学生時代を過ごしました。

卒業後は、繊維商社に入社し、大阪、東京での勤務を経て退職。地元に戻り、名張市役所に入庁、長い公務員生活を経験し定年退職。その後、名張商工会議所専務理事として地元経済の振興に関わり、多くの経済界の方々のご縁をいただきました。この間には好きな郷土の歴史・文化に関わって、小中学生の教材となる「ふるさと学習『なばり学』」の編集委員として貴重な経験をさせていただきました。最近、福祉施設の開設・運営に関わりながら「名張金石文研究会」や自治会の活動に参加し、「今を生きる」大切さを感じる毎日を過ごしています。(三重県名張市)



フルマラソン

和田 正(39回)

「皆様こんばんは。本日は大阪経済大学軽音楽部“LIGHT MUSIC CONCERT”にご来場いただきありがとうございます」1971年、今は無き大阪厚生年金大ホールでMCを務めさせていただきました。娘2人、孫5人(大学生3人・高校生2人)。2023年に金婚式を祝うことができ、2024年後期高齢者となりました。現在は夫婦水入らず(猫1匹)。61歳に再就職したマンション管理会社で75歳の定年を迎えたところ、フルタイムでなければもう少し勤務してほしいとお声掛けいただき、管理員として午前中3時間週5日勤務を続けています。トピックは65歳でフルマラソンに挑戦し、5時間半で完走出来たことでしょうか。現在も元気で過ごすことができ、今までお世話になった全ての方々に感謝申し上げます。最後になりましたが、大阪経済大学大樟会の益々のご繁栄を心より祈念致します。(京都府京都市)



懐かしき友よ、みんな元気で逢うかい?

森本 正一(39回)

田舎育ちの純情青年だったせい、学生寮での生活に中々馴染めず、しばらくは部屋に籠ったまま悶々として学校と寮を往復する日々の始まりでした。夏休みが終わった頃からようやく一人また一人と友達もでき、学校や寮の生活にも馴染んで、会話も弾むようになってきました。にわか仕込みの関西弁には抵抗感もあり、田舎訛りで喋ると冗談半分にかかわれたりもしましたが、それが交友の潤滑油と思えば別段苦にもなりません。楽しく過ごした寮友との4年間もアツと云う間に終わり、離れ離れとなって50有余年、後期高齢期を目前にして、みんな元気で逢う者に暮らしているのかなと思うこの頃です。



この歳となって記憶力も劣るばかり、あの頃の顔と名前の両方をどうにか思い浮かべることのできる友を挙げてみます。島田君(長崎)、木村君・岡村君(山口)、勝部君(島根)、池田君(岡山)、増田君(徳島)、田村君(和歌山)、一色君(三重)、寺谷先輩(福井)??? みんな元気で逢うかい。(鳥取県鳥取市)

近況報告

廣畑 恵俊(39回) 旧名・長 喜代次

福祉法人のデイサービスセンターの宿直員で、長く働き、朝の4時過ぎから、入居者の朝食作りに精を出している。古希を迎えた年に投稿致しましたが、奇しくも来年喜寿を迎える折、報告出来る事は光栄と存じます。関西テレビで経大の報道を拝見し、8月29日には読売テレビでも広報があり事務当局の奮闘を知りました。合気道部の存続に関して、大西氏のご尽力に依り事なきを得たとの事、感謝致します。広島藤井先輩は元気で居られるか気にもなり、先輩方、ご同輩の皆々様の安否を思いやまず。年を感じる頃となりました。(和歌山県田辺市)



学生時代とその後

藤田 鉄夫(40回)

私が大学に入学したのは昭和45年の4月でした。当時私は郵便局に勤務しており、アフターファイブを持って余しておりました。その時に中学の同級生と再会し、彼が大経大の2部に通学していると聞き、私も行きたいと思い、入学に至りました。入学後1年間は友達が出来ませんでした。2年時にどのようなキッカケか忘れましたが、高校の後輩と友達にな



り3人の友達が出来ました。大学時代は前期、後期のテスト前に友達の寮で合宿をして勉強し、4年間で卒業することが出来、大変楽しく有意義な時代を過ごすことが出来ました。

卒業後44年間は大学とは疎遠となりましたが、縁があり同窓会の支部結成に関わることとなり、結成後6年が経過しました。役員として、他の役員に支えられ、忙しい日々を過ごしています。学生時代の4年間で卒業後の同窓会の役員としての時間を与えてくれた大学には感謝しており、今後の時間を有意義に過ごしたいと思っております今日この頃です。(大阪府松原市)

廃部になったマンドリンクラブと第10期同期生

鈴木 寛(旧姓:山脇、40回)

1971年春入学式当日ワンダーフォーゲル部に入部したくて学生会館2階部室のドアをたたいた。あいにく留守のようで返答はない。「まあ、明日でいいか。」と帰路につくと芸術会館の前でお姉さんに「君、何かクラブは入部した?」と声をかけられ「イヤ、まだです。」と返答。「じゃあ、この2階で練習しているからマンドリンクラブを覗いてみない。」てな具合で入部。確か新入部員は100人近くいたと思う(写真は北陸演奏旅行時の1年生)。しかし、練習の厳しさ、先輩・後輩の上下関係の厳格さ、学業への支障などにより退部者が相次ぎ最終22名だけが卒業まで苦業を共にした。



創部60年以上の歴史と伝統があり、大阪学生マンドリン連盟の「雄」でもあった我がクラブが2年前に廃部になった。全く残念である。でも、22名の同期生は今でも年1回は集い【思い出】を語り、今の生活を楽しんでいる。昨年は7月24日～25日1泊2日で静岡のキャンプ場に集い、「自然に親しみ歴史と最新設備を学ぶ」をテーマに開催した。人生で1番大切な事は【思い出】をつくることだと思う。これからも大切にしたい大経大マングラの同期生です。(静岡県袋井市)

近況と地域の子供達から学んだこと

中川 茂(40回)

昭和49年に母校を卒業後豊岡市役所職員に採用され、平成25年に退職。その後社会福祉法人の役員を務め昨年退職。現在は大樟会但馬支部長、他団体のお世話をしている。



我が家の中も、ゆったりとした空気が流れている。市役所退職後は、市内の来日山に登り、山頂から日本海に向けて滝のように流れる雲海(絶景)に毎回感動している。また、退職時に饞別で貰った「藤沢周平全集」を読破中。平成16年台風23号の被災経験から、地域防災の必要性を痛感。日本防災士会の会員となり、地元の区長と共に防災計画の策定、防災資機材の整備・これを活用した防災訓練、中学生による区内危険個所の点検等自主防災組織強化に努めてきた。もう一つのライフワークは、2つの地区の小中学生(約80名)の朝の通学時における横断歩道での見守り(写真)を市役所退職の翌日から実施。子供達からは、挨拶、低学年の子への気配り、班長としての成長など学ぶことが多い。☺️会も楽しんでます!(兵庫県豊岡市)

ワンダーフォーゲル学部卒

岡野 勝則(40回)

経大の経営学部に入学した自分ですが、「ワングル学部」を卒業したと思っています。下宿にワングルの先輩が居て「北海道から沖縄まで行けるよ」と勧誘され入部しました。ワングルで学んだリーダー論は自分の人生の指針となっています。「山行におけるパーティー編成は体力の弱い者を先頭に配置し、ペースを弱い者に合わせ、全員を安全に下山まで導くことを最大の目的とする」「その目的のためにはリーダーの命令は絶対でメンバーはそれに従う」「リーダーは全責任を負う自覚と覚悟を持つ」 日常の部活動は授業を優先し、休休みに部室に集合。17時から淀川の河川敷で毎日トレーニング。1年目は夏合宿までの「錬成」と称するシゴキを経験し、2週間の夏合宿は50キロのリュックを背負いバテながらも南アルプス3000m級の山を踏破。2年目以降は北海道の日高山脈、秋合宿は素晴らしい北アルプスの紅葉を楽しめました。春合宿は返還前の沖縄へ簡易パスポートを取得して渡航し、サトウキビ農家の収穫を手伝いながら地域の人との交流を深めました。「同じ釜の飯を食べた仲間」は自分の大切な「宝」です。(広島県尾道市)



マイペースな人生

中村 忍(41回)

73歳になり卒業後早や50年がすぎました。1つ目に就職した会社が大手ゼネコンの子会社で、就職3年後に親会社から閉鎖され、26歳で保険業界に入り、今に至っています。当初から法人契約に特化した営業で、今では上場企業2社を含め、多くの地元企業にお世話になっています。10年前に娘が事業を承継してくれて、時間ができたので、私のエンディングがいつでもいいように終活を始めました。



パスポートなどで過去の履歴を見ると、海外だけで40回、29ヶ国。国内も含めて、よくまあ、あっちこっち行ったものです。(ちなみにほとんど夫婦での旅行です。海外へ行くたびに日本が良いのが再認識できます。)

1に家族、2に仕事、3に興味・友達、この優先順位を守れば間違わない。人生悔いなし、決して後悔しない、をモットーに、これからも人生を最期まで全うすべく楽しみます。(大阪府茨木市)

未熟ながら、精一杯に生きていた学生時代

宮本 幸男(41回)

昭和50年に卒業してから約50年が経ちますが、今も現役で大阪市内の公益財団法人に勤めております。通勤の途上、電車が上新庄駅を通れば車窓には学生時代に夜勤のバイトに勤しんだ製パン工場が眺められました。しかし最近事業者はパン事業から撤退し、新たな事業者による改装が進められています。また一つ懐かしい思い出が消えていくのに時の移ろいを感じています。あの頃を振り返ると「もっと何事にも積極的に取り組みれば良かった」と残念に思う反面、当時は未熟ながらも自分なりに精一杯に生きていたのかなと納得している今日この頃です。



話は変わりますが、去る6月5日の日本経済新聞朝刊のTeaching紙面に「人事が見る大学イメージランキング」が掲載されており、国公立大学を混じえた総合ランキングの19位に「大阪経済大学」の活字があるのを見て、久しぶりでもあり大変嬉しく思いました。これからも実学の大学としての名を高められんことを一卒業生として願っております。(大阪府茨木市)

大経大、ありがとう!!

塚本 行雄(41回)

高校卒業後2年間民間企業で働いた後、大経大に入学した。教員養成課程でお世話になり卒業と同時に大阪女子商業高校の商業科の教諭となり停年まで勤務した。仕事人生で一度失敗した私が、大経大を経て2度目の職場で素晴らしい人生を過ごすことができました。「大経大ありがとう!!」という気持ちです。



また、珠算研究部というサークルに所属し、たくさんの友達もできました。特に同期は12名おり、大学4年間はこの仲間と共に本当に楽しい青春時代を過ごすことができました。卒業してからの同期会も頻繁に行なってきましたが、我々も70歳を越え、藤本栄、植田潔、横山正勝の3名が他界しました。残念無念である。

サークルで得た知識を活かし、現在はそろばん教室を経営しております。今は健康に留意し仕事をできるだけ長く続けたい。これからも同期と交流し、他界した3名に哀悼の意を表したい。(奈良県北葛城郡王寺町)

亡き両親との思い出

妻鹿 安善(41回)

昭和50年4月に香川銀行に入行し、満60才で定年退職しました。両親、親戚も高齢化しており、毎日ずっと草刈に従事しました。令和4年に隣に住んでいた両親があいついで亡くなりました。コロナで病院に見舞にも行けませんでした。秋の紅葉の時期には、四国霊場88番札所、大窪寺に毎年一緒に、車で行っていました。お参り後、八十八庵と言ううどん店で打込うどんを食べるのを両親は楽しみにしていました。

大阪経済大学で楽しい大学生を送れたのも両親のおかげです。感謝しかありません。大窪寺さんと両親と私と3人で写した写真は、母のお棺に入りましたので、手元にお送りできる写真がありません。最後になりましたが、大学の発展を影ながら見守っていきます。寄稿を依頼していただき、ありがとうございました。(香川県高松市)

マンドリンクラブは休部中

コロナの影響でマンドリンクラブは、現在、休部状態です。私は、学生時代、マンドリンクラブの活動に励んだ思い出があります。妻との出会いや教職につく契機も、クラブの大阪教育大学との合同演奏会のおかげです。小学校を定年退職後に、趣味のフラメンコギターに専念するようになったのも、クラブの定期演奏会で、OBのフラメンコダンサー東伸一矩氏と出会ったことが大きなきっかけとなりました。テレビのCMなどで母校の名前を目にすると、青春時代のシーンをいくつか思い出します。譲渡会で譲っていただいた妻のマンドラとギターを合わせながら、マンドリンクラブの再開を願う日々です。
（大阪府吹田市）

まだ現役？

私は金融機関で30余年務めた後、55歳で「高津商会」という企業へ転職しました。この会社は撮影所・テレビ局・劇場などの「小道具」を担当する会社です。当初は経理担当で移籍したのですが、3年目から営業部門の一部を管轄することになりました。65歳で定年を迎えた今もイベント現場の補助要員としてパート勤務しています。担当は、祭事・イベントでの衣裳や甲冑の着付けです。6度目の廻り歳を迎えて体力的には厳しいものはありますが、仕事の後のビール一杯は何ものにも代えられません！一方、孫との関りも生き甲斐のひとつです。子育てを妻に任せっぱなしの私には、どのように幼児と付き合ったら良いのか？ 試行錯誤の連続とはいえ新鮮で接しています。濡れ落ち葉状態にならないように、前向きに残りの人生を歩めるよう努力していきたいと思います。家族の皆さん私の我儘・勝手を許してください！
（京都府京都市）

^{とまっ}富松むぎわら音頭の復活をめざして

むぎわら音頭は、いろんな地域で踊られています。私が生まれ育った兵庫県尼崎市の富松地域でも昔は踊られていました。正式な名称は、「摂州兵庫功德盆踊り」と言われております。今から約1,300年前、僧行基が摂津の国を開発したときに、それに従事した労働者を慰安するために始まったとか、また開発などの土木工事によって安定した稲作ができるようになったことへの感謝の気持ちや豊年祈願の踊りとも言われています。

こうして昔富松の地域で踊られていた富松むぎわら音頭の復活をめざして、平成26年4月に「富松むぎわら音頭研究会」を立ち上げ、地域活動に取組んでいます。発足当時の会員は、4名でしたが現在は14名で少しずつですが人の輪が広がっているという感じです。毎月三味線、太鼓、踊りの練習をしておりますが、地域のイベントなどに参加して踊っています。これからも富松むぎわら音頭を地域文化として広め、魅力ある活動を行ってまいります。
▼写真:イベント(R6.3.9老人福祉センターまつり)出演時
（兵庫県尼崎市）

古希の旅路

古希を迎える今年、札幌で暮らす私に奈良から高校の同期会の案内が届きました。人生の節目であり時間にも余裕があるので、6月の会だったのですが、GWの明けた5月8日に愛車で札幌を発ちました。36日間の車中泊中心の旅は、各地でそれぞれに思い出深い経験を重ねることができました。奈良での同期会では、相応に老けた仲間たちとの旧交を温め、次は喜寿の集まりをと祈念し、6月12日に無事帰礼しました。さて元々、古希を機に10年ぶりの身体のメンテナンスをすべく、7月に検査を受ける予約をしておりましたが、あるうことかその2日前に私の身体が悲鳴を上げたのは驚きでした。悪性の物は無かったのですが、臍を15cmほど切り貼りし、30日間の入院を体験しました。退院後はゆっくり療養を勧められましたが、老化の速度と回復の時間を考えるとそうもいかないのは明白で、少々無理しながら楽しみを優先しております。やりたいことはやれる時に！ 皆様どうぞお達者で。
（北海道札幌市）

二日目は青森ねぶた祭、「ラッセイ、ラッセイ」の掛声とともに22基の大型ねぶたの迫力は、短い夏を惜しむ東北人のエネルギーを感じる祭りだった。

三日目は山形花笠まつり、生憎の雨の中、花笠音頭とともに約一万人が舞う祭りも、また思い出に残る祭りだった。

最終日は、仙台七夕まつり、大小3千本の七夕飾りが市中心部のアーケード街を色どる祭りも壮観であるが、竿燈やねぶたと違うしっとりとした雰囲気 の祭りだった。

70歳を超えてほとんどの都道府県は一度は訪れているが、行き残している名所旧跡を妻とともに旅をしたいと思っている今日この頃です。
（奈良県北葛城郡広陵町）

本学周辺は絶好のウォーキングコース

1976年3月に本学を卒業し社会人に。仕事は損害保険会社で28年間、その後出向転籍して不動産デベロッパー系の損保代理店で、17年間損害保険一筋に従事してきました。安心安全な補償の提案から事故発生時の対応と迅速な保険金支払い等に微力ながら、お客様のため、また社会貢献に役立ったのかなあ、と自負しています。東淀川区で在学時の2年間、結婚して延べ40年間、人生の半分以上を経大周辺で過ごしています。定年退職後は、趣味の野球観戦、鉄道旅行、日本百名山登山などを楽しんでいます。体力維持のために日課として1万歩のウォーキングをしていますが、経大周辺もそのコースに入っています。近年の学舎の充実ぶりには目を見張るものがあり、女子学生数も私達の学生時代と比べて格段に増えました。本学の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。
（大阪府大阪市）

卒業後約半世紀

昭和51年に卒業して49年が経ちました、退職後地元で公民館長をしており、時々しまなみ海道サイクリングを楽しんでおります。
瀬江への寄稿の栄は約30年前に次いで2回目になります。入学当時、上阪には尾道から特急で3時間以上かかり、昭和47年に入学してすぐ千日デパート火災の大惨事がありました。アルバイトにふけり、パチンコ・麻雀三昧の学生時代を反省するばかりですが、コロナ禍前の年、何十年かぶりで母校を訪ねてみました。上新庄駅に降り立ちゆっくりと大経大まで歩きます、当時の下宿先も今はなく町は様変わりしています。母校の威容が見えてきて感慨無量です。キャンパスには多くの学生が行き来して活気にあふれています。守衛さんがいたので足を踏み入れるのははばかれましたが、かつての青春が確かにありました。母校大阪経済大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。
（広島県尾道市）

ゼミ活動の思い出と近況報告

在学中の思い出として、今は亡き浜本ゼミに所属し日本学生経済ゼミ大会(ディベート大会)に出席すべく、横浜市大や福岡大に赴いた事が懐かしく思い出されます。1977年卒業時はオイルショック後で結構就職難でしたが、地元の尼崎浪速信用金庫(現尼崎信用金庫)に就職し6年間勤務した後、花王石鹸(株)(現花王(株))に転職しました。新規の化粧品事業に就き、徳島・高松・神戸・大阪・福岡・東京と赴任し、定年後3年間の再雇用を経て2017年12月をもってサラリーマン人生にピリオドを打ちました。今は出身地に近い伊丹市に居住し、家庭菜園と時折孫の守に明け暮れております。40年の時を経た2017年1月に当時のゼミ仲間と再会後、年に1回ゼミ旅行を楽しんでいます。コロナ禍で中断しましたが、昨年は岡山・倉敷・児島と巡り高松赴任時に開通した瀬戸大橋を眺め、懐かしく思いました。今もゼミ繋がりで交流がある事に感謝をしています。
（兵庫県伊丹市）

は母校を出て50年の節目となります。

さて地元石川は元日に大地震が発生し、能登の景観は無残な景色となり、いまだ復旧の見込みは立ちません。一度、金沢を起点にして能登にお出かけになり、大枚の消費を切にお願いいたします。
（石川県金沢市）

入学時の思い出と近況

合掌 私が大阪経済大学に入学したのは昭和47年で入学試験を終えて、ほっとする時に「あさまや山荘事件」が起きた年で、大学構内でもまだ学生運動の雰囲気 が醸し出されて いました。当時わが母校は授業料も私立大学としては格安で「経大節」にも謳われている♪ポロは着てても心は錦♪を地で行くような貧乏学生も多かった様に記憶しています。卒業後は高校時代の恩師の勧めもあり大経大卒の先生方にも助けられながら非常勤講師を経て和歌山県の高校教師を勤めあげる事が出来ました。現在は職場で知り合った友人達と「三匹のおっさん会」を作り毎年全国のお城巡りをしています。古希を過ぎてからは山城の訪問はいささか体力的にきつく感じますが、これも健康のためと思い頑張っています。
（和歌山県海南市）

大学入学卒業後のあゆみ

私は昨年卒業して以来47年ぶりに大学を訪ねました。大変立派なまたきれいな校舎に変わり昔の面影もなく驚きました。私が在学中は学生運動の真っ只中で2年と4年のとき学園封鎖により試験がレポート提出に変わりやっと卒業できました。私にとって学生時代の4年間は都会での生活という貴重な体験となりました。アルバイトに精を出して世の中というものを知ったときでした。田舎に帰り会社勤めをした後、保険代理店を行い現在に至っております。現在はその他、原木シイタケの栽培と備中神楽を舞っております(パリ公演・国立劇場公演・ユネスコ会議出演・韓国公演等)。たった4年間の大学生生活でしたが、後の私の人生の大事な時間となり学校を誇りに思っております。これからは自然の中で自由気ままに仕事をし、好きな神楽を舞い皆様へ感謝の気持をもって生活したいと思います。貴校の益々の繁栄をお祈り申し上げます。
（岡山県高梁市）

大学の同窓生たちとのグループライン

今年の6月に所用があり、関西の方へ行きました。その時にグループラインのメンバーたちとJR明石駅で待合せをしました。当日は8名が集まり昼食を共にしました。その後カラオケに行き、全員が熱唱し有意義な時間を過しました。ラインのメンバーは全員で10名ですが、義務教育の出身校はバラバラですが、内9名が大経大の同窓生です。私は熊本地震で被災し、そのメンバーのひとりから安否確認をもらい、その縁でこのグループラインに繋がりました。私は当時避難所にて、励ましの言葉を受け、心強かったです。毎々気の置けないやり取りや、健康の事、阪神タイガースの熱いファンとして投稿をしています。現在は全員がほぼ健康で元気にラインのやり取りが出来る事が幸せで、メンバーの繋がりに感謝しております。またメンバーとの小旅行が復活すれば小旅行にも参加したいと、楽しみにしている毎日でもあります。
（熊本県上益城郡益城町）

東北4大夏祭りツアーに参加して

かねてより観たいと思っていた東北4大夏祭りの観覧ツアーに参加しました。まず第一日目(8月4日)は秋田竿燈まつり、稲穂に見たてた高さ12m、重さ50kgの竿が280本、「ドッコイショ、ドッコイショ」の掛声とともに立ち上がった景色はみごとであった。

線路は続くよ どこまでも

2025年、卒業50年になります。在学中は姫路から片道2時間30分通学し松村幸一ゼミに在籍していました。「瀬江」には40年前にも投稿依頼があり、2回目です。その時は「国鉄全線乗車挑戦中」で文章を書き、約12年かけて、四国中村線中村駅で達成しました。鉄道趣味は現在も続けており、夜行列車・周遊券を利用した1人旅は出来なくなりましたが、最近は「青春18キップ」を利用の日帰り旅や家族・グループ旅行を楽しんでいます。愛読書は「時刻表」と言ってます。郵便局定年退職後ようやく自由時間が出来て、姫路市好古園大学・大学院(老人大学)史学科に入学。6年間学んで卒業し、「のじぎく会」(史学科OB会)に入会、市民会館・公民館の歴史講座に行ってます。大学には2006年地下鉄今里筋線が開通した時に卒業後はじめて訪れました。今回の投稿を機会に大学に再訪したいと思います。その時は50年ぶりに上新庄駅から歩いて行きます。
（兵庫県姫路市）

災害にも備え自己研鑽

大禰会の役員、事務局の皆様には、日々、会員のためにご尽力頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。昨今、全国各地で大地震や風水害が発生する度に、私儀、神戸市に勤務していた頃、阪神淡路大震災を経験し当時の理財局から避難所への応援、瓦礫置場や仮設住宅用地の確保等街の復旧復興に奮励した事が昨日の事の様に思い起されます。各被災地の皆様方の暮らしの安寧を願って止みません。コロナが落ち着くなか、生涯学習として神戸市シルバーカレッジ(3年制)の美工専攻で仲間作りや絵画、陶芸を中心とした勉学に勤しんでいます。母校先輩の作家、成田一徹さんの俊才は別に何とかその感性にあやかり作品を残せたら(家族は嫌がりますが?)と思っています。末筆ながら世相何かと厳しい折、母校のご発展と会長、会員の皆様のご多幸ご健康をお祈り申し上げます。
（兵庫県神戸市）

大阪経済大学、涙のゆくえ

私は、昭和46年、母校へ入学する。「やっと大学へ入れた。」①「嬉し涙、感激の涙」がほほに伝う。「ギター部」に入り、大学祭準備練習で遅くなり、間間の下宿先に泊まる。「大分県、長崎等」の②「お国訛りと懐かしの涙」がこみ上げる。卒業後、「守口市」を平成24年定年退職！当時、故母の介護もあり、職がなく③「無念の涙」に暮れる。そこで「山田商店」(借家業)を立ち上げ、「順調や」と思ったら、「家賃の滞納裁判に!」。結審後、一回り以上若い女性弁護士に「どの学校ですか」とお聞きすると、「京大です」とのお答え。私、「エッ! 絶句する」。先生が、「大学出てはるの」。ようやく④「安堵の涙」が出る。家修理の挨拶時、「大学出の家主さんや」(近所の方!)「不動産店、銀行」等親しくなると出身大学の話も出る。今振り返れば「公務員時代、裁判」も含めて、在学中に「民法、会社法」を学び力になった。近所の方の「高校受験生」に「受験の手ほどき」をし「希望高校合格」で⑤「共感の涙」。この「人生の基礎」を築いた「母校」を想い! ⑥「感謝の涙」がふと出て来た！72歳の私「母校と涙の日々」が続く！（大阪府大阪市）

嗚呼、懐かしの青春

関 登(41回)
大学の4年間は最後の学園紛争の時代というべきでしょうか。レポート提出の試験が多かった記憶があります。語学と体育と必須科目がある曜日は何とか睡魔を抑えて学校へ行き、終わったら上新庄での雀荘へというルーティンの1週間、時間を余すことが多く、アルバイトに明け暮れておりました。1年の秋にはホンダの「Z」(通称水中眼鏡)という軽4輪車を中古で購入し、まだ北陸自動車道が一部しか開通してないため、敦賀より国道8号線をオーバーヒートギリギリのエンジンでだましすかし帰省をしました。卒業の年は日本経済がオイルショックから立ち直りかけ、ベトナム戦争が終結しました。フランス映画「エマニエル夫人」がヒットし「ミロのビーナス」のような裸体を繰り返し鑑賞いたしました。就職は地元金沢で何とか初任給68,000円のサービス業につくことができ、いまだ現役で日々励んでおります。来春に

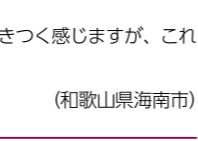
望月 秀樹(41回)



下村 幸司(42回)



三宅 貴也(42回)



庄田 公哉(41回)



山田 正人(41回)



吉瀬 和夫(42回)



奥村 和久(43回)



出嶋 英和(43回)



本田 良生(43回)



長崎 史明(43回)



苦しくなることが多々ありました。中でも一番の反省と後悔は、もっと親孝行していればという事です。あの時あししていれば、こうしていれば、と落ち込んでしまいます。しかし、残りの人生、落ち込んでばかりはいられません。

今はこれからの人生、反省と後悔をできるだけ少なくする為、今の自分が一番大事で、何に満足できるのかを常々考え、そして家族、友達、周りの方々、そしてこの世界に感謝し、自分なりに少しでも、そのご恩に対し、返していければと過ごしております。
（大阪府和泉市）

剣道を通して広がる和

大学には3年遅れて入学することとなる。そんな矢先剣道部の勧誘を受ける。歳も歳だし、左足に障害もあることを伝えると、「剣道に年齢は関係ない。腕のない人でも構えがある。一緒にやろう!」と、その言葉に背中を押され、体育会剣道部、血と汗と涙の稽古を4年間続け、何物にも代えがたい仲間を得る。卒業後は、生き馬の目を抜く証券業界で34年、地銀にアドバイザーとして9年務めさせて頂き、2022年コロナ禍の中、年金生活者となる。

2024年同期が京都で八段審査と演武大会に参加するとの事。演武大会は、全国から称号を取得している高段者2556名が日ごろの鍛錬の成果を試す。剣道部OBも、創設者の松尾先輩(29回)をはじめ、錚々たる方々が参加される事を知る。中でも同期の栃原氏熊本(45回)と3年上の久野先輩大阪(42回)が、50年の時を経て立ち合う偶然に、鳥肌が立った。

退職後、地元の写真クラブに入会。演武大会の写真では、剣道を真剣に取り組まれていたことが伝わる作品との言葉を頂く。人生百年、大阪経済大学の益々の発展を楽しみに、これからも人生での自分なりの構えを研鑽していく所存です。
（京都府京都市）

私の回想

大経大卒業後、金融機関に就職して定年、囁託を終えて66歳から警備会社に勤務しています。金融機関として2回の合併の経験がありましたが、43年7か月と長きにわたり名前は変わりましたが、同じ金融機関に勤務できた事は私の人生において自信につながりました。昨今、若い人が入社する度に数か月も在職しない内に退職してしまうことを考えると仕事を転職したいなと思った事は何回もありましたが、その都度、同じ職場の大経大の同期、先輩に助けていただき無事に勤めることができた事は良き人にめぐり会えた事以外にないと思います。

大経大在学中は仲間と軟式野球チームを作り仲間の下宿先を部室代わりに使い練習に励んだ事をついこの間のように思い出します。練習試合を社会人として投げる、打つ、守ると全てにおいて相手が上がった事を学びました。いずれにせよ学生時代、社会人時代を通して良き人に巡り会えた事は最高に幸せです。
（大阪府茨木市）

「税理研究会」と「茶慕里」

6月1日(土)、大阪東急REIホテルに、税理研究会(税研)の43～47回卒業生24名が集まり、5年ぶりのOB会を開催。コロナ禍で疎遠となり、今復活しなければという声があり、再開をしました。最初は税研のたまり場だった「珈琲館茶慕里」常連の集まりから発展し、回生を超えての集まりと拡大してきています。毎日17時以降の空き教室で4時間余りの学習会に臨み半年で日商簿記1級合格を目指し厳しい指導に耐え勉強した1回生、さらに税理士試験へ向けた学習や後輩の指導に取り組んだ2、3回生。それらが私の38年間の教員生活の土台となりました。その陰の支えとなった居場所が茶慕里で、親代わりのような店の方と仲間にとだけ助けられたことか、当時の店内での会話や様子が思い出されます。茶慕里も閉店し、当時の大学の建物も一つもなくなりましたが、脳裏に刻まれた想い出は消えないもので、語り合えばどんどん鮮明によみがえり、当時厳しく指導していただいた先輩の熱き思いや後輩の思い出話など、3時間があっという間に過ぎ、再会を胸に帰路に、二次会へと……。
（兵庫県西宮市）

トを運営し、ブログを通じて自己の経験や知識を発信しています。

これからもさらに知的活動を広げるための準備を続けており、社会への貢献を目指しながら、新たな挑戦にも積極的に取り組む意欲を持っています。特に、若い世代への教育や指導に興味を持ち、自身の知見を共有することで、未来を担う人材の育成に寄与したいと考えています。
（島根県大田市）

古希を迎え、地域とともに

金澤 裕生(44回)
令和6年3月末に46年間勤務した蒲部信用金庫を退職し、4月より総代(町内会長)として「安全・安心」なまちづくりと地域交流の活性化に努めています。大学時代(学生寮1年・下宿3年)を除いて地元で生まれ育ててもらったことを顧み、里山カーボンニュートラル事業、子どもの見守り活動、三遠ネオフェニックス(バスケットB1リーグ)等のボランティアとして地域に貢献してまいります。

近時、小学・中学・高校の同級会や会社のOB会等の世話役に依頼され、友人知人の訃報に接することが多く、現在健康であることに感謝し、会合には積極的に参加していこうと思います。

さて、昭和45年大阪万博(当時15歳)の感激感動を思い、令和7年大阪関西万博の開催に期待しています。

大阪経済大学大樟会の益々のご発展と同窓生のご健康とご活躍を祈っております。
（愛知県蒲郡市）

生涯学習

岡 静子(44回)
退職をして早、9年目。高松駅のすぐ前にある「玉藻公園」の東手にある事務所、(公財)松平公益会に勤務しております。人材の養成・教育の普及及び文化の発展を目的として高松藩12代当主 松平 頼春によって大正14年に設立されたもので、来年は100周年記念行事を予定しています。現職時代に経験したことのない仕事ですが、元々が中学校社会科教員でもありましたので、興味はあるものの日々新しい学びをしております。これこそ「生涯学習」です。事務局の仕事の一つとして、県立美術館を通して松平家や当会所蔵の作品の画像や資料等の出品提供も行っており、高松藩主松平をとおしてあらためて高松の歴史・文化に関する「知らなかったこと」を深掘りする機会ともなっています。

また、現在は、香川県独立の父とたたえられる「中野武営」について顕彰会を立ち上げ、香川県出身の偉人、中野武営の業績を多くの方に知っていただけるよう事業を進めております。どうぞ高松においての際にはぜひお声かけくださいませ。▼写真:玉藻公園桜御門
（香川県高松市）

地域への恩返し

本廣 崇志(44回)
昨年、ニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2024年に行くべき52カ所」で、世界各地の旅行先の中で3番目に選ばれた「山口市」に住んでいます。山口大学の発表によると観光客の経済効果が約90億円と算出され、「西の京」と呼ばれるコンパクトシティの中で国宝「瑠璃光寺五重塔」・美肌の湯「湯田温泉」などが紹介され、地酒・瓦そば・ぶぐ・外郎などを求めて、海外を含め多くの旅行者が訪れています。

私は、昭和53年3月末に卒業し、現在まで地元にお世話になった恩返しのつもりで、消防分団長・地域防災部会長・保護司・高齢者の送迎・防犯パトロールなどボランティア活動で忙しい毎日のなか、頼まれて近くの社会福祉法人で月13日程度働いております。趣味の旅行やゴルフ、可愛い孫の面倒など、体調も良く充実した日常生活を送っています。
（山口県山口市）

私の近況

下熊 敏三(44回)
昭和53年に卒業し、信用金庫にちょうど40年勤め、今は阪神高速で料金收受の仕事をしています。24時間の昼夜勤務で、真夜中は5時間程一人で収受ブースの中で時を過ごします。前職での40年間は、仕事に疲れ寝ての毎日で、あっという間の40年でした。現職になって、時間がゆっくり進むようになった時、若かりし時代の記憶が蘇ってきました。その思い出は、反省と後悔ばかりで、

現況について

重田 喜生(44回)
1978年(昭和53年)卒44期生です。ゼミは教育学の滝内大三ゼミでした。教員免許は何とか取りましたが大学時代は殆ど音楽漬でしたね・・・就職もマダ厳しい時代で何とかYAMAHAの関係の会社に就職しましたが・・・これからの時代は『通信の時代』と考え、将来の為ビジネスホン・コンデンサの通信機メーカーへ転職しました。

まあ～転職はよくしましたね。広島、岡山、高松、東京(2回)、大阪。会社もNECの工場が我が社に事業統合となりNEC100%の子会社になりました。まあ～就職は運ですね…何とか60歳定年まで働くことが出来、退職後は半年間遊んで(ハワイ2週間滞在等)その後、神戸市外郭団体の5年期間職員として65歳まで勤務しました。

大阪経済大学は息子もお世話になり卒業後は国家公務員として働いています。現在は66歳からは中学校高校で週三回程仕事をしながら・・・学生から続けている音楽活動、一人旅での海外旅行、等々忙しくしています。▼写真:2023年、アナハイムにて
（兵庫県神戸市）

飲み代が酒から薬に変わる今

濱田 常久(44回)
今年は昭和100年。私のように昭和30年生まれは70歳で古希を迎えます。卒業以来65歳まで文具業界で営業の仕事させていただき定年。その後、貯蓄で悠々自適の生活かと思いきやそれはなし。短い労働時間でストレスなく働く「小さな仕事」で医療従事者として仕事満足度を上げております。大部分の日本のサラリーマンがそうであるように子供の教育費や住宅ローンに多額の出費を見込み、それこそ生活のための労働意識が強かった現役時代。そして区切りの65歳で満額の公的年金の受給開始。阪急上新庄駅から通学で15分間歩いた膝もコキコキ。4年間剣道をした腕もコキコキ。節目節目での同窓会などの集まりで話題はいつも「飲み代が酒から薬に変わる歳」のこと。歯は抜ける、髪は抜ける、けれども同窓会名簿からこれ以上友が抜ける事のないよう健康に留意。私も孫からの呼び方がジィジィからジジイジジイと発音が変わらぬよう心豊かな生活を目指します。
（大阪府大阪市）

コロナ禍で引き継いだ支部長職

山西 喜久(44回)
私は、2020年4月に北河内支部の支部長職を引き継ぎました。その年の1月に前支部長が逝去されたため、空席になった支部長職を事務局長だった私が引き継いだわけですが、2020年は、新型コロナウィルス感染拡大予防のため、支部として例年行っていた総会をはじめバスツアーやカラオケ大会等の懇親会行事を、全て中止せざるを得なく残念な状況でした。それ故、支部総会を2023年10月(4年ぶり)に続いて2024年6月に開催できたことは大変嬉しく思いました。また、総会への参加者はそれぞれ20数名だったにもかかわらず、初めての参加者が数名いたことも少しずつ繋がれば良いなあと思いました。

北河内支部は、枚方市、寝屋川市、門真市、守口市、大東市、四條畷市、交野市の7市と広範囲であり、卒業生も1,900名います。それ故、なかなか集まることができませんが、「灘江」を読んで、自分も北河内支部の一員だと認識して総会等に参加してくださる方が、一人でも増えることを望んでいます。
（大阪府交野市）

近況等

山崎 京二(44回)
私の近況についてご連絡いたします。私は現在70歳で、要介護1の状態にありますが、これまでの経験を活かして新たな挑戦に取り組んでいます。公立小学校で30年勤務した後、経済学修士号を取得し、博士課程に5年間通学しました。その後、島根県立大学で3年間、中国人留学生と共同研究を行い、異文化交流の重要性を実感しました。

現在は「人生に奇跡を起こすヒント」という自己啓発系のコンテンツを制作し、オンラインプラットフォーム「ココナラ」で販売するなど、引き続き精力的に活動しています。また、「マハラジャストーリー」というタイトルのワードプレスサイ

ゴルフを始めたきっかけは、大学の体育の授業

八木 龍一郎(43回)

65歳で定年後、今も時々アルバイトとして前職の会社で仕事をしております。私が勤めていた会社は広告代理店で高校卒業後の進路先情報を提供する会社でした。その為母校である大阪経済大学を担当し卒業後もたびたび訪問することもあり、大学の変遷もリアルタイムで見えてまいりましたが残念ながら私が通っていた頃の校舎は一切残っていません。

私は今ゴルフに夢中です。この3年間は年間60ラウンド程プレーしています。メンバーは大学、高校時代の友人です。ゴルフを始めたきっかけは大学の体育の授業でした。1年生の体育はサッカー、ゴルフ等種目選択制であった為、案そんなゴルフを選びましたが、これが失敗で只ひたすらネットに向かってボールを打っただけでした。それがゴルフを始めたきっかけでしたが、その後は独身時代は年に2回ほど、結婚してからはクラブを握る事もなく定年を迎え、今はそれを取り返すごとくゴルフに没頭しています。
（大阪府堺市）

人とのつながりは、私の財産

森平 晃司(43回)

昭和52年3月卒業し、47年が過ぎ、古希を迎えました。在学中は、美術研究部に属し、個性豊かな先輩、同期、後輩に囲まれ、充実した学生生活を送り、自分自身が随分変わったと思います。

卒業後テキスタイルの会社に就職し、京都、東京で仕事をしましたが、地元での仕事を余儀なくされ、保険代理店を立ち上げ、41年になります。小さな会社ですが、京都で社員と一緒に、現役でやっています。

最近の原動力は、孫を含めた家族との団欒はもちろんですが、関西の同業店主等の集まり(関西NNC)で、関西小旅行を年2～3回やっています。美術研究部(緑樟会)のOBでは、現在、42・43・44回卒ですが、つながってます。一泊二日で合宿しようとなったのですが、コロナで延期になりました。約20名程の参加予定でした。

同じ体験同じ立場の人達の集り、つながりは、楽しくて元気が出る私の財産です。
（滋賀県大津市）

大病を乗り越えて…

山本 勉(43回)

早いもので、大学を卒業して約半世紀(48年)が過ぎようとしています。そして古希を迎え、残された人生も第4コーナーの少し手前を走っているような状況なのかもしれません。

卒業後、大阪中央郵便局に入り、近畿郵政局をはじめ近畿2府4県の郵便局等に勤め、60歳の定年までとOB期間を含めた40数年が経過した直後に、心臓の大病を2度発症し生死の境をさ迷うこととなりました。お陰さまで、今日こうして元気に暮らしているのも妻が、嫌がる私を無理やり病院に引っ張っていかれたからだと感謝しています。

そして、去年4人目の孫が誕生し我が家も大分賑やかになってきました。私も新しい命に負けることなく、喜寿、米寿と一日でも長く、家族と幸せな日々を送ってきたいと願っています。
（大阪府大阪市）

卒業

田中 和彦(43回)

今年、満70歳になりました。昭和52年に卒業し、地元の信用金庫に就職してから、47年が経ちました。現在も現役で勤務しています。

振り返ってみると、金庫一筋、辛かった事、楽しかった事など、語り尽くせない思い出と自己成長ができた貴重な歳月でした。入庫当時は「そろばん」ができず、3級ドリルを買って懸命に練習しました。札勘の「縦読み」「横読み」も同様です。それでも内勤や渉外担当時代には数限りない失敗を繰り返し、何度も挫折しました。今日あるのは、理事長や先輩方の「やさしさ」に支えられ、励まされたからこそです。今後は、2年後の金庫創業100周年、その先の150年に向けて、学んだ貴重な経験や「やさしさ」の文化を、「会話」「対話」を通して後輩に伝えながら、金庫の飛躍を願い、自分自身が元気で卒業できるよう頑張っています。
（兵庫県相生市）

遠い記憶

野口 博(48回)

大経大を卒業して今年で43年(53年入学)になる。私は入学と同時にボクシング部に入部した。友達作りの目的もあったがボクシング部は競技の特殊性もあり、無理な勧誘はせず本人の意思で入部できたので共感が持てた。同期は7人いて、そこで佐賀市出身の山口君と知りあった。山口君とは今も北部九州の同窓会で会っている。私は2回生になると体育会本部員となった。授業とクラブと本部詰めの日日だった。ボクシング部では1回生から団体戦のメンバーでフェザー級で出場した。春のリーグ戦と秋のトーナメント戦があり1年の半分を減量で過ごした。それぞれ3ヶ月間6kgの減量をした。喉が渴き腹が減って眠れなかった。今でもたまに夢を見る事があるが、今では良き思い出である。

体育会本部では4回生で会計部長の職務に就き、各クラブの年間活動費の折衝や全国大会等に出場するクラブの遠征費の補助金の交渉等学生部や同窓会へ陳情に良く伺った記憶がある。体育会本部時代にお世話になった同窓会の比企先生、ボクシング部の減量期間中にお世話になった福井様夫妻に感謝を申し上げたい。(福岡県春日市)

夏はやっぱり 流しそうめん

野田 満(48回)

富山県の高校に38年間勤務し、定年退職して5年の再任用期間を自然豊かな「となみ野高校」で過ごしています。教員生活の最後に生徒たちに珍しい体験をさせたいと思い、今年の夏は「流しそうめん」を企画しました。久しぶりに大工道具を持ち出して、山へ行って、竹を切り、割って節を抜き水路を作り、足場を作り、器と箸を人数分作りました。作る過程を若い先生方に見てもらって、手順を説明し、「機会があったら、次は自分でやってみたい」と言われると少し嬉しい気分になっています。過去に実施した体験型学習の事例をマニュアル化して残していこうと考えています。

若い方は優秀な方が多く、ICT機器の操作方法などは教えてもらうことが多いのですが、このような体験型学習を経験したことが少なく、指導の抽斗を増やしてくれば良いかなと思っています。(富山県射水市)

テニス全国優勝

平塚 聡(49回)

皆さん、こんにちは。私は経営学部0組、第2外国語は中国語、千葉ゼミに所属していました。入学から1年限定の今はなき井高野寮に入寮、在寮中は寮生10名前後が夜道を自転車で鳥飼基地に向かい深夜まで新幹線車内清掃のアルバイト、今も新幹線に乗るたび思い出します。2回生、新潟関スキー場での体育授業で雪崩を間近で経験したこと(何人か腰まで埋まったがケガ人はなし)も懐かしい。その後、スキーに取り憑かれ柵池のロッジでバイトしながらスキーに没頭しました。卒業後は10年弱製薬会社でMR(当時の呼称はプロパー)の後、損保に30年近く在籍しリタイア。現在は公共交通の安全研修に携わっています。今はテニス(硬式)を毎週末彦根城下の金亀公園で満喫。卒業後始めたテニスですが、一昨年ねりんピック愛媛大会でなんと全国優勝。昨夏は思い切って白内障手術、劇的な視力回復により今後の人生まだまだ楽しめます。懐かしく思っていたいた方、連絡お待ちしてます。(滋賀県彦根市)

sudden shock

林 日出夫(49回)
GW明け頃だったでしょうか。仰向けに寝ている時に、ふとお腹を触ってみたら、何やらしこりのようなものが。これが俗にいう内臓脂肪かと思い、近くのクリニックで診てもらったところ、先生から「紹介状を書きますので、可及的速やかに検査を受けに行ってください」と言われました。“可及的速やかに”なんて、CM以外で聞くのは初めてでした。紹介状を持って、病院に行くこと「悪性リンパ腫の疑いがある」と言われ、有無を言わず三泊四日の検査入院。結果、濾胞性リンパ腫と診断され、化学療法を受けるため本格的に入院することになりました。いろいろ仕事を立て込んでいたので「8月の休みではダメですか?」と聞いてみたら、どえらい剣幕で怒られました。六十を過ぎてか

上下関係と規律が厳しく、心身の鍛練が出来る少林寺拳法部の部活動には4年間休むことなく励みました。1・2回生の時は厳しい練習と上下関係でその日その日を乗り切るのに必死でした。同期入部の友達は次々とクラブを辞めていき、私も明日は辞めて一般学生のような自由で楽しい学生生活を送ろうと思う毎日でした。結局、自由で楽しい学生生活を経験することなく卒業しました。

卒業後は厳しい規律と心身の強さが求められる兵庫県警に奉職しました。阪神淡路大震災では着替えもできず風呂にも入られず警察本部庁舎の床に段ボールを敷いて寝るという勤務が2ヶ月間続くなど、他にも多くの厳しい勤務を経験する度に、クラブ活動で培った忍耐力と精神力で乗り切りました。警察退職後は実家の丹波市に戻り、自治会長、野菜作り、鯉の鑑賞などのんびりやっています。(兵庫県丹波市)

世界遺産・軍艦島に行ってきました

郡山 康(47回)

5月に、夫婦で長崎に行ってきました。一番の目的は世界遺産・軍艦島。長崎港から往復3時間の船旅。上陸できるのは30分間のみ。昭和49年から無人島となり、その後廃墟となった鉄筋コンクリートのビル群が島を取り囲むように建ち並んでいます。郷愁の中に、昭和の底力を見たようでした。

長崎市内に戻り、夕方は世界三大夜景に選ばれた伊佐山公園に上り、沈みゆく夕日と夜景を見て、山上レストランで地元食材のディナーをいただきました。ところが、下りのロープウェイ乗り場は1時間待ち。下山して最寄りバス停に着くとすでに最終バスは出た後でした。仕方なく、歩いていると、一台のタクシーが通り過ぎた後、なぜか次の交差点の手前で停止。近づくと、ロープウェイで私たちの後に並んでいたご夫婦でした。運良くタクシーを拾えたので、ホテルまでご一緒にとのご厚意でした。遠回りをして私たちをホテルまで乗せてくださり、大変感激いたしました。旅先での心のふれあいに感謝した旅となりました。(兵庫県神戸市)

温郷織夢―故郷で夢を織る―

西村 徹(48回)

昭和53年4月、兵庫県但馬地方から大阪経済大学に進学して、卒業後は帰郷し、浜坂町役場(合併して新温泉町役場)に入庁し、町行政の推進に携わって来た。そして、令和2年3月、定年退職と同時に、囚らずも新温泉町副町長を拝命することになった。現在、2期目を迎えている。私はライフワークとして、書道と短歌に親しんでいる。大学では「書道愛好会」に身をおいて、暇さえあれば、京阪神の画廊、美術館などを訪れ、書作品を見あさったものである。このことにより田舎ではとういてい身につけられなかった書道のバックボーンを得ることができた。また、経済学部だったので、一般教養科目でも短歌に関する科目を履修することはなかったが、平成25年から「心の花」に所属し、これまで約三千首の歌を詠んで来た。令和4年9月には、エッセー集「随感漫筆」、令和6年4月には、母と私と息子の三世代歌集「門前の小僧と子僧」を出版した。(兵庫県美方郡新温泉町)

失敗しない人生

黒川 泰次(48回)

私の人生は、波乱万丈の人生で浮き沈みが激しかった。しかし、大阪経済大学を卒業して、会社員を10年して、会社で結果をだし円満退社し、病院でボランティアをしながら、妻と結婚して、妻と母親が何度も入院して、現在無事に健康をとり戻し、幸せに暮らしています。この様な人生を送る事が出来たのは、やはり、大阪経済大学で猛勉強して卒業した結果、洞察力、判断力、集中力、精神力が磨かれ、失敗しない人生に影響を与え、今後も失敗しない人生を送れる様に力を尽したいと思います。現在、絵を書いたり、論文を作成したり、仏像を彫ったり、書を書いたり、スポーツをしたりして健康的に生活しています。(兵庫県西宮市)

今は週末には自治会活動、平日には体力維持の為ジムで汗を流す毎日を送っています。学生時代の友人達とは仕事に追われ年賀状だけのお付き合いになっていましたが、旧交を再開し年に数回の旅行が楽しみになっています。

昨年大樟会富山支部に初参加しました。同窓同郷の皆さんに初めてお会いし、大経大の現況を知る事が出来て参加して良かった。(富山県射水市)

母校への誇りと愛着

野瀬 隆行(46回)

地元のコミュニティセンター(公民館)で囑託職員として勤務させていただいています。最近は母校へ行く機会はほとんどありませんが、以前は「大樟教育研究会」に参加させていただき、経済大学でありながら教師をめざす学生たちの、熱い思いを聞くことができました。また、研究会に参加させていただくことで、旧友との再会や校舎が立派に変貌している姿に気づくこともできました。

今年、大樟会滋賀支部の幹事をさせていただくことになりました。支部役員会で感じることは、役員の方々が母校に誇りと愛着をもっておられることです。個々に様々な理由があると思いますが、驚かされました。

滋賀支部で今後大切にしていきたいことは支部総会に一人でも多くの方に参加していただくことです。特に卒業されて間もない方が、参加してみたいと思える魅力ある総会にしていこうことだと思います。役員同士がつながり互いに知恵を出し合うことを合言葉にして!!(滋賀県東近江市)

支部活動に数年前より参加させていただいています。

大浦 邦司(46回)

卒業後、40数年一つの会社で勤めました。営業から始まり、転勤も幾度か経験しました。その後本社に戻り、暫くしてから管理部門に、皆様と同じく結構いろんな経験をさせていただきました。

大学時代は勉強よりも学友たちとの旅行などが鮮明に記憶に残っています。年を重ねて会社からもそろそろ卒業かというところで会社時代にはなかった利害関係のない大学のOB会の案内がある事を思い出し、少し前向きな気持ちで支部活動に参加させていただくことになりました。年下もいますが圧倒的に年上の方の参加が多く、これまでの人生を伺ったり、楽しい交流をさせていただいております。

最近は大学のテレビCMも頻繁にみられるようになり、変わっていく様子がわかります。在学中の学生や経大を目指そうとしている方達が今後の大学生活や人生を有意義におくってもらえたらと思います。今になって、私にとって、OB会のみではありませんが、人と交流することがプラスになると感じています。適当にゴルフなども(笑)(大阪府茨木市)

鉄道研究会OB会について

新田 健一(47回)

在学中の4年間(1977年4月～1981年3月)鉄道研究会に所属をしておりました。私が1回生の時に、4回生～1回生の全学年が揃った新しい部でした。その後部員の減少等もあり現在は廃部となっております。1993年に「大経大鉄研OB会」として活動を開始し現在の会員数73名となっております。活動としましては、年数回会報「よど」(事務局1983年卒業木克実さん)を発行しております(現在第79号)。また関東地区と関西地区で新年会や東西交流の撮影会等の親睦行事を行っております。

「澱江」を読まれている鉄研OBの方で、OB会に入られていない方がおられましたら、『Netよど』(管理者1988年卒岡田隆義さん)というホームページにご連絡を頂けましたら幸いです。またFacebookにも大経大鉄研OB会というグループを設けておりますのでそちらへのご加入も可能です。

最後に紙面をお借りいたしまして、長年OB会活動を支えて頂いております荒木さん・岡田さんに感謝の意を伝えたいと思います。(兵庫県伊丹市)

私の人生を支えたクラブ活動

藤本 孝典(47回)

私は、学生時代毎日大学には通っていましたが授業に出席することはなく、

新しい毎日

吉田 悦子(45回)



46年間の勤務を終えて数年がたち、毎日が日曜日の生活もすっかり板につきました。

新たな趣味を始めたり、友人たちと美術館やコンサートを楽しんだり、海外や国内の旅行にでかけたりと、働いていたときにはなかなかできなかった日々を楽しんでいます。趣味の集まりや、公民館の活動に参加する中で今までは会うこともなかった人達と知りあい、知らなかった世界を教えてもらえるのも新鮮な喜びです。

最近、色々な演芸でボランティア活動をしているグループにさそわれ活動を始めました。子供たちにパルーンアートを教えたり、高齢者施設で皿回しや腹話術、スコップ三味線を楽しんでいただいたり。私もつたないながら、いくつかの芸をひろうしています。ありがたいことに毎月のように依頼があり、豊中市を中心に活動しています。見て下さる方々の笑顔を励みに、これから元気にがんばりたいと思います。(大阪府池田市)

定年後の時間割

荒木 雅之(45回)



65歳で41年間のサラリーマン生活を無事終えた。セカンドライフの時間割は週3日程働いて、後の日は友人とのゴルフや妻との旅行を予定していた。義父が定年に合わせるように認知症になった。世話をしていた義母も1年後に認知症になり、老老介護の生活に直面した。妻が介護のために週2回実家に泊まるようになった。働くことも二人で

旅行に行くことも難しい状況となり時間割の変更を余儀なくされた。一昨年義父は亡くなった。

今年、古希を迎えるが、現在の時間割は日月・水木は妻の送り迎え、好きなゴルフは火曜か金曜にプレーし、畑の手伝いは週一日、雨の日は孫の送迎と結構忙しい日々を送っている。

妻は両親の介護が5年余りになり疲れが蓄積しているが、近くに三人の子供が住んでおり七人の孫たちが遊びに来てくれるので、妻は孫たちから元気をもらっている。介護はいつまで続くかわからないが、時間割を変更しながら夫婦でセカンドライフを楽しみたい。(兵庫県西宮市)

第三の目標

前庄 克則(46回)

卒業し早や四十五年。大学時代は茨木市にあった鳥取県人寮に入寮、阪急電車で総持寺駅から上新庄駅まで通学しました。一年生の時、大学から給費生の認定を頂き前期授業料が現金で返礼されびびくりしたことを覚えています。四年間の学費免除とアルバイトで、役場を病気で早期退職した親からの仕送りもなしで卒業できました。ゼミは竹林庄太郎ゼミで中小企業診断士を目指し、就職先の鳥取銀行でも選抜試験には合格したものの資格取得は叶いませんでした。また独立総部のゼミナール協議会に所属し、ゼミの大会のサポートで他大学へ行った事が思い出されます。当時の仲間六人でライングループ作っており、昨年は土肥温泉に久しぶりに集まりました。

卒業後は、三十三年間の鳥取銀行勤務を経て、地元スーパーの総務部長を勤めています。次は、来年から二年掛けて島根神社庁で宮司の資格を取得し、氏神様の神主になることを第三の目標としています。(鳥取県東伯郡湯梨浜町)

今は元気な後期高齢者が目標

前田 友幸(46回)

大学に入学したのが半世紀も前になりました。入学式の翌朝には証券研究部部長と同じ下宿と言う縁で入部。1～2ヶ月のつもりで始めたイズミヤ上新庄店でのアルバイトが足掛け3年も続き、就職に際して小売業を目指す切っ掛けとなりました。

卒業後郷里の富山に戻り、地元のホームセンターに就職。合併や経営統合で社名が2度変わりましたが、37年間勤め定年を迎えました。半年の充電期間を経て業務用食品卸商社で7年勤め23年より年金生活に入りました。

ら怒られると結構凹みますね。生まれて初めての入院生活。点滴をぶら下げて歩くのも初めて経験しました。今は通院ですが、ガン保険をかけていなかったので、懐かとても痛いです。(大阪府大阪市)

経大卒を誇りに

矢野 悟(49回)



卒業してから41年が経ちました。現在、私は外資系損害保険会社Chubb(チャブ)損害保険会社で執行役員兼営業統括本部長として勤務しています。入社以来、社名は5回変わりましたが41年間、同じ会社で働いています。入社時から営業職に従事し、Chubbの商品、サービスが顧客にとっていかに良いかを代理店、保険募集人に提案、他社よりもChubbの商品を多く販売していただきました。お客様からの信頼、

信頼を得ながら、これからもぶれずに社業に邁進して行きたいと思えます。

在学中はE.S.S部に所属し、様々な経験をさせていただきました。私はディベートセクションに所属し他校と対戦したり、経大E.S.Sが所属するK.I.E.F(関西にある13大学のE.S.S連盟)においてディスカッションやスピーチ大会、春・夏合宿に参加し素晴らしい体験、多くの友達に接し、自身の視野を広げることができました。今、思えば経大時代が大変楽しく有意義な時間を過ごせたと思っています。これからわが母校を誇りに大阪経済大学を見守って行きます。(神奈川県川崎市)

経大で学んだ誇りと感謝

山合 邦子

山合健一(51回)妻



夫、山合健一は本年六月二十日、六十三歳にて永眠いたしました。

経大卒業後、大阪市立扇町商業高校に、商業科の教員として奉職。以来、普通科全盛の時代に、衰退の一途をたどる商業科教育は、いかにあるべきかを模索し、資格を生かした進学・就職に活路を求めました。

高校生だけでなく、本学生の就職を考える大樟会での研究会にも一時、参加しておりました。

早期退職後は、老後に向けて、持論を自ら実践し、宅地建物取引士・行政書士の資格を取得しました。更に、司法書士を目指し、何度目かの挑戦中に病魔に襲われ、三年間の療養の甲斐なく、帰らぬ人となりました。

設立者・黒正巖博士に心酔して(著作集が本棚にずらりと並んでいます)、経大で学んだ誇りと感謝を常々、口にしておりました。療養中もスポーツ大会を楽しむなど、愛してやまなかった母校の更なる発展を祈ります。(兵庫県西宮市)

山合健一(51回)さんがお亡くなりになられたため、奥さんから想い出を寄せていただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。

今までもこれからも続く知り合えた縁

佐々木 啓介(53回)

今年還暦と言う人生の節目の年を迎えたこともあり、我が人生の幾つかの岐路を思い出します。故郷福井市から経大の井高野ブランドに建っていた古めかしい寮の一室で大人の生活をスタートした事はとても懐かしく大切な思い出と

して心に残っています。そんな大学生活で知り合った知人友人達には、今も教えられ支えられて良い関係を長年続けられていることを幸いに思います。



現在は眼鏡の聖地福井県で老舗と言われる眼鏡店の三代目として、日々人との関係を大切にしてお店を切り盛りしています。私の地元福井の大樟会福井県支部は、同窓会活動を大切に考えている卒業生も多く、定期的な懇談会やゴルフコンペ等を開催し、積極的に同窓の良好な関係を保つ事を心掛けている支部だと感じています。私もその活動に魅力を感じているひとりなので、今後も積極的に協力し更なる会の活性化と発展に微力ながら協力していきたいと思えます。(福井県福井市)

飛翔

磯部 達也(57回)

大阪・関西万博が来年にひかえ、大阪も今まで以上に、やってみなはれの精神のもと、活気づいているだろうと思いつつ、寄稿の話を頂き、筆を執らせて頂きました。大阪へ戻る新幹線の窓越しに見える大阪経済大学の建物はいつものつかしく、時間があれば足を運んでみたくくなります。子供も社会人になり、時間の過ぎるのを早く感じます。

今住んでいる所は神奈川県相模原市で、最寄駅ではリニア新幹線の為、工事が着々と進んでいます。大阪まで開通するには時間がありますが、橋本駅周辺ではAI導入された町づくりに向け、日々進化しています。その中で緑化を生かしつつ、タワーマンションも増え、多くの人々が行きかう町になりそう楽しみです。

大淀の流れははずれ大海につながる様に、大阪経済大学もリニア新幹線のように進化してゆく、大きな大きな宝箱。息子の成長とともに次の世代が大きく羽ばたきますように……飛翔……楽しみですね。(神奈川県相模原市)

奉仕の精神を育む

郡 正樹(60回)



今年、満55歳になる。今の生き甲斐はロータリークラブでの奉仕活動だ。もちろんメインは広告代理店という仕事を母体がある社会活動である。ご縁があってお取引先の紹介により京都市内の東山ロータリークラブという社会奉仕団体に入って今年で14年になる。ロータリークラブは国際的に奉仕活動を行っており、ビルゲイツもロータリーに所属しており、400万ドルをポリオ撲滅のために寄付している団体である。

微力ながら、去る5月28日に山科区の随心院という小野小町ゆかりのお寺で「小野小町と平安を学ぼう」というイベントを山科区全域の小学生60名を招待総勢150人規模の社会奉仕活動を行った。このイベントの実行委員長として、旗振り役をまかされて無事運営を履行し成功裡に終わった。特に運営の他にチラシ・看板・スタンプラリーの企画デザインも担当した。この経験は職業奉仕を通じて社会に貢献出来ることに喜びを感じている。(京都府八幡市)

株式会社 泉谷印刷
印刷のことならなんでもご相談ください
(本社) 〒533-0021 大阪市東淀川区下新庄5丁目18-17
TEL(06)6370-7014 FAX(06)6370-7024
(第2工場) 〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-26
TEL(06)6318-1830 FAX(06)6318-1831

支部だより

掲載順不同

2024年・全国の支部からのいきいき活動報告

- ①開催日 ②開催場所 ③出席者(人数) ④来賓
⑤主要議事、懇親会等コメント(150字以内) ⑥執筆者(支部役職)
※文字数が多い場合は、編集部で短くする場合があります。ご了承ください。

東京支部

①2024年11月22日(金) ②如水会館 ③39名
④大学・山本学長、黒正総務部長、角協会長、與世田副会長
⑤角協会長より活動報告、與世田副会長より乾杯の発声で開宴となり、松澤会計幹事より支部会計報告、山本学長に大学の近況についてご報告をいただきました。本学の関西地区内での立ち位置、将来の入学者数見込や学生獲得のための施策等、実情に触れて大変参考になりました。楽しい懇談ののち、記念撮影、全員で学歌斉唱、與世田副会長のエールをもって散会となりました。 ⑥支部長 木村義美(50回)



北海道支部

①2024年10月24日 ②JRタワーホテル日航札幌 ③9名
④大学・黒正総務部長、與世田副会長
⑤例年通り少人数での開催で、皆さんの近況などを詳しくお聞きできる良い機会になっています。今回の最大の収穫は、数年ぶりのニューカマーの出席でした。昨年お越しいただいた、大学顧問の崎田さんから情報を得ていた札幌勤務の卒業生です。懇親会参加者の平均年齢若返りに貢献してくれました。
⑥支部幹事 鶴飼泰正(51回)



石川支部

①2024年10月12日(土) ②ホテル金沢 ③27名
④大学・黒正洋史総務部長、角協会長、角庵事務局長、天野常務理事、川畑福井支部長、浦辺富山支部長、五十棲愛知支部参与 ⑤鍛冶一英石川支部長(36回)の開会挨拶で、大樟会から能登地震義援金として500万円が贈られたことが紹介されました。総会では、事業報告、役員承認、会計報告・監査報告の各議案が承認されました。懇親会では、村中信夫氏(33回)の挨拶、印牧久氏(34回)による乾杯発声のあと、出席者全員から近況報告があり、お酒も交されるにつれて懇親も深まりました。最後に、中川修氏(45回)の音頭で学歌・逍遙歌を歌い、来年の再会を誓い合いました。 ⑥副支部長 笠間孝一(42回)



富山支部

①2024年7月6日(土) ②高志会館 ③22名
④大学・森詩恵副学長、大山事務局長、渡辺総務部長、川畑福井支部長、鍛冶石川支部長
⑤富山県支部では、「卒業3年未満の方限定懇親会無料サービス」や「おわら風の盆を楽しむ会」(昨年はコロナ禍で中止)・「忘年会」・「山を愛でる会」(企画中)・「酒器を楽しむ会」など会員の皆様楽しんでいただける企画を実施しております。会員の皆様には支部総会へご参加いただければ嬉しいです。また、転勤等で来県された会員の方は是非ご連絡ください。
⑥事務取扱 野田満(48回)



岐阜支部

①2024年11月10日(日) ②岐阜キャッスルインホテル
③19名 ④浪花拓也様、矢田将之様(経済学部2年)、太田常務理事、田島常務理事、三津愛知支部長、田中愛知支部長、西川三重支部長代理、殿城滋賀支部長、川畑福井支部長、柴田京都支部長 ⑤総会では、支部再開に尽力された故長崎和夫氏他物故者への黙とうの後、開会ならびに来賓挨拶、令和5年度会計報告、副支部長として大瀧和弘氏(71回)の選任、その後、西村清司顧問(36回)の乾杯発声、豊田頂吉副支部長(45回)の進行により、歓談が始まり近況報告が行われました。藤森正憲氏(35回)によるギター演奏もあり大いに盛り上がりました。 ⑥支部長 山根一男(46回)



福井支部

①2024年6月29日(土) ②ザ・グランユアーズ フクイ
③43名 ④大学・黒正総務部長、角庵事務局長、渡辺総務部長、松永組織部副部長、浦辺富山支部長、鍛冶石川支部長、三津愛知支部長、柴田京都支部長、世森滋賀副支部長、武藤岐阜支部事務局長
⑤田安支部長の挨拶のあと、役員改選、決算報告の承認、60周年記念事業に向けて質疑応答がありました。6年間務められた田安敏男支部長(38回)が退任、川畑憲彦新支部長(42回)が選任されました。黒正総務部長から大学の近況等のお話をいただき、角庵事務局長より大樟会の使命についてお話をいただきました。懇親会では、ご夫婦での参加が4組あり、笹原幸信(36回)様の音頭で学歌・逍遙歌を斉唱し閉会しました。
⑥事務局長 中嶋関一(43回)

掲載順不同



愛知支部

①2024年9月29日(日) ②名古屋マリオットアソシアホテル ③21名 ④大学・小川経済学部長、黒正総務部長、足立副会長、殿城常務理事、川畑常務理事、田中常務理事、鍛冶石川支部長、池山三重支部長、豊田岐阜支部副支部長、武藤岐阜支部事務局長、安阪大阪市北支部事務局長 他
⑤総会では、小川経済学部長より大学の最新動向などについて、足立副会長から大樟会の活動報告と現状について、お話しいただきました。第1号議案：前期の収支報告および今期の予算、第2号議案：役員改選が承認されました。懇親会では、恒例の自己紹介や近況報告が行われ、終始和やかな雰囲気の中、賑やかに楽しい時間を共有することができました。
⑥支部長 三津辰雄(65回)

静岡支部

①2024年6月22日(土) ②ホテルアソシア静岡 ③12名 ④大学・草薙副学長、千葉氏(人間科学部3回生)、飯田常務理事、河内(美)常務理事
⑤支部長挨拶、来賓紹介の後、2023年度決算・事業報告及び監査報告、2024年度予算・事業計画、有川氏の新役員就任を満場一致で承認を得ました。懇親会では、乾杯後、出席者の自己紹介につづき、草薙副学長から大学の入試現状と静岡県の受験状況等について、現役の千葉氏、飯田常務理事から大樟会の現状について、河内常務理事よりそれぞれ挨拶を頂きました。その後、大いに盛り上がり、支部長の閉会の辞で散会となりました。 ⑥事務局長 河本陽介(51回)



滋賀支部

①2024年6月16日(日) ②クサツエストピアホテル ③46名 ④草薙副学長、足立副会長、岡筋・河内(龍)・川畑各常務理事、近隣支部長4名
⑤草薙副学長より大学の現在について、画像を映されて詳しい説明があった。大阪経済大学が就職力で上位にランキングされていることが強調されていた。続いて、足立副会長より大樟会の目的や活動について詳しい説明があった。その後、懇親会では会員交流がさかに行われ、終始和やかな雰囲気だった。最後に、初参加者8名のスピーチでたいへん盛り上がった。
⑥支部長 殿城幸雄(41回)



三重支部

①10月19日(土) ②和田金 ③30名 ④大学・草薙信照副学長、與世田正雄副会長、田島裕司常務理事、河内龍激常務理事、田中幸三愛知支部副支部長
⑤総会では草薙信照副学長の挨拶で、経大の近況、特に入試状況等を伺いました。経大は志願者も集まっている状況ではあるものの今後、起こるであろう大学の淘汰時代から母校を生き残る大学にしていこうとOBとして、気付いたことを総会等の席で教職員に訴えていくことが重要であると思った次第です。懇親会も和やかに進み、今年も、経大が全日本大学駅伝の出場権を獲得、11月3日の応援者を募り、来年の再開を誓いお開きとなりました。 ⑥支部長 池山英典(57回)

大阪市淀川支部

①2024年7月15日(月・祝) ②大学E館7階会議室 ③25名 ④大学・黒正総務部長、足立副会長、角庵事務局長、小原大阪市北支部ほか5名
⑤当支部は「参加メンバーの固定化」や「若いメンバーの不参加」といった課題に対して「年代別カテゴリー」での事業実施という試験的な取り組みを開始いたします。さらに、今年度、大阪市淀川支部と大阪市北支部は合同で「年代別カテゴリー」での事業実施を、スタートさせることになりました。これにより、両支部の連携関係がより強まり、より多くのメンバーが参加しやすい環境を整えていくことを目指します。
⑥支部長 杉山幹人(76回)



京都支部

①2024年12月21日(土) ②ホテル京阪京都グランデ ③53名 ④大学・草薙副学長、黒正総務部長、木下総務課長、浪花総務課員、角協会長、足立副会長、與世田副会長、殿城滋賀支部長、馬場滋賀副支部長、川畑福井支部長、山根岐阜支部長、山根まさみさん、三津愛知支部長、木村東京支部長、松浦尼崎支部長、木村風雅さん(経済学部2年)、笹野陽介さん(情報社会学部1年) ⑤角協会長より活動報告、草薙副学長より本学の状況報告をいただき、総会がスタートしました。大樟会足立副会長の乾杯で宴が始まり、今回初参加11名、若い卒業生が大勢参加いただき大盛況でした。また、CBSの学生が「大経大の今」のタイトルにて動画作成いただき、年長者の方々も楽しめたと思います。最後は全員で逍遙歌、大樟会與世田副会長のエールにて閉会しました。 ⑥支部長 柴田俊彦(50回)



大阪市北支部

①2024年3月24日(日) ②ハートンホール日本生命御堂筋ビル12F ③33名 ④大学・黒正総務部長、足立副会長、大山次長、渡辺総務部長、河内(美)常務理事、三津愛知支部長
⑤愛知支部の三津支部長も出席下さり、新しい交流も生まれました。皆さんありがとうございます。今後も若い力を中心に、コンニャク哲学を、しっかり学んで参ります。今回欠席となりました皆さんも、是非とも大樟会の行事にお運び下さい。お待ちしております。 ⑥支部長 小原宏夫(38回)



大阪市住吉支部

①2024年6月9日(日) ②大学E館7階会議室 ③25名 ④大学・斉藤裕士事務局長、角協忠行会長、檜垣典仁財務部長、西本一弘常務理事、山内淳子監事
⑤斉藤局長から、新設の「国際共創学部」の学生募集も順調に推移していることなどが紹介されました。来賓紹介・挨拶の後、「2023年度活動報告、決算・監査報告」、「2024年度の活動計画案、予算案」、「支部会則の改正(役員の75歳定年制を削除)」が承認されました。総会后「資金運用」について証券マンの経験をもつ藤井大介氏(50回)からお話を伺いました。懇親会では、乾杯のあと、近況報告を行い、檜垣財務部長の指導の下、学歌斉唱でお開きとなりました。
⑥事務局 橋本稔(42回)



北摂支部

①2024年10月19日(土) ②旬彩つきの井 ③25名 ④大学・斉藤裕士事務局長、角協忠行会長、若下義之常務理事、角野力北大阪支部長、平田義行北大阪支部相談役、山西喜久北河内支部長 ⑤斉藤事務局長から大学の近況、活躍するクラブ紹介等、角協会長から支部の活動状況などの紹介が有りました。総会では、事業報告及び決算・予算等の議案が承認されました。北大阪・北河内支部長から、今年の支部総会は初参加の方が多く、本部から全会員に送付された効果との報告が有りました。北摂支部でも4名の初参加がみられました。昨年に続きマジシャン・ジョン道阪さんの楽しいマジックショーで懇親会を盛り上げてくれました。 ⑥支部長 細井三郎(35回)

大阪市南支部

①2024年3月24日(日) ②ハートンホール日本生命御堂筋ビル12F ③33名 ④大学・黒正総務部長、足立副会長、大山次長、渡辺総務部長、河内(美)常務理事、三津愛知支部長
⑤愛知支部の三津支部長も出席下さり、新しい交流も生まれました。皆さんありがとうございます。今後も若い力を中心に、コンニャク哲学を、しっかり学んで参ります。今回欠席となりました皆さんも、是非とも大樟会の行事にお運び下さい。お待ちしております。 ⑥支部長 吉川進(41回)



北大阪支部

①2024年6月1日(土) ②大学D館80周年記念ホール ③34名 ④大学・草薙副学長、角協会長、河内(美)常務理事、細井北摂支部長、山西北河内支部長
⑤今年には本部から卒業生全員2,175名に開催案内をお送りいただきました。その結果、11名の新規会員のご参加を得、総勢34名で開催できました。提出議案は全て承認いただき、2025年度も計画どおり行ってまいります。総会終了後、卒業生のジョン道阪氏によるマジックショーを堪能。乾杯のあと、新規参加者とも親睦を図り、会話が弾みました。15時には学歌・逍遙歌を全員で合唱し、終了いたしました。 ⑥支部長 角野力(41回)



箕面・豊能支部

①2024年6月29日(日) ②音羽山荘 ③20名 ④大学・斉藤事務局長、田中広報部長、太田・八尾・河内(美)常務理事、近隣支部長他 ⑤令和6年6月29日(日)に、箕面国定公園内にある「音羽山荘」にて、第10回箕面・豊能支部総会を開催しました。会計年度の変更により、今回から3月開催を6月開催に変更しています。総会後の懇親会では各人が昔の思いに心を寄せ、最後に、学歌・逍遙歌を斉唱しお開きとなりました。次回以降も6月に開催しますので、より多くの会員がご参加されることを祈念します。 ⑥事務局長 岸上芳夫(46回)



掲載順不同



北河内支部

①2024年6月2日(日) ②大学E館 ③24名
④大学・黒正総務部長、角脇会長、足立副会長、西本常務理事、角野北大阪支部長、西野北大阪支部会計、細井北摂支部長
⑤黒正部長から大学の近況、足立副会長から大樽会現在の情報、角野支部長及び細井支部長から各支部のお話をいただきました。総会では、決算・予算、事業計画について報告、承認をいただきました。懇親会では、在学生の「落語研究部の皆さん」が演技ばかりでなく、懇親会の場も盛り上げてもらいました。今回も、初参加の方が7名おられました。このつながる力で、今後、参加者が1名でも増えることを願います。
⑥支部長 山西喜久(44回)



池田支部

①2024年7月27日 ②割烹音羽 池田店 ③20名
④大学・草薙信照副学長、角脇会長、大山事務局次長、本庄伊丹支部長、田中豊中支部長、畑岸眞面・豊能支部長、宮東川西・河辺支部長 ⑤令和5年活動報告、収支報告、令和6年度活動計画、予算の承認をいただきました。その後、記念撮影、懇親会へと進みました。大半、高齢者の集まりでしたが、全く年齢を感じさせない熱気に満ちた盛り上がった懇親会でありました。そして支部の活性化について、全員が問題を共有し、出来ることから始めていくことを誓って懇親会はお開きとなりました。
⑥支部長 平井裕能(38回)



南大阪支部

①2024年6月30日 ②道頓堀ホテル ③27名
④大学・黒正総務部長、與世田大樽会副会長、飯田常務理事、田島常務理事、塩谷泉南支部長、宗堺支部事務局長
⑤懇親会では、活発な意見交換のほか、「八房流南京玉すだれ呼都笑会」の皆様による日本の古典芸能南京玉すだれの実演披露。議事では、今後、支部構成自治体の活動に参加することにより、大学が目指す独創性、行動力、対人力を生かした他に類を見ない地域力への発展へと繋げてゆくことを決議した。
⑥広報 黒川利明(42回)

豊中支部

①2024年6月1日(土) ②ホテルアイボリー ③22名
④大学・江島経営学部長、足立副会長、檜垣財務部長、大山事務局次長、眞面・豊能支部・畑岸様、池田支部・今村様、伊丹支部・本庄様 ⑤支部長から、総会案内1,000通以上郵送、返信132通と報告。江島先生から大学の現状等について、足立副会長からのお話し、檜垣財務部長から奨学金への寄付の要請がありました。植田副支部長の議長で「令和5年度活動報告と会計報告及び監査報告」「令和6年度活動計画及び収支予算」が承認されました。懇親会は、西村副支部長の乾杯で始まり、青木副支部長の首頭で学歌・逍遙歌を合唱、楠淳生客員教授に閉会の挨拶を頂きました。 ⑥支部長 田中功一(42回)



泉南支部

①2024年6月23日(日) ②関西エアポートワシントンホテル ③24名 ④大学・寺西人事課長、角脇会長、與世田副会長、天野常務理事、河内(美)常務理事、岩下堺支部長、藤田南大阪支部長、岩田和歌山支部長 ⑤会場のワシントンホテルは、コロナウイルスの影響など、長い間鎖館状態でしたが、リニューアルオープンし、役員みんな館内が分かっていますので、落ち着いて対応ができました。当日は、南海電車が人身事故で遅延となりいろいろハプニングがありましたが、みなさまのご協力により無事終えることができました。次回の総会は今回以上の多くの方にご参加いただけるようにがんばっていききたいと思います。 ⑥支部長 塩谷善一郎(39回)



堺支部

①2024年7月14日 ②南海グリール ③25名
④大学・寺西人事課長、畑野教務課長、與世田副会長、飯田常務理事、宮武常務理事、河内(美)常務理事、山内監事、塩谷泉南支部長、藤田南大阪支部長、吉岡南大阪副支部長
⑤総会では支部長挨拶、寺西課長から大学の現状、與世田副会長から大樽会の取り組みのお話の後、2023年度決算・事業報告と監査報告、2024年度予算・事業計画を満場一致で承認されました。懇親会では辻副支部長による乾杯後、卒業生のジョン道坂氏によるイリュージョンを楽しみ、学歌逍遙歌、與世田副会長のエール、そして本会役員最年長の馬場相談役の閉会の辞と三本締めで散会しました。今回、本部より支部会員全員(約1700名)に案内状を送付いただき、初参加が10名ありました。 ⑥支部長 岩下義之(46回)



伊丹支部

①2024年6月29日(土) ②白雪プルワリービレッジ長寿蔵 ③36名 ④大学・横山理事・財務部長、角脇会長、足立副会長、山本渉外部長、宮武常務理事、西本常務理事、神戸・阪神・尼崎・丹有・豊中・池田各支部代表
⑤支部長から、「支部設立15周年を機に世代を超えた人間関係を構築し、新たな歴史を刻んでいきたい」旨あいさつ。第1部では、法人の横山稷理事・財務部長、角脇忠行会長からの祝辞のあと、2023年度事業報告・会計報告と2024年度事業計画・予算、並びに任期満了に伴う役員改選の3議案を原案どおり可決。第2部懇親会では、26回卒から82回卒までの会員が、それぞれの時代の大隅キャンパスや上新庄界隈の思い出を語りながら懇親・交流の輪を広げた。 ⑥支部長 本庄和郎(38回)



阪神支部

①2024年9月7日(土) ②ヒューイット甲子園 ③45名
④大学・草薙副学長、角脇会長、與世田副会長、田中豊中支部長 ⑤大山支部長挨拶に次いで、草薙副学長、角脇会長よりお言葉を頂き、活動報告、会計報告、会計監査と滞りなく総会は終了。懇親会では、秋山副支部長の乾杯の首頭の後、クラシック演奏(ヴァイオリン、ピアノ)、本学チアリーディング部によるパフォーマンス、最後に與世田副会長と峯山氏(35回)によるエールにより、学歌、逍遙歌を歌い、閉会しました。
⑥会計部長 田島裕司(46回)



但馬支部

①2024年6月8日(土) ②和田山ホテル ③24名
④大学・山下学生部長、角脇会長、角庵事務局長
⑤支部の全会員に案内状を送付いただいたことで、今回は4名の初参加者を得ることができました。総会では、通常の議案に加えて3年後の支部設立20周年における参加者50名の目標設定なども議決。総会終了後の懇親会では、来賓のお三方とともに数十年前の時代にタイムスリップ。笑顔のなか昔話に花が咲いていました。
⑥事務局長 井崎和義(45回)

尼崎支部

①2024年11月15日(金) ②都ホテル 尼崎 ③27名
④大学・森副学長、角脇会長、田中広報部長、本庄伊丹支部長、田島阪神支部長代理 ⑤5年ぶりとなった尼崎支部会では60回生以降16名と若い世代が多く参加。総会では、新体制に向け決算報告、会則改定、役員改選の各議案が無事承認。懇親会では76回生ジョン・道坂氏によるマジックショーを実施し、大樽会を支えてきた先輩会員と若手会員で非常に活気ある会となりました。若い世代も積極参加できるようなモデル支部となるよう、今後も盛り上げていきたいと思っておりますので、会員の方は是非ご参加ください。 ⑥副支部長 伊井隆茂(72回)



神戸支部

①2024年11月10日(日) ②レストラン、ポナトリーチェ ③52名 ④大学・黒田准教授、角脇会長、與世田副会長、角庵事務局長、伊丹、東播磨、淡路島、阪神、丹有の各支部代表 ⑤プロのヴァイオリンとチェロのアンサンブル演奏、各議事の承認の後、来賓の皆様のお言葉をいただき、懇親会へと進んでいきました。今年も「神戸で出逢おう」をサブテーマに、他支部の友人と参加、夫婦で参加など多様なパターンも採り入れて開催し、終始和気あいあいと進み、あっという間の2時間が経過し、全員で輪になり逍遙歌斉唱で幕を閉じた。
⑥支部長 正岡健二(36回)



丹有支部

①2024年11月24日(日曜日) ②三田サミットホテル、兵庫県立人と自然の博物館、三田屋本店 ③30名
④大学・松本経営学部企画課長、與世田副会長、太田常務理事、本庄伊丹支部長、神戸支部・鈴木様 ⑤今年の丹有支部総会は三田市にて開催致しました。定例の総会の後、人と自然の博物館を散策し、今話題の丹波電の発掘資料を見学しその歴史にふれ、感銘と感動を受けました。その後、三田屋本店に場所を移し三田肉を食しながら昔話に花が咲きました。今回は9名の初参加の方を迎え、会の方も盛り上がりしました。来年は丹波篠山にてぼたん鍋を囲みながらの開催予定です。多数のご参加お待ちしております。 ⑥支部長 藤林靖浩(50回)





明石支部

①2024年9月14日(土) ②グリーンヒルホテル明石 ③30名
④大学・山下学生部長、與世田副会長、渡辺総務部長、松浦常務理事、宮崎東播磨支部長、鈴木神戸副支部長、坂口淡路島副支部長
⑤令和5年度会計報告、令和6年度予算案の承認。山下学生部長から大学の現状の講話。明石支部の松田有生さんによるマジックショー。「お楽しみ抽選会」など、楽しく和やかに親睦を深めることができました。今回は、若い出席者だけのテーブルができました。来年は、女性だけのテーブルができるようにと願っています。 ⑥支部長 長谷中英昭(47回)



姫路支部

①2024年10月26日(土) ②ホテルモントレ姫路 ③33名
④大学・黒正洋文総務部長、渡辺美幸常務理事、八尾英規常務理事
⑤総会では、芦田支部長より大学創設者・黒正巖博士のお孫さんの黒正総務部長を紹介、副支部長2名増員の承認、出席者へ感謝の意を込めて挨拶。黒正総務部長から大学の現況等の説明、渡辺常務理事から活動報告をいただき、会計より昨年度の支部収支報告を行いました。懇親会では、乾杯後ジョン道阪(76回)マジックショーで盛り上がり、学歌・逍遙歌を合唱し懐かし楽しくひと時を過ごすことができました。 ⑥副支部長 苅縄達也(54回)



鳥取支部

①2024年6月8日 ②ANAクラウンプラザホテル米子 ③40名
⑤年の差61歳の昭和38年から令和5年の卒業生が集まりました。女性参加者5名、平成・令和卒業生8名、中国5県の支部役員が参加。大学から「就職の大経大」の裏付けとして近畿全大学の就職力ランキングで「地域の活性化に貢献」1位、「就職支援の取組」3位、「行動力」「対人力」「学力・知力」など上位との説明がありました。総会を毎年6月第2土曜日に開催しており、来年は倉吉で開催します。 ⑥支部長 本庄克則(46回)

東播磨支部

①2024年10月20日(日) ②加古川プラザホテル4階「東京田村」 ③12名
④大学・山本俊一郎学長、足立徳太郎副会長、角庵勝巳事務局長、鈴木克海神戸支部副支部長、長谷中英昭明石支部支部長
⑤支部総会は第1から第5号議案まで承認されました。来年より総会を6月最終日曜日に変更します。終了後、山本俊一郎学長に創立100周年に向けてと題して講演していただき、懇親会では、余興として江口さん(36回)に能「安宅(あたか)」を披露していただき、最後、都道府県ビンゴゲームで盛り上がりました。現役学生2名参加。 ⑥支部長 宮崎善人(43回)



和歌山支部

①2024年2月18日(日) ②ホテルグランピア和歌山 ③40名
④大学・黒正洋史総務部長、角脇忠行会長、山本隆造渉外部長、大阪泉南支部塩屋善一郎支部長 ⑤総会冒頭、学歌斉唱で感動を共有。黒正部長、角脇会長から運動部等学生の活躍などをお聞きし、両氏の学生への深い愛情や大学への熱い思いが出席者の心に深く響きました。その後、新役員の選任などを行い、木村幹生氏(36回)を中心に活動する「貫志川線の未来をつくる会」が「地域再生大賞」最高表彰受賞と報告されました。懇親会では、母校が最近よくマスコミ等で紹介され誇らしい等、盛り上がりました。 ⑥事務局長 西芳男(36回)



島根支部

①2024年9月27日(土) ②サンラポーむらこも ③24名
④大学・斉藤裕士理事・事務局長、與世田正雄副会長、檜垣典仁財務部長、角庵勝巳事務局長、本庄克則鳥取支部長、川上登鳥取支部理事、岡本紳一郎岡山支部長
⑤與世田副会長より大樟会の活動内容について、斉藤理事より大学の近況と展望、学生の活躍についてお話をいただきました。懇親会では、檜垣大樟会財務部長の乾杯の発声で話が始まる中、会場に流れる母校の新旧校舎や学生の様子、大阪の映像を拝見。「じゃんけん大会」で大いに盛り上がり、1年ぶりの親睦を深めることができました。 ⑥支部長 山本篤治(42回)



掲載順不同



岡山支部

①2024年7月6日(土) ②岡山プラザホテル ③59名
④大学・山本学長、草薙副学長、黒正総務部長、與世田副会長、岩下常務理事、山内監事、飯田広島支部長、藤井津山支部長
⑤会員全員約1600名へ案内状送付の効果もあり、昨年の49名を上回る出席でした。総会では、山本学長、草薙副学長より「大阪経済大学の現在」と題する講演。與世田副会長から、60年代・70年代当時のお話があり、当時は懐かしみました。全議案の承認後、懇親会では、年代を超えた親睦を深め合い、学歌・逍遙歌斉唱後、三本締めで散会。次回は、令和7年7月6日(日)12時から開催します。 ⑥支部長 岡本紳一郎(47回)



広島支部

①2024年6月15日(土) ②ヒルトン広島 ③36名
④大学・山本学長、井形経営学部長、黒正総務部長、角脇会長、松永常務理事、本庄鳥取支部長、藤原山口支部長、高木香川支部長、榎本徳島支部長、二宮愛媛支部長、三津愛知支部長
⑤第80回(82周年)総会。山本学長が「2023年度の振り返りと2024年度の取り組み」と題して講演。広島地方試験は、昨年度に学校推薦型選抜が、本年度より一般選抜が再開され、数年後に支部会員が増えることが期待されます。総会では、決算・予算の承認後、支部の発展に尽力された前陰山支部長、元北谷支部長に感謝状を贈呈。来賓挨拶の後、黒正部長の乾杯の発声で懇親会が始まり、29回から90回までの会員が親睦を深め、学歌・逍遙歌を合唱、散会しました。 ⑥支部長 飯田徹(57回)



徳島支部

①2024年1月27日(土) ②ホテルクレメント徳島 ③31名
④大学・黒正洋史総務部長、角脇忠行会長、角庵勝巳事務局長、高木新仁香川支部長、二宮克郎愛媛支部長、吉岡昌純高知支部長代理
⑤始めに、榎本孝徳島支部長より、年始に発生した能登半島地震で被災された方々の、一日も早い復興のお見舞い申し上げます。続いて、黒正総務部長から入試データ等紹介、角脇会長から大樟会の現況等話頂き、二宮愛媛支部長から四国4県交流の大切さに共感し、懇親会では、近況報告リレーで親睦を深め、再会を約束しました。 ⑥事務局 吉田稔光(55回)

福山支部

①2024年10月20日 ②福山ニューキャッスルホテル ③24名 ④大学・黒田尚樹先生、角脇忠行会長、松永清彦常務理事、飯田徹広島支部長
⑤コロナ禍の為4年ぶりに総会を開くことになり、参加者にはいっつと早く出席の返事をいただきました。懇親会では小集団をつくり交流を図りつつ大阪経済大学の発展の為、広報活動をすすめ、支部活動の絶大なる協力をお願い確認しました。終わりに前支部長小池勝章先輩のエールで逍遙歌を歌い、明日への活力と勇気をもらい、次回の再開を約束して会を閉じました。 ⑥支部長 岡崎正廣(37回)



山口支部

①2024年9月28日(土) ②山口グランドホテル ③18名
④大学・梅原入試課長、角脇会長、大山事務局次長、飯田広島支部長、岡崎福山支部長
⑤大学からは入試状況、各サークルの活動など、大樟会本部からは、支部の活性化についての説明がありました。支部からは、57年前の支部発足の先輩たちの熱い思いが伝えられました。今回は故郷に帰り、初めて支部総会に出席し、47年ぶりにゼミの仲間と再会するという感動的なサプライズもありました。総会に出席するとこんなことも起こるのです。 ⑥支部長 藤原俊明(37回)



香川支部

①2024年8月24日(土) ②オークラホテル丸亀 ③35名
④大学・浪花拓也人事部課長、吉田匡凜君(経営学部3年生)、與世田正雄副会長、殿城幸雄滋賀支部長、飯田徹広島支部長、二宮克郎愛媛支部長、南宏道高知支部長、榎本孝徳島支部長
⑤今回初めて香川の真ん中丸亀市で香川支部総会を行いました。「東讃・西讃からの出席がし易くなった」との声を頂きました。また、今回初めての方が14名。初めての出席者が多かったのが特筆です。 ⑥支部長 高木新仁(35回)



①開催日 ②開催場所 ③出席者(人数) ④来賓
⑤主要議事、懇親会等コメント(150字以内) ⑥執筆者(支部役員)
※文字数が多い場合は、編集部で短くする場合があります。ご了承ください。

掲載順不同



愛媛支部

①2024年11月23日 ②うわじまの料理や「有明」 ③24名 ④大学・徳永光俊前学長、寺西紀人事課長、田中伸治常務理事、宮武記章常務理事情報社会学部教授、樫本孝徳島支部長、南宏道高知支部長、飯田徹広島支部長、国際共創学部1年越智和々風さん、経営学部1年緒方薫さん。 ⑤総会前には記念すべき第1回ゴルフ大会を宇和島CCで7名参加で開催。総会では毎年出席して頂く愛媛出身の徳永前学長のご挨拶の後、寺西人事課長から大学の近況報告、田中常務理事から大樟会の活動などを報告して頂きました。支部長から昨年度の支部活動報告・決算報告、今年度の活動計画・予算案の説明、岡村監事から会計監査報告の全てが承認されました。初参加者4名。懇親会では宇和島の美味しい郷土料理の数々に舌鼓を打ちながら酒を酌み交わし学生時代の思い出に花を咲かせ、学歌、逍遙歌を合唱して和気藹々のうちにお開きとなりました。次回総会は松山で7月に開催します。多数の参加を願う。 ⑥支部長 二宮克郎(40回)



北九州支部

①2024年11月9日 ②マリン ③16名
④大学・江島経営学部長、角協会長、興世田副会長、熊本支部長、大分支部長、副支部長 ⑤同窓生がサックス奏者でもあるバンド演奏があり、今回も迫力ある生演奏を堪能できました。演奏に合わせて歌っている同窓生もチラホラ。もちろん学歌、逍遙歌も生演奏で、こちらは参加者全員が声高らかに斉唱していました。今回は本部から、北九州支部同窓生全名簿に案内手配を担っていただき、3名の同窓生が初参加いただくという嬉しい結果になりました。 ⑥支部長 植田達三(52回)



熊本支部

①2024年6月1日 ②KKRホテル熊本 ③15名
④大学・黒正総務部長、興世田副会長、田中広報部長
⑤大学、大樟会本部からは貴重な報告をいただき、終始和やかで有意義な総会になりました。総会の参加者増加に向けた活発な意見交換もできました。日程の都合などで常連の参加会員数人が欠席、その一方で2年連続で初参加の会員があり、今回は20歳前半の初参加者です。小さな出来事かも知れませんが、何よりもありがたく励みになりました。 ⑥支部長 坂本純夫(39回)

高知支部

①2024年11月9日(土) ②こはるびより ③20名
④大学・荒川崇企画課職員、大久保夢乃(地域政策学科3年)、飯田政信常務理事、岩下義之常務理事、香川、愛媛、徳島、広島各支部長 ⑤去年と同様に総会、ゴルフコンペを行いました。パシフィックゴルフにて9名3組とやや少なめの人数でした。晴天に恵まれ楽しくプレーができました。総会は、料理がおいしいと評判の「こはるびより」で開催しました。皆様が、熱燗、冷と日本酒をぐいぐいと飲まれており、大変スムーズな宴席になりました。来年もたくさんの参加をお待ちしております。 ⑥支部長 南宏道(52回)



大分支部

①2024年6月8日(土) ②日田亀山亭ホテル ③6名
④大学・斉藤総務部長、興世田副会長
⑤斉藤総務部長より大学の近況について、新学部、クラブ活動、入試についての話がありました。今年度は、屋形船の企画に期待しましたが親族の介護や職場の異動などで大幅に参加人数が減ってしまいました。来年度は開催月、場所を今一度話し合いたいと思っています。 ⑥支部長 寒田陽(40回)



宮崎支部

①2024年11月30日(土) ②ホテルメリージュ宮崎 ③14名
④大学・斉藤事務局長、溝口千織(経済学部2年)、角協会長、殿城常務理事
⑤宮崎支部は平成15年11月に南九州支部から独立し21年目を迎えました。永年支えていただきました会員の皆様方に感謝申し上げます。現在は会員の高齢化と若年会員の参加が少ないと言う現状に直面しております。会員相互の情報交換を行いながら問題解決を図りたいと考えています。皆様方より一層のご指導ご協力をお願いいたします。 ⑥会計 吉村勉(45回)



部会

大樟体育会

①2023年6月22日(土) ②大学E館7階 ③34名
④大学・山本学長、山下学生部長、興世田副会長、角庵事務局長、体育会本部代表
⑤山本会長議長のもと、2023年度活動報告、決算報告、2024年度活動予定、収支予算(案)について賛成多数にて可決されました。2023年度成績優秀クラブ表彰で、女子弓道部、陸上競技部、準硬式野球部、ラクロス(男子)と個人は弓道部(男子)の安藤健人さんが表彰されました。総会終了後、懇親会を行いました。 ⑥副会長 田島裕司(46回)



大樟春秋会

①2024年4月26日(金) ②大学80周年記念ホール ③40名
④大学・山澤理事長、各学部長、幹部、角協会長、興世田・足立両副会長 ⑤今回は「キャンパスツアー」や「大樟春秋会企業ポスター展」を開催し、学生と交流しました。総会では、大和リース(株)森田会長始め役員の新任期の承認他、・事業報告並びに事業計画、・2023年度会計報告並びに2024年度会計予算、・新会員入会報告、・大樟春秋会基金収支報告、・役員任期満了に付き留任報告について承認を戴きました。懇親会は80周年記念ホールで開催、来賓からお祝いの言葉を戴き和やかなひと時を過ごしました。 ⑥大樟春秋会事務局



日立大樟会

①2024年9月21日 ②ガーデンシティクラブ大阪 ③15名
④大学・山澤理事長、黒正総務部長、加藤企画部長、角協会長、大山事務局長
⑤昭和62年の発足発案者である18回卒の田中富三様(元日立金属副社長、元大樟会会長)を迎え、会員間の情報交換と、グループ再編下における会の存続と繁栄を再確認、ご来賓の方々より、「価値ある大学」経営についてお話を頂戴しました。11月2日総会での再会を確約しお開きと致しました。 ⑥会長 小坂朋弘(53回)



社労士大樟会

①2024年7月13日(土) ②大学E館7F ③22名
④大学・寺西人事課長、人事課松田様、角協会長、大山事務局次長、税理士大樟会堀田会長、甲斐副会長、檜垣監事
⑤総会では、「令和5年度事業報告並びに令和5年度収支決算及び監査報告」「令和6年度事業計画(案)並びに令和6年度収支予算(案)」「役員改選」「会則変更」の4議案について、それぞれ満場一致で承認されました。記念講演では、経済学部丸山亜子教授より「育児・介護休業法の現状と課題～近時の裁判例を踏まえつつ～」と題してご講義いただきました。記念講演終了後、懇親会が開催され、時の経つのも忘れる賑やかな会で、同窓の絆がいよいよ深まりました。 ⑤事務局長 西平綾太(48回)

税理士大樟会

①2024年7月12日 ②ハートンホテル心斎橋 ③43名
④大学・山本学長、杉田教授、角協会長、興世田副会長、大山事務局次長、飯田社労士大樟会会長
⑤第33回税理士大樟会定期総会では事業報告等、事業計画等及び会則改正案が上程され満場一致で可決されました。続いて懇親会で山本学長から大学の近況報告、来賓の方々との初参加の会員の挨拶がありました。美味しい料理とお酒で出席者の懇親を図り恒例の校歌と逍遙歌を全員で合唱して楽しい時間を過ごしました。 ⑥広報担当副会長 福田重実(49回)



大樟教育研究会

①2024年10月26日 ②大阪経済大学 ③46名
④大学・山本学長、角協会長 ⑤教職サークル「教師のたまご」の所属学生から、活動報告、教員採用試験に向けた取組などについて報告、中学校特別支援学級担当の安部先生、高等学校地理担当の松田先生に、教師の魅力や学校現場の現況、教育実践などについてご講演いただきました。分科会では、現役教員や教育関係者である卒業生が、参加学生からの質問などに回答し、教師という職業へのより深い理解につながったと考えております。 ⑥会長 八木大輔(79回)



支部だより

掲載順不同



大樟樟政会

①2024年8月24日(土) ②大学E館7F ③17名
④大学・山本学長、角脇会長
⑤午前中に役員会、午後から総会を開催。いずれも令和元年よりコロナ感染の拡大により、人流交流を控えた日々が4年間あり、遅ればせながら「大樟樟政会」の総会を開催させていただきました。総会は、宮東副会長の司会により西会長、角脇会長の祝辞に続き、山本俊一郎学長さんには本学の近況をお話いただきました。その後収支計算書の承認、役員を選任、会則改定等を決定し、楽しい親睦会、懐かしい仲間との話に花が咲きました。 ⑥副会長 宮東豊一(55回)

大樟会ホームページをリニューアル!

本部、支部、OB・OG会などの情報の他、新たなコンテンツも充実。見やすく、使い勝手も改善しました。ぜひ、ご覧ください。



大阪経済大学大樟会

「澱江」購読料のお願い

自らの購読料で「澱江」を育てよう!

皆さまのあたたかいご理解とご協力に感謝いたしております。引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。

支部活動紹介

ウチの支部、こんなイベント、あんな行事...

支部総会・懇親会以外の支部のさまざまな行事、イベント等を紹介します。他の支部の皆さん、参考にしてください。「ウチの支部ではこんなことをやっていますよ」という写真とひと言コメントも募集します。詳細は事務局まで。

大阪市淀川支部

(1月12日、新年互例会)



伊丹支部

(1月15日、ボランティア活動)



川西川辺支部

(3月29日、観桜ハイキング)



北大阪支部

(10月12日、パークゴルフ大会)



大樟体育会

(6月1日、清掃活動)



大樟教育研究会

(6月1日、和歌山県の集い)



大阪市住吉支部

(11月16日、秋の懇親会)



北河内支部

(10月27日、とんぼりパークルーズ)



北摂支部

(9月12日、バスツアー)



66 大阪経済大学 100%出資会社

経大サービス からのお知らせ INFORMATION 99



ミニノート



シャープペン

ボールペン



大経大オリジナル
シルクネクタイ
&ネクタイピン

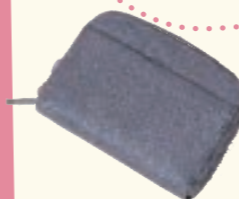
*** オリジナルグッズ



大経大オリジナル
サーモボトル



大経大オリジナル
今治タオル



コインケース



はてにゃん。
瓦せんべい

受注
清算

外箱にも
はてにゃんが
入ってるにゃ!



ぬいぐるみ

はてにゃん[®]は大阪経済大学の
公式マスコットキャラクターにゃん。



*** OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

“ お申込方法 ”

他のグッズやお申込み方法は
経大サービスWEBページから
<https://keidais.jp/goods/>
返礼品や手土産にぜひ!



在学生向けにアルバイトの募集をしませんか?

- ✓ 学内ポスターや手元に届く LINE 配信ができる
- ✓ 学生に密着したサービスを展開

詳しくはこちらから▶

資料請求



在学生
1000名
以上登録

※掲載には審査があります。

「経大サービスは夢に向かって頑張る学生を応援します。」

大阪経済大学 100%出資会社 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8 大阪経済大学 B 館 1 階
株式会社経大サービス TEL: 06-6990-3723 <https://www.keidais.jp>

グリークラブOB会

総会終了のお知らせ



6月15日、大阪経済大学グリークラブOB会総会、親睦会が大学E館7階にて無事終了しました。大学から山下一佳学生部部长、大樽会から山本隆造渉外部部長にご来賓として出席いただきました。また、それぞれからご祝儀が届けられました。ありがとうございました。

当日は、20代から80代のOBが日本全国から60名ほど集まり、学歌や愛唱歌を歌いグリークラブの長い歴史と伝統を感じることができました。その後上新庄で2次会を行いました。20名以上が参加し夜遅くまで大いに親交を深めました。現役員達も幾つ何十になっても歌とともに人生を謳歌しているOB達を見て何かを感じてくれたことだと思います。

グリークラブOB会としてはこれからもお互いの親睦を図るだけでなく、現役グリークラブ役員達への支援を一層頑張りたと思います。また、大阪経済大学の発展のために大いに尽くしていきたいと考えています。

なお大樽会事務局の皆様には総会当日だけでなく、それまでの準備に多大なるご尽力をいただきました事をお礼申し上げます。
会長 八尾英規(43回)

珠算研究部OB有志の会

2024年4月7日、篠山で開催



これ迄、ほぼ2年に一度の割合で開催していた本会ですが、2020年4月に開催の予定が、コロナ禍により、中止にしていたのですが、今回、太田氏のお世話により、2024年4月7日に、篠山で久しぶりに開催されました。39期の寺西氏、西川氏、40期の太田氏、小田、櫻本氏、長谷氏、福井氏の7名が参加いただきました。(都合により3名不参加)まず近況報告から始まり、学生時代の話になり、皆さん学生時代に帰り、わいわいがやがやと昔話に大いに盛り上がりしました。

あっという間に時間が過ぎて会場の「料亭まえ川」を出て、篠山城公園に向い、満開の桜を見に行きました。天気も良く絶好のお花見日和でした。皆の日頃の行いが良かったのかな、とか思ったりしました。次回の再会を約束して、名残惜しいけれどもここで散開しました。

小田祐司(40回)

学生寮8・9期の会

鳥取で6回目の開催



2024年5月19日、9人のお爺さんが鳥取に集まりました。(38回・39回卒)メンバーの共通項は当時、江口グラウンドの一角にあった学生寮の出身です。

午後4時頃に鳥取駅に集合し、「ホテルモナーク鳥取」にチェックインしました。外で夕食・宴会を終え、いつものようにホテルの部屋に集合し、多種多様な話に花が咲きました。今回は都合で参加できなかった山口の大村君(9期・写真部)が、当時の写真(学生寮、寮祭、江口ストア、井高野の風景など)や資料を事務局の伊藤さんに送っていただいていたので、懐かしい写真に当時を思い出し、大いに盛り上がりしました。 9期 川島利章(39回)

日本拳法部OBOG会

67周年(令和6年)総会を開催



2024年2月24日、E館7階会議室にて67周年日本拳法部OB会総会を開催し、8代から60代までの18名のOBに加え、下山部長、大塚副部長にご参加頂きました。令和5年度会計報告及び活動報告、令和6年度活動計画に係る報告等の総会の後、体育館に移動して現役生の活気溢れる練習を見学しました。

その後、E館に戻ってOBと現役生合同で記念撮影及び幹部交代式、懇親会では昔話に花を咲かせ、円陣を作って学歌・道選歌で盛大に締めくくりました。

ラグビー部OB会

2024年度OB総会開催



9月7日(土)、2024年度ラグビー部OB総会をE館7階会議室で開催しました。

今年は、昨年にも増して暑さが厳しいこともあり例年より開催が遅くなりましたが18名ご出席いただきお互い交流を図る事が出来、無事終了することが出来ました。

引き続き懇親会も開催され、ラグビー部は、今シーズン関西大学ラグビーCリーグからのスタートとなりましたがBリーグ復帰に向けてOB会一丸となり現役へのサポートを誓い合った。

事務局 西村正人(53回)

邦楽部OB会

第15回OB会報告



令和6年6月1日(土)邦楽部第15回OB会がE館(50周年記念会館)7F第二会議室及び大樽ラウンジにて開催されました。当日は、午後3時から「尺八勉強会」、午後4時から「総会」、午後5時から「懇親会」。出席人数は昨年同様11名ではありませんでしたが、6名が尺八勉強会に参加してくれました。大学卒業後も継続している人、最近再開している人、OB会のみ演奏の人、尺八演奏歴はそれぞれではありませんが、毎年徐々に上達しているのが感じられました。曲目は宮城道雄作品としては珍しい尺八三重奏曲「よろこび」でした。

総会は、①令和5年度決算報告、②役員改選。役員改選では前中幸夫(第7代)氏が2代目会長に選出されて承認されました。懇親会は上新庄駅近くの居酒屋にて賑やかに楽しい時間を過ごしました。今回の懇親会は5年毎の記念すべきOB会なので、会費は無料とし、気持ち贅沢な料理コースとし、みなさんに大いに喜んで頂きました。来年も6月頃に開催することを確認し、邦楽部OB会を閉会としました。

初代会長 尾上眞己(36回)

ユースホステルクラブ

2024ユースの集い 伊勢編



昨年に引き続きユースホステルクラブ47回卒(昭和56年卒業)の同期6名で伊勢に行きました。

1年ぶりに会う仲間と伊勢神宮を参拝し、鳥羽湾が一望できる高台にあるシーサイドホテル鳥羽に宿泊する1泊2日の旅でした。露天風呂で湯船に身を沈めながら鳥羽湾に浮かぶ船を眺め、部屋でリラックスしながら学生時代の話に花が咲きました。ユースホステルクラブ活動、クラブボックスのできごと、下宿生活、授業、ゼミ活動、尽きることのない思い出を話しながら、若かった青春時代に戻っている自分がいました。

思えば、43年ぶりに会った昨年の城崎温泉旅行で来年もぜひ会いましょうと決めてから、とっとも待ち遠しく、楽しく、そして充実した2日間でした。43年ぶりに同期が集まるきっかけをつくってくれた男前が残念ながら参加できませんでしたが、来年こそ同期7名が顔をあわせて「今年も会えたな」と笑顔で喜びあえる同期の旅行ができますように。

経翔会(ワンダーフォーゲル部OB会)

総会開催



本年も経翔会(大阪経済大学ワンダーフォーゲル部OB会)総会を実施致しましたのでご報告いたします。今回は大樽会本部より角脇会長、山本渉外部部長、角庵事務局長にも加わって頂き、総勢50名の出席で開催されました。経翔会メンバーによる創立60周年記念事業報告、経翔会内各サークルの年間活動報告共有、これまでの功労者への感謝状贈呈に加えて、大樽会角脇会長、山本渉外部部長より大樽会の近況・今後の取り組みについての貴重な情報を共有頂き有意義な総会となりました。閉会後は定例の親睦会をラウンジにて実施。今回はご当地土産を各自に持ち寄って頂き、抽選会を実施する企画も交えながら出席者個々に意見交換、近況報告等で親睦を図る場を提供し、最後はワンゲル恒例の『道選歌』、『山恋』で締めくくり来年の再会を誓い合い、盛会のうちに終了いたしました。

日程:2024年6月16日(日)11:00～14:00
場所:大学同窓会館(E館)7階会議室・ラウンジ
参加者:50名 経翔会メンバー 47名、来賓3名(角脇大樽会会長、山本渉外部部長、角庵事務局長)
主管幹事:49年・50年・51年卒
令和6年度総会実行委員長 須河和夫(50年卒)

ハンドボール部OB会

2024年度OB会総会開催



2024年11月17日(日)午後2時よりOB総会開催致しました。参加者は12名と少人数(案内状は200名余りに往復はがき、ライン、SNS実施)で、議長に橋本会長を選任。①3年間(コロナの為)の会計報告を森友副会長より。②2025年からの新役員、会長橋本留任、副会長以下若返りを図り、福井孝明前監督、明石光史現監督両氏を特別顧問に決定。③2年後(2026年)のクラブ創部80周年記念行事提案あり推進する。(1案として筑波大学(旧東京教育大学)との70周年記念定期戦実施)その他意見が述べられました。

ハンドボール部の創部は1946年で当時は大阪経済専門学校で初代キャプテンは奥村さん(山路)女性の方でした。一部リーグ初優勝は1971年春・秋共、2024年現在関西一部リーグ戦優勝8回、インカレ出場は38回連続通算58回です。残念乍ら、近年の戦績は今一つです、現役、OB一体となってリーグトップを目指し頑張りましょう! 応援しましょう。 副会長 森友通夫(38回)

硬式野球部OB会

令和5年度OB総会開催



令和6年2月23日(祝)、本学D館8階80周年記念ホールにて、令和5年度のOB総会を開催し、総勢30名のOBに参加頂きました。大國事務局長の開会宣言のあと、まずOB会員物故者のご冥福を祈り黙禱を捧げました。その後、河野OB会長が議長に選出され、会長挨拶のあと議事に入りました。森田副会長から令和5年度事業報告、岡崎会計より会計報告、内海会計監査より監査報告があり、いずれも出席者全員に承認されました。引き続き令和6年度の事業計画・会計予算案の説明がそれぞれ担当者からあり、原案通り承認されました。

その後開かれた懇親会には、大樽会から角協会長と大山常務理事にご参加頂きました。木岡前OB会長、角協会長のご挨拶の後、大場元OB会長の乾杯の音頭で始まり、途中、大山常務理事からご挨拶、高代監督及び坪山主将から現状報告、今年にかける熱い想いを語って頂きました。出席者は20歳代から80歳代まで幅広く、色々な話題で大いに盛り上がりました。OB会としましても、大学共々歴史ある硬式野球部のますますの発展と、現部への支援体制強化、OB会員の交流をより一層深める事を誓い、岡本副会長の締めで幕を閉じました。

会長 河野順一(47回)

柔道部OB会

2023年総会・歓送迎会の開催のご報告



柔道部OB会では、令和6年3月3日(日)、E館7階会議室において、OB会員30名が出席して、2023年度OB会総会を開催いたしました。

総会では、最初に西岡弘先生はじめ7名の方の物故者に対する黙禱を行い、安田太会長の挨拶に続き、議事に入り、2023年度の事業報告、会計報告等を承認、その後、2024年度の事業計画、予算案等が承認され、議事を終了しました。

総会后、ラウンジにおいて、福本幸男部長、大橋龍雄前部長、現役学生25名が出席して、歓送迎会を開催、桂監督の近況報告、卒業生6名への記念品贈呈、新入生7名の紹介等が行われ、最後に竹本幹事長の締めの挨拶で終了しました。

事務局長 天野康弘(46回)

空手道部OB会

令和6年度 総会 議事録



1. 招集通知年月日 令和6年4月1日
2. 開催日 令和6年5月19日(日)午前10時~12時
3. 開催場所 大阪経済大学50周年記念館 7階第二会議室
4. 出席者 杉本会長、與世田顧問、坂本顧問、高橋幹事長、木下先輩、西垣先輩、日高副会長、国嶋先輩、宇陀監督、田中ヘッドコーチ、事務局・宗

5. 審議事項
第一号議案 令和5年度活動報告・大会成績及び令和5年度会計報告について

宇陀監督より大会結果の報告がなされた後、副会長兼会計の日高副会長より会計報告がありました。監査役の宇陀監督からも会計監査に問題がないことが報告され、満場一致で承認されました。

第二号議案 令和5年度活動計画及び会計予算案について
宇陀監督より、活動計画及び会計予算案が報告され、満場一致で承認されました。

第三号議案 大学の現状と今後の指導体制及び役員改正案について

杉本OB会長より現状の報告があり、部員募集活動の強化、推薦を含めた募集活動を行うことを大学当局に要請するなど、OB会としてできること、空手道部OB会の新役員体制の構築並びに、監督並びに新コーチ招聘による指導強化を行うことが承認されました。

一想苑会

第17回「一想苑」開催のご報告



2024年10月31日、福井県の「ふぐの宿」で17回目を開催しました。今回は仙台や会津若松、広島、岡山、兵庫、滋賀、石川、福井から11人が集まり、1泊2日で若狭の名所旧跡や味覚を堪能しました。メンバーは41~43回卒の学生寮出身者や45回卒からなり、「一想苑」という学生アパートで数年間を共に過ごした大経大のOBたちです。「一想苑」は大学から市バスで15分ほどの井高野町にあり、当時、経大生の男ばかり27人が下宿していました。一想苑はすでに1990年頃にとり壊され、今はありません。しかし、それぞれが住む場所で地震や豪雨災害などがあれば「大丈夫か?生活に必要な物はないか?」などと心配し、現在も共に過ごした時代が続いています。

藤田嘉秀(45回)



株式会社 **エース警備保障**

【本社】
〒660-0815 兵庫県尼崎市杭瀬北新町4-9-7
TEL:06-6481-0055 FAX:06-6481-0011

【大阪支店】
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル303
TEL:06-6446-0500 FAX:06-6446-0501

【神戸西支店】
〒673-0891 明石市大明石町1-1-20 池口ビル401
TEL:078-939-2588 FAX:078-939-2568

会長 河内龍激 大阪経済大学ラグビー部 昭和55年卒

あらゆる生活シーンで
安心と安全を
提供したい
それが私たち
エースグループの
テーマです。

株式会社 **エース警備保障**

<https://www.ace-guard.com>



あなたが夢見る
未来を目指して



あなたが輝く明日を、ともに

信頼で地域とつながる



大阪シティ信用金庫

大阪府内に85店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4
TEL.(06)6201-2881(代表)
<https://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

令和6年11月1日現在

ゼミ生の就活

福岡 幸太郎

私は、会計学の授業と3年生のゼミを担当しています。野球部員、税理士等志望者、大学院進学予定者、教員志望者、卒業単位数が少なく不安なゼミ生など、16人を担当しています。私のゼミ生は、素直で少し自己PRが苦手な学生が多いようです。



ゼミ生の共通課題で大きな壁は、就活です。私は民間企業に長く勤務したので、ゼミでは企業側の採用方針などを話します。また、ゼミのLineでも日経新聞の就活記事を共有し、助言しています。私の学生時代を振り返って見れば、今のゼミ生と同じでした。社会経験が少ないので、就活に踏み出すことに迷いやためらいがあります。ぜひ、母校の学生が採用試験に参りましたら、温かいご指導をお願い申し上げます。(経営学部教授)

2年目のゼミ活動

金井 猛徳

経営学部の金井猛徳と申します。2023年度から始まったゼミの1期生として、11名が配属されました。初年度の活動では、「生成AIは信頼できるのか?」を中心に、ICT活用に関するグループワークを行いました。この活動を通じて、AIをはじめとするデジタル技術とどのように向き合うべきか、理解を深めることができたと思います。また、ゼミ合宿で伊勢市を訪れたほか、食事会などのイベントも開催し、メンバー間の親睦を深めました。この秋学期からは15名の2期生が新たに加わり、ますます活気あふれるゼミ活動を展開していく予定です。今後も、ゼミ生とともに充実した時間を過ごしていきたいと思っています。(経営学部教授)

日本経済史研究所所蔵史料が重要文化財に 高木 久史

2024年3月、大阪経済大学日本経済史研究所が保管する歴史資料「飛脚問屋井野口屋記録」を、国の重要文化財に指定するよう、文化審議会が文部科学大臣に答申しました。本史料は名古屋藩御用達の飛脚問屋だった井野口屋の営業記録です。飛脚問屋の経営について徳川時代の中期・後期の長きにわたり俯瞰できる点で貴重であること等の理由により、このたび指定される運びとなりました。本史料は戦前、本研究所に収蔵されたと考えられています。これからも当研究所は資料調査・保存事業を積極的に進めて参ります。(経済学部教授)

着任のご挨拶

松木 佑介

2024年4月に経済学部に着任しました松木佑介です。専門はミクロ経済学・産業組織論で、これまでオークションの構造推定をはじめ、さまざまな実証研究に取り組んできました。現在は公共調達や金融の実証研究、さらに理論研究も行っております。本学では統計学やその関連科目の講義を担当させていただきます。ゼミでは、データ分析を含む実践的なスキルを身につける機会を提供したいと考えています。ゼミ生と共に有意義な時間を過ごし、その過程で成長を促していきたいと思っています。よろしくお願致します。(経済学部准教授)

ネクスト女性パイオニアはいずこ?

井形 浩治

たまたまであるが、最近、日本女子大学創設者でもある広岡浅子(1849-1919年)に関する総合的研究書の書評を行った。浅子は、大同生命の創業に携わるなど明治期には珍しい女性企業家であり、教育者であり、また多面的な社会・文化的活動も行ったパイオニアである。また、NHK「連続テレビ小説」『虎に翼』では、日本初の女性裁判所長を務めた三淵嘉子がモデルとなっている。彼女も日本の法曹界のパイオニアといえる。だが、日本初の女性公認会計士、女性会計学者のパイオニアを輩出したのはどこか? 私のゼミでは、例年女子比率が約半数である。分野を問わず、彼女らに21世紀のネクスト・パイオニアを期待し、応援したい。(経営学部教授)

学問と社会の架け橋となる

ゼミを目指して

秦 正樹

2024年4月より、情報社会学部に着任いたしました秦正樹と申します。専門は、政治学で、とくに政治報道などのメディアと有権者の政治意識の関係についての研究をしています。国際誌への論文掲載をメインの目標として研究活動をしてはいますが、それ以外にも、朝日新聞デジタルのコメンテータや、テレビや新聞での政治解説あるいは講演など、学術的知見の社会発信も積極的に行っています。執筆時点ではまだゼミははじまっていますが、ゼミ生にも、学術研究やデータサイエンスの知識を深めるだけでなく、メディア関係者や国政政治家との接点を持ち、学問と社会の架け橋の役割についても考えてもらいたいと思っています。(情報社会学部准教授)



ゼミ生への期待

大和 里美

2024年4月に新設された国際共創学部に着任しました大和里美と申します。マーケティングの理論に基づいた地域の価値創造について研究しており、本学では「観光産業論」、「ツーリズム論」、「グローバル・リサーチB」を担当しています。

国際共創学部でのゼミは、来年度後半からとなりますが、フィールドワークやディスカッションを通じて、地域振興に繋がる観光のあり方について学んでいく予定です。地域でのフィールドワークや調査によって理論の理解を深めるとともに、様々な人と接することで社会でのマナーやコミュニケーション能力を身につけ、卒業後の社会生活の中でゼミでの学びが活かされることを願っています。(国際共創学部教授)

着任のごあいさつ

神垣 一規

2024年4月に着任しました神垣一規と申します。これまで法務省の心理職として刑務所や少年院で勤務してきた経験等も踏まえ、犯罪心理学や臨床心理学を専門としています。犯罪心理学は学問としてはマイナーですが、小説やテレビドラマの影響もあって一般には広く認知されているように思います。ただ、犯罪心理学の範囲は意外に広く、その中でも私は、加害者の再犯防止について研究し実践することをしてしています。初めてのゼミ生は犯罪心理学に関心がある人も来てくれて、過去の犯罪の事例検討などを通して、人間心理の理解に向けて取り組んでいます。今後も、学生の皆さんと犯罪心理学を学んでいければと思います。(人間科学部准教授)



大阪暮らし 2年目の夏

金井 憲一郎

大阪での暮らしは2年目。朝から晩まで湿度の高い大阪の暑さには未だ慣れないが、趣味で俳句をしているので、歳時記片手にあちこちぶらぶらすることにした。2024年の7月は、京都の祇園祭に出かけた。上旬から月末までほぼ週一ペースで京都に足を運んだ。鉾の組み立て、そして山鉾巡行は四条河原町の辻で見て、方向転換(いわゆる辻回し)の様子も見ることができた。花傘巡行、そして八坂神社の茅の輪くぐりもして葛切を食べて来た。おかげで、採点も滞りなく期限前に終わることができた。

なお、ウォーキング中に専門の民法学のことも考えていることはもちろんであることを付言しておきたい。採点を終へ夕焼のなかにある 憲一郎 (経営学部講師)

日本企業のグローバルニッチ戦略の重要性

福本 智之

昨年3月、小職にとっての最初のゼミ生たちが無事全員卒論を書き上げ、卒業しました。就職先は様々ですが、社会人として羽ばたいていってくれました。9月には3年生のゼミ旅行で、北九州・福岡を訪れ、TOTO、安川電機、三井ハイテックというグローバルに活躍する製造業3つの企業・工場を訪問しました。日本のものづくりの大切さと底力を感じてくれたようです。

研究対象である中国経済は、不動産不況の長期化によるマクロ的な景気の弱さの一方で、ミクロの中国企業の競争力は目覚ましく向上しており、中国ビジネスを手掛ける日本企業にとっては、難しい状況が続いています。グローバルニッチ戦略が重要になってきそうです。(経済学部教授)



Python学習の課題

大下 顕弘

C言語によるプログラミングを主体に進めていましたが、Pythonという言語に鞍替えしました。気乗りしなかったのですが当時の学生の要望です。どうしてもグラフィック・ユーザー・インターフェイス(GUI)を使いたいということで、突然の変更でした。C言語ではそれが不可能だからです。それにしても四回生の四月になってのこの始末です。反乱を起こすのが伝統かもしれません。以降はずっとPythonですが、ありがちな手続き型言語と丸っきり異なり、学生にどう学ばせるかが課題です。手続き型で学ぶべきこともあり、今はその部分だけをやむなく教科書もどきにしたところです。(経済学部教授)

1期生を送って

岡村 香織

2024年3月、ゼミ1期生4名が無事に卒業しました。1期生の皆さんお元気ですか。コロナ禍に入学した1期生は、入学当初からオンライン授業が中心で、3年のゼミで初めて顔を合わせるという初々しいスタートでした。最初はぎこちなさがあったものの次第に連帯感が生まれ、卒業間近に駆け込みで行った京都観光が今もいい思い出です。ゼミはホームミたいなものです。気が向いたらいつでも気軽に研究室に立ち寄って近況を聞かせてください。(人間科学部講師)



社会で頑張っている皆さんへ

濱田 真輔

情報社会学部で3年間プロジェクトマネジメントを担当した後、教育・学習支援センターでキャリアアドバイザーを担当しています。

学生諸君に伝えてきたことは、多くの人的ネットワークを作り、そして自ら行動をおこさないということです。社会に出ると想定外のことが現実起こります。皆さんは大経大でその準備は十分行っているの、その上で臨機応変に動いてください。もしも困難な場面に遭遇したら、その時は大経大の仲間の笑顔を思い浮かべてください。

私は現在でも講義の傍ら、総務省地域情報化アドバイザーやICT企業から依頼された研修や講演を行っています。是非今後も多くの知識を吸収・応用し、社会に貢献してください。(教育・学習支援センター教授)



国際共創としての憲法学

小林 直三

2024年4月に国際共創学部に着任いたしました小林直三と申します。専門は憲法学で、最近では同性婚をはじめとするSOGI、多文化共生、情報プライバシーに関する問題に関心をもって研究しています。私は「憲法学とは憲法解釈を通じて新しい社会を創る学問である」と考えていますが、実際にそうするためには、国際的動向を踏まえた学際的アプローチが必要となります。その意味で憲法学は、最先端の問題を扱う総合科学の1つであり、まさに「国際共創」の1つなのだと考えています。国際共創を担う憲法研究者として、研究・教育に励み、少しでも大阪経済大学の学生の皆さんの将来に役立つことができたと思います。(国際共創学部教授)

縮小時代のまちづくりを考える

白田 利之

2024年度から経済学部に着任させていただきました、白田利之(うすだとしゆき)と申します。本学では、地域政策や地域開発論などを担当しております。前職の地方自治体においては、都市計画や開発事業など、具体的なまちづくりに携わっておりました。現在は人口減少と少子高齢化により、都市が縮小していく時代のまちづくりを研究しています。

ゼミではまちづくりの現場において、学生が企画や実施に主体的に取り組むことを通じて、将来のまちづくりを担う人材を育成していきたいと考えています。教員1年目となります。皆さまからのご助言を受けながら、何とかやっていきたいと思っております。(経済学部准教授)

はじめまして

竹中 厚雄

2024年4月に経営学部に着任いたしました。本学では主にイノベーション論や経営学などの講義を担当させていただいております。研究テーマは製造業における研究開発のマネジメントです。大経大では新人ですが、前任校では16年間、前々任校では5年半ほどの教歴がありますので、これまでの経験の中から本学で活かせることがあればと思います。今年度秋学期からはゼミ1期生を迎えることができました。学生たちの方が大経大について詳しいところもありますので、教えてもらいながら一緒に成長していきたいと思っています。(経営学部准教授)

一歩前へ

山本 直毅

本学に着任して2年目を迎えました。租税法を研究する山本直毅です。就職活動を始めた3年生は、自己の将来を切り開くために、チャレンジしている真っ只中です。ゼミ生は、元気と明るさと豊かな発想を持ち、また、1年間の活動を通じて一体感を持って学問に向き合っています。新たに迎えた2年生のこれからの成長を拝見できることも楽しみにしています。

学生に教授する学問の質を上げるためにも、深い研究を心がけるとともに、学生に生かされる者として、敬意と感謝を持って少しずつでも、現在抱える問いを前へ進めていきたいと思えます。最後になりますが、恩師の学恩、そして、両親の愛情に報いることができるように精進します。(経営学部講師)

EBPMによるまちづくり

藤本 高志

ゼミでは、EBPM (Evidence-Based Policy Making) によるまちづくりに取り組んでいます。3年次には、3～4人のグループにより、ゼミ1に出場します。今年のテーマは、「インナーシティのまちづくり：東大阪市と門真市を事例に」「統計から見る大阪観光」です。



今年の9月には、ゼミ旅行に出かけました。4年生は2泊3日で沖縄、3年生は1泊2日で奈良県曽爾村、へ出かけました。

研究室のFacebookを開設したので、よかったら訪れてください。
https://www.facebook.com/profile.php?id=61565645174744
(経済学部教授)

着任のご挨拶

兵頭 和花子

本年4月に他大学から本学へ移籍してきました兵頭和花子と申します。専門は非営利組織の会計、公会計を研究しています。

学生生活の4年間はあっという間です。勉強にスポーツにそして友達作りにと学生生活を満喫して欲しいと思っています。秋学期からはゼミもスタートし、自己紹介から始まりました。初めての本学でのゼミ生ということでドキドキしていましたが、和気あいあいとした雰囲気でのまま頑張っていければと思っています。またゼミ生だけでなく授業で出会える学生たちも含め大学生活をサポートできればと思っています。よろしくお願ひいたします。(経営学部教授)

際立った成果を収めたゼミ生たち

小川 貴之

2023年度卒業生の大学生活は、2020年の新型コロナ緊急事態宣言の真っ只中で始まりました。それでも、彼らは学習意欲を強く持ち続け、目覚ましい成果を収めました。中谷省太君はピブリオバトルで何度もチャンプに輝きました。学生奨学論文では、辻野泰樹君は入選、高井美結さんは佳作、興侶里沙さんは努力賞を受賞しました。特に辻野君の論文は本賞6年ぶりの入選作品となり、着眼点の鋭いものでした。松本航輝君は投資信託協会主催の「資産形成学生論文アワード」で優秀賞を獲得し、東証Arrowsにて代表スピーチを行いました。受賞結果は全国の大学に周知され、多くの研究者から問い合わせがありました。彼らの輝かしい未来がいま目の前に広がっています！(経済学部学部長・教授)



ゼミの活動

檜山 武浩

こんにちは。本学に着任して3年目となり、2年生から4年生までのゼミ生が配属され、研究室の体制も40名となりました。今年度の活動として、本学に着任後初めて、沖縄でゼミ合宿を実施しました。ゼミ生と長い時間を共有し、学生同士はもちろん、私自身にとっても学生との関係を深める良い機会となりました。研究活動では、学生たちが昨年度から取り組んできた産学連携プロジェクトが完了し、その成果を市民に公開することができました。今後も研究活動やレクリエーションなど、さまざまな形で学生と多くの時間を共有し、共に高い目標を達成できるように活動していきます。



(経済学部准教授)

環境と地域を持続可能にする

知識とデザイン

熊澤 輝一

皆様、はじめまして。今年度より開設された国際共創学部の教員として、この4月に着任しました熊澤と申します。専門は、環境デザイン、地域の市民活動、知識情報学です。現在は、特に、湧き水のアーカイブづくりを進める市民の活動を支援しながら、湧き水を起点に地域の自然や文化を知るための情報ツール開発に取り組んでいます。新学部で1年生しかいないため、今年度はゼミ生を持っておりませんが、1年生対象の講義・演習やオープン科目で開講している「環境と社会」「環境デザイン論」等の講義を通して、ゼミ生を受け入れた後のゼミ運営のあり方について構想を練っていきたく思います。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。(国際共創学部教授)

地域で学ぶゼミを目指して

岩田 光宏

はじめまして。2023年度に着任した人間科学部の岩田光宏と申します。私のゼミでは、ひきこもりや不登校といった「孤独・孤立」状態の人やその家族の支援をテーマとし、「つながり」を持ちやすい地域社会のあり方について学んでおります。今年度のゼミ合宿は長居ユースホステルに宿泊し、ユースホステル主催の地域の子どもたち向けのイベントにボランティアとして参加して来ました。参加したゼミ生は、地域の子どもと竹とんぼを作り、長居公園で一緒に飛ばして交流を深めていました。今後も地域で学ぶゼミを目指して、学生とともに取り組んでいきたいと考えています。



(人間科学部講師)

雑談力

伊藤 博之

以前、企業の方に部下に求める資質を尋ねたところ、真っ先に「雑談力」をあげられたことがあります。確かに、ビジネスにおいて雑談力は必須の能力でしょう。雑談によって、親密さや信頼関係が育まれますし、思わぬ貴重な情報が得られるかもしれません。それ以来、ゼミ開始時に何でもいので、「何か」を話してもらうようにしています。最近見た映画、電車で目撃した出来事、バイト先のトラブル等何でもありです。慣れてくると、ほとんどのゼミ生が、落ちのある話を披露するようになります。こうした雑談の機会を設けることで、勉強に関する発言も活発になるようです。今後もこうした取り組みを継続してまいります。(経営学部教授)

卒業後の交流と後輩の活躍

下山 朗

下山ゼミでは、2023年度は「狩猟」を通じたジビエに関する政策提言、スポーツと経済に関するテーマについて研究を進めてきました。おかげさまで今年も、学外のコンペでは受賞出来ましたし、学会での発表も行うことができました。2024年度は、ゼミもとうとう3期生になりましたので新たな挑戦に取り組んでいます。今までは少し毛色が違うかたちで、とくに、大経大の卒業生にとっても興味深いテーマで研究を進めていますのでお楽しみに。コロナ禍もあけてきたので、卒業生ともなるべく交流を続けられたらと思っています。

(経済学部教授)

江島ゼミは相変わらず、脳と身体に汗をかきプロジェクトを実践中！

江島 由裕

最近、かちぞう(価値<創>造)ゼミに参加(https://sobakuri.com/news/730/)。そこで、ココヨマーケティング(株)、(株)明成孝橋美術、IKIGAI WORKS(株)とチームを組み、約6カ月、新たな価値の創造に取り組ましました。「障がい者がより働きやすいオフィス空間とは?」、「自分にとって良い職場/会社とは?どのようなマイモノサシをもつべきか?」、「フードロスを減らすフードドライブのビジネスモデルとは?」。企業からの問いに対して、学生自ら、現場に足を運び、調査し、議論し、隔週で打合せを実施。褒められたり、ダメ出しをもらいながら、最終報告会を迎え、他大学(近大と京産大のゼミ)を抑えグランプリをゲット。江島ゼミに新たな一頁が加わりました。



(経営学部学部長・教授)

大阪経済大学で38年間

小川 雅弘

2025年3月末で定年退職することとなりました。本学に來た1987年には、経済・経営の2学部2学科で、教員も全学で100名足らずでした。校舎も老朽化して、木造校舎もあり、またA館やF館の校地もありませんでした。それが、現在のような立派な校舎・教室になったことには感慨深いものがあります。1回生ゼミ開始、コンピュータ教育充実やコース制導入など様々な教育改革もありました。これらへ幾分かは関わられたと思います。熱心に取り組んでくれる学生もいれば個性的な学生もいました。彼ら彼女らの顔が思い出されます。良い教員とは言い難い私を受け入れてくれた大阪経済大学、ありがとうございました。

(経済学部教授)

着任のご挨拶

小川 未空

2024年4月に国際共創学部に着任しました小川未空と申します。新しく設置された国際共創学部では、エネルギーにあふれる1年生を迎えています。私の研究では、ケニアの学校教育をテーマに、近代教育制度の普及がもたらす社会的な影響について扱っています。ケニアの日常に触れることは、私自身の毎日のなかにある当たり前を問い直す機会を与えてくれます。夏は上新庄駅から大学までの暑い道のりに苦心しておりますが、大阪経済大学の一員として、研究と教育に邁進できる環境と機会をいただけたこと嬉しく思っております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



(国際共創学部講師)

ITと経営の交差点

— デジタル時代に挑む戦略ゼミ

宮元 万菜美

「ITと経営戦略」をテーマに掲げる宮元ゼミは、14名の二回生とともに今年度からスタートしました。ITは、通信やコンピュータを扱うことが得意な理系の人や企業のものだと長らく思われてきました。しかし今や、スマホのアプリで受発注をしたり、キャッシュレス決済したり、オンラインで現場管理をしたりする光景などを目にしない日はありません。



どの業界でも、「情報」という経営資源をうまく活用できる企業に持続的な競争優位性がある、ITで社会構造を善き方向に変革していくイノベーションといったことをゼミ生と一緒に追究しながら、大経大の歴史の一端を紡いで行きたいと思ひます。どうぞ応援よろしくお願ひいたします。(経営学部教授)

高齢者になって思うこと

高津 芳則

ある日突然、市から介護保険証が送られてきました。「おお、高齢者になって新たな保険証がもらえるのか。ありがたい。それで特典は何か」と思って封筒を開けると、毎月2万円近い保険料請求書が同封されていただけでした。ある日、年金申請の書類が送付されてきました。書き方がわからず、近くの年金機構にアポを取り相談に行きました。結局、書類を整えて提出するまでに8カ月かかりました。介護保険や年金など、自分で学んでこなかった私の責任でしょうか。私は断じて違うと思います。今の日本は、人に優しくない社会だと思ひます。自己責任の哲学などはぶっ飛ばしてやると、体調はともかく気合いだけは充実している私です。(人間科学部教授)

PBL(課題解決型授業)の取り組み

戸田 信聡

本学に着任して3年目となりました。

私が指導するゼミでは、経営管理や組織行動を研究しており、現在3期生を迎えています。ゼミでは産学連携を重視し、多くの方々のご協力をいただきながら、課題解決に向けた定性・定量調査や分析を通じて、経営学を学んでいます。研究活動を最優先しつつ、PBLを通じた企業担当者へのプレゼンテーションやビジネスマナーの習得も、学生たちの就職活動や卒業後に役立つ様に指導しています。

また、ゼミ合宿や懇親会も学生の意見を取り入れて実施し、友人関係を築く場としても重視しています。卒業後も思い出に残るゼミであり続けることを目指しています。(経営学部准教授)

賞 状

橋谷 聡一

私はいわゆる賞状なるものをもらった記憶がありませんでした。理由は簡単で、絵も字も下手、スポーツも下手な褒められたことが無い悪童だったからです。

ところが、勤続十年で賞状?を頂きました。何をやっても続かない私にとってはありがたいものです。卒業生の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。(経営学部教授)

ジェネレーション・ギャップを感じる年齢に

田村 太一

2023年4月に着任、今年で2年目です。授業やゼミで、「現代の」出来事として21世紀におこったことを話すことがあるのですが、そのとらえ方についてジェネレーション・ギャップを感じるが多くなりました。例えば2008年の「リーマン・ショック」を説明するときには、自分自身の感覚として「ちょっと前の」出来事として思っている、いまの学生にとってみると当時は小学校入学前後の出来事なので、「すごく昔の」出来事として映るようです。確かにもう15年も前のことなので昔の出来事と言えばそうなのですが、同時代に生きていても、年齢が20歳以上も違えば、感覚やとらえ方も全く違うんだなあと再認識している今日この頃です。(経済学部教授)

宮武ゼミ卒業生の皆さんへ

宮武 記章

皆さんお元気ですか。早いもので経大に着任してからもう15年が過ぎました。若手のつもりでしたが、今年で50歳です。40代の半ばでようやく結婚して、子どももできました。近くの人はもちろん、関西を離れている人も機会があれば是非、大学や自宅に遊びに来てください。個人としては電力問題や電力会社の会計を今も研究しているのですが、昨年からはゼミでは金融教育に力を入れています。皆さんもNISAやiDeCoをなんとなく聞いたことがある、というのではなく使いこなしていることを期待しています。FPの資格の勉強もしているので、何か関連する仕事をしている皆さんはゼミにも顔を出して話を聞かせてください。(情報社会学部教授)

革命運動とは何だったのか

黒坂 真

卒業生の皆さん、お元気ですか。皆さんは、昔交流した方々のことを思い出さありますか。私は朝鮮労働党の独裁体制について研究を続けてきました。研究のためには、朝鮮労働党の実態について体験者から体験談を聞き取ることが大事です。そこで北朝鮮から韓国、日本に逃げてきた方々や朝鮮労働党の在日非公開組織、学習組や少人数から構成される非公開組織に所属し、生涯を南朝鮮革命、全社会の金日成・金正日主義化に捧げた方々ともお会いしました。中には、日本人拉致組織の資金調達係だった方(故人)もいます。その方によれば日本人拉致は、革命運動の一環だったとのこと。革命運動とは何だったのでしょうか。そんなことに思いをはせる日々です。(経済学部教授)

ゼミ合宿「ネイチャーゲーム」

坂野 剛崇

ゼミ合宿として「ロッジ舞洲」で、「野外活動を通して臨床心理に必要な五感の動きについて体験的に学習する」というのを目的にネイチャーゲームを行いました。ゲームの一つである「ブラインドウォーク」では、一人が「口を利けない」、もう一人が「目が見えない(目をつぶる)」という設定でペアになり、口を利けない人が目が見えない人の散歩の介助をするというワークを行いました。目が見えないと想像以上に恐怖心が湧くことや、介助の人への信頼が安心感に繋がっていくといった信頼関係の大切さを学んだようでした。合宿後は、ゼミ生同士の親密さも増し、ディスカッション等も活発になりました。(人間科学部教授)

ビジネス英語に特化したマーケティングゼミ

マルチュケ ダービッド

早いもので、4年目になりました。世界を視野に入れたビジネスを展開するために、英語力や異文化理解といったグローバルコミュニケーション力の習得は欠かせません。私はビジネス英語に特化したマーケティングゼミを行っていますが、グローバルコミュニケーション力においては、批判的思考力(Critical Thinking Skills)も重要な力になります。つまり、「論理的・科学的・客観的」に情報を収集、取捨選択、評価、判断する能力です。あまり英語に自信がない学生も英語力を向上させるため、これからもマーケティング用語を活用し、さまざまなケース事例を解釈した上で独自の研究プロジェクトを実行できるように支援したいと思っています。(経営学部准教授)

各土地で、いろいろな価値観を学ぶ

山谷 清秀

2024年4月から国際創学部に着任しました。このように伝統ある大学に所属できること、感激しております。大学院を修了した翌年までは京都にいましたが、その後浜松の大学に2年間、そして今年の3月までいた青森には4年間おりました。月並みな言い方ですが、各土地で、いろいろな価値観を学べたこと、その後も交流のある友人に会えたこと、おいしい食べ物とお酒に出会えたこと、良かったなあと思います。専門は行政学・地方自治論で、行政に対する苦情の研究、それから大型研究施設立地地域の自治の研究をしています。ご関心がある方は、いつでもお声かけください。よろしくお願いいたします。(国際創学部講師)

6年目のゼミ

稲岡 大志

卒業生のみなさん、お元気でしょうか。ゼミは今年度で6年目に入りました。ゼミ活動としては9月に初めて3年生がゼミ合宿を実施しました。金沢に行って金沢21世紀美術館で現代美術の作品を鑑賞して哲学対話を実施したり、西田幾多郎記念哲学館を訪問して日本を代表する哲学者の足跡に触れたりしました。6期生も合宿を企画中です。コロナ禍もあって合宿はこれまでしなかったのですが、やってみたらけっこう楽しかったので今後は恒例行事にしたいと考えています。ゼミでは相変わらず哲学書の講読を行って、思考の訓練をしています。卒業生のみなさんも普段使わない頭の部分を使いたくなったら哲学書を読んでみてください。(経営学部准教授)

経済学に触れ続ける

友田 康信

私はこれまで公立大学、地方国立大学で教鞭を取り、2022年4月に本学に着任しました。本学における私のゼミの第一期生は、現在4年生です。この原稿の執筆時(2024年9月)において、就職活動の山は越えた感じで、卒業論文の準備を進めています。私の専門は、ミクロ・マクロ経済学に基づく応用経済理論研究です。経済理論はそれだけで成立してはならず、現実の経済に対する興味・知識や様々な分野の教養と合わせて理解が深まるものです。その意味で、学生時代よりも社会に出た後の方が、経済学は面白くなるはずです。みなさんお忙しいとは思いますが、卒業後もぜひ経済学に触れ続けてください。(経済学部教授)

ゼミの1年生が、学会発表に挑戦。ベスト5に！

藤本 倫史

2024年4月より本学人間科学部に着任しました藤本倫史です。私の専門はスポーツマネジメントでスポーツを通じた社会・地域課題の解決を主に研究しております。2024年度のトピックとしては本ゼミの1年生4名が活躍してくれました。日本スポーツ産業学会第33回大会のアイデアコンペに応募し、第一次審査、第二次審査を通過してベスト5に残り、2024年7月6日(土)に最終審査でプレゼンテーションを行い、他大学に引けを取らない素晴らしい成果を残してくれました。私としては学生の課題設定や目標設定、さらにはそれを実践できる場づくりが重要だと考えており、少しでも学生たちの力になれるようにこれから精進していきたいと思っています。(人間科学部准教授)

心理的安全性を大切に

船越 多枝

2023年4月より本学でお世話になっており、2年目を迎えました。ゼミでは私の研究テーマをベースとし、「イキイキとした組織を創る」ことをゼミ生と一緒に考えます。3年生はここまでの学びを振り返りつつ、卒業論文の問いを見出すフェーズに入っています。2年次で関係性の強化を十分に行ったことで、ゼミでは心理的安全性が担保され、自由闊達な議論ができていますと感じます。例えば、「男性の育児休業」「職場のドレスコード」等の価値観が色濃く反映される議論もしますが、ゼミ生は「なぜ自分はそう思うか」をきちんと伝え、互いを尊重し、思考の幅を広げています。このような議論ができるゼミの場を、私自身も大切にしたいと思っています。(経営学部准教授)

村本ゼミ近況

村本 顕理

村本ゼミ3期生には、3年生の秋学期にZEMI-1グランプリにて自分たちで分析したアンケートデータを使って報告してもらいました。残念ながら予選敗退でしたが、頑張ってくれたと思います。また、3期生とは淡路島の洲本にゼミ合宿に行きました。普段見られないゼミ生の生き生きとした姿が印象的でした。今は卒業論文に取り組んでもらっています。1～3期生とは異なり、村本ゼミ4期生にはゲーム理論を勉強してもらっています。ゲーム理論を楽しんでもらえるか不安でしたが、まじめに取り組んでくれています。これから迎える村本ゼミ5期生とも充実したゼミ活動を行っていききたいと思っています。(経営学部講師)

つながり・交流の大切さ

古賀 敬作

学部のゼミは、3年生(第10期生)が中心となり、異文化交流をテーマとして、東淀川区の企業の方や日本語学校の方々の協力を得て、学会発表やかみしんプラザイベント実施など、積極的に動いています。学部ゼミ生にはいろいろな方々との交流やつながりを通じて社会力を習得していただいたいとおもいます。大学院のゼミでは、現在の指導院生が第8期生(おそらく)ということになり、現役生と修了生とのつながりを大切し、ゼミでの研究指導方針を伝授してもらっています。最後になりますが、チア部一緒に神宮での硬式野球部の応援を夢見しています!(経営学部教授)

かみしんプラザ異文化交流イベント▶

実践に役立つ「知」を見出す

崔 回淑

2023年春に着任しました崔回淑です。私はスポーツ心理学を専門として、アスリートの競技力向上ならびに実力発揮を研究テーマに現場の心理サポートにも力を入れています。ゼミでは、スポーツ活動の中

で学生自らが直面した問題や課題、関心事と心を関連づけながら、実践に役立つ「知」を見出し、自身のフィールドに活かせる力をつけることを目標としています。この夏に3年生のゼミ旅行で韓国を訪れて、ソウル大学と檀国大学を訪問して来ました。スポーツを共通のキーワードに同世代の若者と交流する中で、自らの考えや現況を見つめることができ、視野の広がりに繋がったようです。今後もゼミ生たちが自らの経験を活かせる有意義な学びの場を築いていきたいと思っています。(人間科学部教授)

第二言語ライティングと教師教育を研究

藤枝 豊

このたび、本学国際創学部に着任いたしました藤枝 豊と申します。専門は英語教育で、特に第二言語ライティングと教師教育に力を入れて研究を進めております。来年度からゼミ授業を担当させていただき予定で、言語習得理論と英語教員に求められる資質能力について、学生の皆さんと共に学んでいきたいと考えております。日本の英語教育の発展に貢献できるよう、熱意を持って邁進する所存です。研究面では、ライティング指導を中心とした研究を継続し、多くの成果を残せるように努力します。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。(国際創学部教授)

社会思想史研究

山尾 忠弘

経済学部の山尾です。はやいもので着任から3年目に入らんとしております。このあいだに剣道部長兼男子監督を拝命し、学生たちと汗を流す日々です。前号で申し上げたペンと剣の中では剣の比重が重くなりすぎている節もありますので、ここでペンを取り直して本業の社会思想史研究に邁進していきたいと思っております。先輩方には一層のご指導をお願いするところです。(経済学部講師)

出会いの予感

滝澤 克彦

2024年4月に着任いたしました。専門は宗教社会学です。社会の動きと宗教がどのように関わり合っているかという観点から、社会主義体制崩壊後のモンゴル国や東日本大震災後の被災地を対象に研究をしてきました。高校を卒業後、関東、東北、モンゴル、九州などを渡り歩き、30年ぶりに関西に戻ってきました。なかば意図的に遠ざかっていた関西ですが、いざ戻ってみると思いがけない様々な魅力に改めて気付かされているところです。いまだ新しい環境での驚きや戸惑いも絶えませんが、それよりも研究や教育の新たな楽しみにつながりそうな出会いの予感に胸を躍らせています。(国際創学部教授)

スポーツ科学の活用を当たり前

森下 義隆

2024年4月に人間科学部に着任しました。専門はスポーツバイオメカニクスで、力学的な観点から運動メカニズムやパフォーマンスの構造について研究しています。本学に着任するまでは国立スポーツ科学センターという施設で日本トップクラスのアスリートを対象に競技力向上のための科学サポートや研究に従事していました。大阪経済大学はクラブ活動が盛んで、将来運動指導に関わる学生が多くいると思います。本学での研究・教育活動を通して、スポーツ科学を当たり前のように活用して自身の競技力向上や運動指導に役立てられるようになってもらいたいと思います。(人間科学部准教授)

お世話になった先生からの お元気なお便り

(敬称略・順不同)

「八十三歳」に思う!

稲場 紀久雄

今年(24年)8月、満83歳になりました。3年前「人生第四の仕事・作家になろう」と決心しました。この仕事は、ある意味で教員時代の継続ですが、面白い作品を書きたいのです。そこで、「健康第一」と規則正しい生活を心掛けています。即ち、朝夕計約3時間の散歩、午前中約2時間の執筆、午後約3時間の資料渉猟。



私は、「八十三歳」に「笑寿」という文字を宛てます。「八」が三重になると、「八八八」と笑い声になり、「笑う門には福来る」という諺が重なります。「傘寿」(八十歳)、「米寿」(八十八歳)、どれも漢数字に適当な漢字を宛てています。ま、このようなことを考えつつ、日々を過ごしています。

白水会の皆さん元気ですか?

渡邊 泉

すっかりボンコツになりましたが、何とか元気(?)でやっています。2024年6月末に4年に1度の会計史家国際会議が中国の武漢で開催されました。基調報告の招待を受け、下手な英語で報告してきました。至れり尽くせりのもてなしには言葉ありません。タイトルは「会計と倫理と教育」で、内容は、2023年に同文館出版から上梓した『会計と倫理』の要約です。何よりも良かったのは、欧米各国や中国等の古い友人たちとも会えて、懐かしい時を過ごせたことです。学会の初日に、拙著『帳簿が語る歴史の真実』の中国語訳(張秀春訳)が出版され、依頼を受けて簡単な紹介もしました。さて、今年は、どんな年にできるやら。卒業生の皆と会いたいですね。



「中国経済論」ゼミの30年

山本 恒人

1983年からゼミを開始、定年時に募集を終えた山本恒人です。本年中に81歳を迎えます。初代ゼミ生が還暦を迎えられましたし、最後のゼミ生も仕事、結婚、出産のピークに差し掛かっておられます。丁度、中国が改革開放の時代を迎えた時から、日本を抜いて米国に次ぐ世界第2の経済大国に成長するプロセスをみなさんと共に観察し、研究してきたのでしたね。



成長期の日本もそうでしたが、大国ともなれば周辺諸国との軋轢も、国内のヒズミも避けがたくなりますね。でも私どもは中国の発展を温かく見守り続けて参りましょう。身体と頭健康を大切に、日々をお過ごし下さい。(大阪・吹田市在住)

ある回想録

久保田 諄

先日、物置の故紙を整理中、偶然に第二次世界大戦敗戦の十年後に、ある女性団体が作ったガリ版刷りの小冊子を見つけました。多くの人々の戦中戦後の生活の回想録で、「防空頭巾」と題されています。読んでみると、当時の人々の最大の苦しみは、何と云っても食糧確保で、主食の配給が月に二十日分だったことです。あと十日分は何か食べとけとのことで、仕方なく人々は空地を見つけてサツマ芋を栽培し、芋だけでなく葉も茎も食べました。更に驚いたのは宮津の人の回想で、網野町に神風特別攻撃隊の訓練基地があったことです。粗末な飛行機に爆弾をつけ、そのまま敵の船に体当りする、あの特攻機です。網野町の人々は日夜、低空飛行を練習する爆音に悩まされました。そして一隊の練習が終ると盛大な宴会の壮行会が催され、翌朝は全員が飛立ちました。そして続いて次の一隊の練習が始まりました。特攻機の出発基地として知覧の名が知られていますが、敗戦後、この特攻は世界に恥ずべき邪道暴挙であるとして、時の政府の手で完全に証拠が破壊抹消されました。

難解と大問題

六浦 英文

作家カフカの難解な作品を、ドイツの文学者ヤールアウスが解釈している。その研究方法は、フランスのポスト構造主義の哲学者デリダが提唱したディコンストラクション(脱構築)と呼ばれる。難解。

こちらの作業の初歩としては、ドイツ語のSchriftはフランス語のécritureの訳語であり、それは日本語でエクリチュールと訳されることを理解。その次にやっと解釈が始まる。ところが、「難解」の前に「大問題」が現れる。

フランス語の原典と、そのドイツ語訳を購入するという財政的問題。さらに「円安」という経済的問題。年金生活者はツライよ!

私が大阪経済大学に来た理由

梅原 英治

みなさん、お元気でしょうか? 私は2021年3月に退職して3年半たちます。いまは自宅で論文を書く日々です。本年1月に亡くなられた重森暁先生(元学長)の「徳ぶ会」が7月に行われ、久しぶりに大阪経済大学に行きました。



重森先生は鹿児島にいた私を大阪経済大学に誘ってくださった恩人です。鹿児島は良いところでしたが、教養部所属教員は専門ゼミを持ってないという決まりがあり、私は教養の経済学担当者でした。私はゼミを持ちたくて1996年に大阪経済大学に移りました(教授会の厳しい採用審査を経て)。おかげさまで大阪経済大学では毎年たくさんのゼミ生が来てくれて、楽しく過ごすことができました。重森先生とみなさんに感謝です。

1日1万歩を毎日欠かさず

泉 弘志

大阪経済大学での勤めを終え、悠々自適の生活に入って丁度10年。昔皆さんと一緒にゼミナール等で勉強した産業連関表を使用した経済統計学の研究は、今も細々と続け、その成果を毎年経済統計学会で報告しています。健康法として、

NHKのテレビ体操を録画し朝7時半と夜10時にそれぞれ10分間これを見ながら体操しているのと、1日1万歩のウォーキング(在職中は1日1万5千歩だった)を、ほぼ毎日欠かさず実行しています。おかげで80歳になった今もまずまずの健康を保っています。私の健康法は平凡で単純ですが、皆さんも自分に適した健康法を工夫され、健やかな生活を楽しまれるようお勧めいたします。

激動の世界 見・聞き考え発言しよう

山田 文明

北朝鮮のみならず、ウクライナ、ガザ地区、レバノンと、冷戦を超える熱戦が広がる世の中となり、武力行使は止められない。先進諸国の共同体制にも亀裂がみられ、国内では厳しい分裂が進行している。

金日成の「平和統一」路線を「敵国」との2国関係に転換した金正恩の今後の方針、日本及び米欧諸国がどこまでウクライナを支援できるか、イスラエル政府の「敵殲滅」路線の行方は、そして中国政府の台湾対応、米国の大統領選挙の結果とその後のトランプ氏の行動、それらを分析し、適切な政策を見いだせるのか、答えを探してアマゾンで本を買う日々です。

2024年9月30日

「ネガティブ・ケイパビリティ」について

藤本 周一

英国の詩人キーツが、弟宛の私信で述べたこの言葉が、いま、その意味と共に、訳語のあり方が問題となっている。ある精神科医は、これを「答えの出ない事態に耐える力」と解し、ある哲学者等は「ネガティブ・ケイパビリティで生きる」と題した本を出している。小生は、そのような方向には、やはり違和感を禁じ得ない。それはキーツの詩的理念にそぐわないだけでなく、この詩人の素質に妥当しないと考えるからである。大詩人シェイクスピアを師表としたキーツは、やはり、みずからは社会等に向かって、見識がましいことを一切表明せずに生きる、つまり、消極性に徹する詩人としての覚悟を示唆する言葉でなければならないと考えるからである。

叙 勲

おめでとうございます。

令和6年春の叙勲で、元大阪府議会議員、大樟樟政会会長の西 恵司さん(35回)が、旭日中綬章を受章されました。

訃 報

本学元理事長の井坂健一氏(19回)が、令和6年11月12日にお亡くなりになりました。慎んでお悔やみを申し上げます。

井坂健一氏は、三重県出身の実業家。1953年、大阪経済大学経済学部卒業。野村證券(株)副社長、野村證券投資信託委託(株)社長、東京証券取引所副理事長、平和不動産(株)社長を歴任。平成11年~平成17年、本学理事長。





広済堂ネクスト

**学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。**

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、学生のキャリア教育、就職支援、同窓会事務局の運営支援等、円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社広済堂ネクスト
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2F
Tel.06-7178-0530
<https://www.kosaido-next.co.jp/>

波乱の時代に創業し東証プライムへ 大樟春秋会会長として大樟会にも貢献

株式会社エーアイティー 代表取締役社長
矢倉 英一 氏 (39回)



自らは輸送手段を持たず、輸出入を手配・代行して指定先まで届けるフォワーダー。その国内先駆者として創業し、東証プライム上場へ導いた矢倉英一さん。その基本理念「創発」は、偶然にも母校のミッションと同じ。劇的な一代記や、母校との関わり合いについて、ご本人に語っていただきました。

* * *

フォワーダーとは、船や車両、倉庫を所有せず、荷主から依頼を受け、国際物流の複雑な手続きを代行して、不確実性の高い輸送リスクを軽減する業態。輸送品は、身近な衣料・食品から機械部品・医薬品まで多様です。中国・東南アジアを核に事業展開しており、なかでも中国から日本への輸取扱量は国内トップ(コンテナ24万3500本)となっています。

私が生まれたのは、太平洋に面した和歌山県串本町。釣りが趣味で、今も故郷に自分の釣り船を置いています。その串本で高校まで過ごして大経大へ。大学のすぐ近くに家具屋さんがあり、階上が下宿になっていて、40人ぐらいの下宿生と共に住んでいました。勉強もがんばりましたが、アルバイトでは各地のスーパーへ派遣され、試食販売などを担当していました。あの時の経験は、社会に出た時にとても役立ちました。

卒業後、親戚の紹介で運輸会社へ入社し、和歌山港の貿易業務に就きます。1973年当時、北米やロシアから材木を積んだ船が次々入港し、順番待ちで停泊する船が何艘もありました。新人でしたが船に乗り込み、積み下ろしの段取り

や時間について、英語で打ち合わせをしました。個人の並行輸入や通信販売が始まってすぐの時

基本理念

創発



社長室にも大きく掲げられています。

経営方針等、詳しくはホームページをご覧ください。

代、いずれ独立して商社を起こしたいという気持ちがある、このころ芽生えました。

そんなとき、貿易業で韓国駐在員を募集する求人広告を見つけアトラス複合輸送(株)[のちの伊藤忠エクスプレス(株)]に応募しました。90人のなかで採用は一人。身に付けた英語力と海外経験を積みたい、という熱意が通じたのか、採用になりました。アトラスは、伊藤忠商事(株)が、繊維製品をまとめて運ぶために設立した子会社で、時代の先駆となる業態です。韓国、米国、欧州、インドネシア、そして、日中国交正常化(1972年)数年後の中国で勤務し、人脈を作ることができました。

やがて阪神・淡路大震災(1995年)で物流がマヒし、「今が最低。もう上にしか行かない」と独立を決めました。新卒のころから約20年間、思い描いた起業です。

独立から1年半は苦労しましたが、以前の職場で取引していた今治タオル製造会社の社長と大阪で偶然2度も出会い、「わざわざお前に会いに来たんちゃうぞ」と笑いながら、何と1億円の発注をいただきました。あの時は本当に不思議なご縁に助けられました。以来、売り上げは毎年約30%の右肩上がり、最高年度は690億円。一部上場は2011年のことです。

大経大との関わりとしては、2013～18年に大樟春秋会の会長を務め、2016年には会社運営の教材となるよう、定時株主総会を学内フレアホールで開催。また学内で通関士講座を開いたこともあります。現在も、サッカー部への支援を続けています。母校卒業生の弊社在籍人数は私を含めて16人、うち1人が在学中に上記講座を受講して通関士の資格を取得しました。また、サッカー部OBも在籍しています。

前向きな「思い込み」は、願いを現実に導くといわれます。在校生の皆さんは、どうぞ健康的でポジティブな「思い込み」を持ち前進してください。

(聞き手=広報部・松浦雄一郎)



略歴 1948年、和歌山県生まれ。和歌山県立串本高等学校卒業。1973年、本学経営学部卒業後、浅川組運輸株式会社入社。1976年、アトラス複合輸送株式会社(現・伊藤忠ロジスティクス株式会社)入社。1995年、株式会社エーアイティー創業。同社は2007年、東証マザーズ上場。2011年、東証二部に市場変更。同年、東証一部に市場変更。2022年、市場再編により東証プライムに移行。

変わり続ける事が変わらないこと

安藤パラケミー株式会社 代表取締役社長
佐久間 導人 氏 (62回)



昨年9月、本学バスケットボール部とスポンサー契約を締結していただいた安藤パラケミーの佐久間導人社長を訪ねて、八丁堀にある本社にお伺いしました。安藤パラケミーは創業200年を迎える老舗企業ですがスピード感があり、常に新たなことに挑戦し続ける会社です。2021年には製造物流拠点の「行田事業所」を設立。商社でありながら製造業にも取り組み進化し続ける会社です。

「安藤パラケミーへは父親の勧めで、転職で入社しました。商社はメーカーより色々な商品を扱える点が魅力だと感じていました。また、当社はオーナー会社ではないので売り上げを伸ばして実績を積んでいけば役員になれるのでは、と思っていました。子供の頃からの夢は社長になることでした。

入社後、大阪支店へ配属され、名古屋、千葉へと転動しました。法人立ち上げで青島(中国)に赴任した際は尖閣諸島の国有化問題で日中関係が悪化した時期で、日本人だと分かると危害を受ける可能性があり、韓国語を駆使して難を逃れたこともあり(笑)。

大学受験では本学へは併願での入学でしたが、大学では簿記の単位を取るのに苦労しました。またゼミでは土居充夫教授の政治学を履修し、いずれも経大で学んだことが今の仕事に活かされています。

子供の頃から釣りが大好きで、サラリーマンをしながらバスプロになることを夢見ていました。学生時代はアルバイトでお金を貯めて琵琶湖や池原ダム(奈良県)七色ダム(和歌山県)までブラックバス釣りに行っていました。釣りに行くためのアルバイトでしたが、物流会社や英語の塾講師も経験しました。



会社では業績を上げていくことは至上命題ですが、それ以上に会社の将来を創るための新しい分野や商品、サービスなどに視野を広げ未来につながる活動を行っています。

最近の成功事例では、コロナ禍で消毒用アルコールがなくなった時に取引先へ無償で消毒用アルコールを配っていただきました。そんな中、クライアントから消毒用アルコールを販売して欲しいと言われたことがきっかけで、当社の新規ビジネスとしてスタートし、今では大きな売上となっています。

卒業後、黒正部長と懇意になり、大学での講義(今後の日本の産業構造の変革と英語の必要性について)からバスケットボール部とのスポンサー契約へと繋がりました。

学生さんへのアドバイスは? 「大学時代には、勉強だけでなく、アルバイト、遊び、ボランティアなどの社会勉強に励んで社会に出てから何をするか考えておいて下さい。上場会社など大企業へ入ることだけを目指すのではなく、仕事として本当に何をやりたいかをしっかりと考え、また面接を受ける際はその会社に対する研究を怠らず就職活動に取り組んでほしいと思います。ちなみに当社は企業を対象としたBtoBビジネスの会社で、商社と製造の両機能を持ち合わせているのが強みの会社です」。

今後の抱負は? 「これからは当社をより成長させて、当社と取引する事でお客様に感謝され、そして従業員が自分の会社に誇りを持って働くことが出来る会社を目指したいと思っています」。

(聞き手=広報部副部長・天野康弘)

安藤パラケミー
<https://www.anp.co.jp/>
https://www.anp.co.jp/new_graduate



会社 HP



採用ページ

略歴 1972年、大阪府堺市生まれ。大阪府立狭山高等学校卒業。1996年、本学経営学部卒。同年、株式会社大水(水産会社)入社。1997年、安藤パラケミー大阪支店に入社。1999年3月、名古屋営業所へ異動。2002年2月、千葉本社(現在八丁堀)へ異動。2010年4月中国(青島)に赴任。2013年12月、取締役就任。2017年、社長に就任。

淡路島観光大使の経験を生かし、 「玉ねぎ×美容」で国生みの島から 一次産業を支える!

ティヨル株式会社 代表取締役社長／タマネギ美容家®
齋藤 千明 氏 (86回)



人生を変えた、学生時代のチャレンジ

「斬新! 淡路島の玉ねぎ化粧品ですか?」と、テスターを試して購入する人々。デパートなどの体験イベントで好評を得て、確かな手ごたえを感じたそうです。玉ねぎエキスを使ったスキンケアコスメを開発し、抗酸化作用を促す商品として、自社のネットショップやデパート、淡路島の観光施設で販売されています。

ご出身は、兵庫県南あわじ市。玉ねぎ農家で生まれ、地元の中学・高校へ。それまで学んだことのない経営学に興味を持ち、親元を離れて大阪経済大学へ進学。ビジネススキルの習得や起業を目指す、アグレッシブな友人を見て「本当に同い年? と刺激を受けました」。

引っ込み思案で、人前で話すのが苦手な自分を変えたいと、2年生・3年生のとき、関西の「キャンパスコレクション」(ファッションショー)に応募します。「それまで何もチャレンジしてこなかったのが、勇気がいりましたが、」応募1,000人のうちセミファイナルの20人に残り、ランウェイを歩いたりスピーチを披露したり、自分が思った以上の成功体験を得て、積極性と行動力が飛躍的に向上しました。

大学ではマーケティングを専攻し、太田一樹ゼミに所属して「淡路島の地域ブランディングとマーケティング」をテーマに卒論を制作。人口減少や雇用問題など故郷の現状・課題を考察し、この研究が後の起業へとつながります。美容に関心を抱くようになったのもこの頃のこと。淡路島では化粧つけない「スッピン」高校生でしたが、大学生になるとロールモデルになる女子が多くいて、コ



スメにこだわりを持つように。また自身の敏感肌を克服しようとかケア成分を調べた経験も、後日の商品開発に生かされます。

「淡路島愛」を糧にビジネスを創出

大学卒業後、インフラ企業の秘書として勤務しながら、観光大使「クイーン淡路」に応募・選出され1年間にわたって広報活動に従事。首相官邸に出向き、島の名産品をPRする役目も担われました。

その活動期間中にお父様が急逝され、家を支えるために帰郷を検討。生産者の課題を肌で感じ、人手不足やフードロスなど様々な一次産業の抱える課題を解決する方策はないか、名産の玉ねぎと自分の好きな美容を掛け合わせることはできないか……。 「玉ねぎ成分の肌への影響」に関する書籍や論文を見つけ、海外には玉ねぎの有効成分ケルセチンを使った美容法があると気付かれました。

地元の青果会社に実家の畑を貸し、そこで出る型崩れ・B級品の玉ねぎを用いてエキスを抽出し、独自の原料として使用。社会貢献にもなるビジネスモデルを開拓し、冒頭の化粧品会社が誕生しました。社内の商品開発者と共に、水の代わりに玉ねぎエキスで仕上げたウォーターレス商品を開発され、「NIONE」(ニオーネ)ブランドとして販売。現在、クリーム・美容液・クレンジングをリリースしており、今後はラインナップを増やし、健康食品の開発も目指すほか、アジアなど海外での市場展開もお考えです。

会社の設立後、母校北浜キャンパスで、自らの事業内容をテーマに講義を担当されたことがあります。また、起業前のことですが、大樟会淡路島支部の支部総会に参加して、意外な友人・知人が卒業生だと気づいた経験も。次代を担う在学生に向けて「学生時代、小さなことでもいいので何かにチャレンジし、成功体験を積み重ねてください。失敗・リスクを



恐れていると現状維持に留まります。その後の人生を好転するために挑戦を」と助言をいただきました。

(聞き手=広報部副部長・天野康弘)

略歴 1998年、兵庫県生まれ。兵庫県立淡路三原高等学校卒業。2020年、本学経営学部卒業。卒業後、IT会社、インフラ会社に勤務。在職中の2022年、観光大使「第42代クイーン淡路」に就任。2023年、ティヨル株式会社を設立。オニオンコスメブランド「NIONE」を立ち上げる。

廃棄される「竹割り箸」を再利用し 家具を製作販売。 Terra(地球)をより良い方向へアップデート

株式会社 TerrUP 代表取締役社長
村上 勇一 氏 (81回)



「現在の自分があるのは幼少期から大学まで続けた野球でのコミュニケーション力と忍耐力のおかげです」と語るのは今年32歳を迎える若手再生家具事業会社社長、村上勇一氏。

京都の地で姉妹の間の長男として生まれ、幼いころから野球に明け暮れた毎日。大学の3年で野球を辞めて「違う世界を見たい」とオーストラリアへ語学留学の後大学を卒業。4年間鋼材を扱う会社で営業職を勤めた後社会人で幅を広げたいと一念発起して退職する。大学の職員の方へ相談したり、図書館で留学するために語学を学んだりした後、イギリスへ渡りASTON大学院へ入学し経営学を専門に学ばれました。

28歳で帰国後様々な起業を模索する中、飲食店でアルバイトをしている際、宴会にて提供している竹割り箸に注目。

遠路はるばる中国より輸入された竹割り箸がわずかな汚れだけで捨てられることをもったいないと感じ、再利用出来ないと現在の事業をひらめかれました。

起業後は祖父が残してくれた旧家にて箸を組み合わせた集成材の作り方やサンプル作りに昼夜励み、割り箸を加工するための方法も原材料も全くの手探り状態の中、製造段階で固める樹脂を相手に悪戦苦闘。商品を加工するための原材料も一から取り組む。割り箸を固めるための樹脂はサンプル事に適したオープン温度の温度原材料も、保管時間が全く違い、



樹脂によっては、割り箸が真っ黒になってしまうことも。はじめはコースターなど数多くの小物の製造販売でハンドメイドマーケットや展示会などに出品するも、売れ行きは良くなかった。インパクトと事業性を考慮して思い切って木工職人さんと相談し、アイアン脚に特徴づけ机やサイドテーブルなどの家具を製作。「せつかくごみを減らすためにつくった商品が新たなごみを作り出してはならないと歩留まりを工夫して、ミリ単位で割り箸を揃えて端材があまりでないようにしたり、端材を集めて箸置きなどの小物を作ったりもしました」そして完成したワークテーブル「TAKEZEN TABLE」がEC(ネット販売)サイトオープンした影響もあり、*メディアや展示会などで注目され、飲食店、ホテル、カフェなどに納品するなど認知度が広がったそうです。天板や脚の種類も増えサイズ変更も出来ることから今後の商品展開にも期待したい。新作のボードゲームや丸テーブルなど更に商品ラインナップも増えてきています。

今後注文が増え安定すれば全国に工房を作り事業展開を拡大し、ペットボトルのように割り箸が分別され、廃棄される割り箸からモノ作りをしていく仕組みを構築したいと考えておられます。「あらゆる逆境にもあきらめずに頑張る気持ちを最も大切にしました。在学生の皆さんは出会いを大切に、志を持って頑張ってください。」と熱いメッセージでしめて下さいました。(聞き手=広報部・松浦雄一郎)

※TV→KBSテレビ【谷口流流】、関西テレビ【よーいドン!】、毎日放送【京都新】、日本テレビ【スクール革命】、テレビ朝日【ナニコレ珍百景】などに出演されました。
展示会→サステナブルセレクション EXPO in 京都、BAMBOO EXPO22などに出品されました。



略歴 1992年、京都市生まれ。京都府立鳥羽高等学校卒業。2015年、本学経営情報学部経営情報ビジネス情報学科卒(柏木ゼミ)。卒業後阪和工材(株)入社、営業職に就く。4年勤めた後、経営を学ぶ為イギリスへ渡り大学院へ。28歳にて帰国後起業。現在の再生家具事業をひらめく。

本学建学時の学風を受け継ぐ研究者 「飛脚問屋井野口屋記録」の重文指定に貢献

佛教学名譽教授・大阪経済大学博士(経済学)
大阪経済大学日本経済史研究所特別研究所員

渡邊 忠司 氏 (36回)
本学大学院経済学研究科博士課程単位取得
同 博士号取得



令和6年8月、本学の日本経済史研究所が保管する資料「飛脚問屋井野口屋記録」が国の重要文化財に指定されました。その資料を翻刻、全4巻の史料集として刊行する事業に携わった研究者が日本近世史・経済史を専攻分野とする佛教学名譽教授の渡邊忠司氏だとの情報を得ました。先生は、本学大学院の経済学博士第1号(論文博士)です。さっそく日本経済史研究所にてインタビューをさせていただきました。

経済学部入学まで 先生は、昭和22年(1947)愛媛県宇和島市のお生まれです。お話しによると、「中学時代は軟式野球部でした。高校ではクラブには入りませんが、不足する部員の応援で相撲や柔道の試合に、請われて駆り出されたこともあった」とのことです。身長177cmぐらいあったからかなあ、とも話されていました。「本学入学後は競技スキー部に所属しましたが、雪のない地域でしたから、単なる憧れでした。全くの初心者ですから、最初はアルペン、最終的にはジャンプでも取り組みましたが、実力は推して知るべしです」とのことでした。また、当時のスキー部はとても厳しかったそうで「ほぼ毎日10キロ以上走らされました。冬には、北海道のニセコで2週間ぐらいの合宿を行いました。流葉・赤倉・岩岳での合宿もあり、それなりに、学生生活の一部として楽しめましたし、スキーは現在まで冬の趣味として続いています」。

黒羽兵治郎先生との出会い 学部卒業に際し、大学院に進むか就職するかで悩まれたそうです。「就活もし、出版社などを受けましたが、学部ゼミでの黒羽兵治郎先生との出会いもあって、やはり研究の道に進みたいとの思いを断ち切れず、進学しました」。黒羽先生は近世日本交通史研究の第一人者で、本学の日本経済史研究所の所長も務められました。「この先生の学問をより深く学びたいという思いで大学院に入りました。これが、奨学金はあっても「生活と学業を支えるアルバイトの日々の始まりでもあった」と述懐されていました。経済的には苦しまれたようですが、「当時の本学には良い意味でのサロンの雰囲気が残っており、学問、研究などについて自由に語り合える学風がありました。修士、博士と進む間も黒羽先生のもとで論文や史料を読み解く時間は充実していました」と話されました。

大阪市史料調査会へ 「アルバイト生活が続いていたとき、黒羽先生の紹介で大阪市史編纂所の『大阪市史料調査会』に入り、大阪市史編纂の史料収集と整理の仕事に就きました。また『新修大阪市史』近世編の分担執筆までさせていただ



「飛脚問屋井野口屋記録」
(学校法人大阪経済大学所蔵・日本
経済史研究所保管)



渡邊忠司・徳永光俊編
「飛脚問屋井野口屋記録」第1～4巻
(大阪経済大学日本経済史研究所史料
叢書第4～7冊)

きました」。この仕事を実質的な研究活動の始まりで、同時に本学や立命館、大阪、帝塚山、佛教学などの非常勤講師を順次掛け持ちしながらの研究活動を経て佛教学教授に移られたと話されました。

『飛脚問屋井野口屋記録』全4巻の翻刻・刊行(2001～2004) この間に「飛脚問屋井野口屋記録」全33冊の翻刻・刊行に関われました。近世古文書の研究には、くずし字を読み解き活字化する翻刻の作業が必要です。全33冊の内3冊は、すでに黒羽先生が翻刻されており、その志を受け継ぎ、共編ですが渡邊先生が全冊を翻刻され、本学と日本経済史研究所の70周年記念事業として出版されました。「事業は、図らずも黒羽先生の意志を受け継ぐかたちになりましたが、当時の研究所長徳永光俊先生のご尽力の故」とのことです。

時は積み重なる 先生にはお好きな言葉があるそうです。「昔、サントリーのCMに『時は流れない。それは積み重なる』とのキャッチコピーがありました。時(歴史)は流れて消えるのではなく積み重なります。ドイツの社会学者ベンヤミンの著作からの言葉ようですが、その積み重なった現在までを史料によって解きほぐすのが歴史の研究です」。先生は、学んだ歴史から現在を知り未来を見通して欲しい、今回の翻刻もその一つと、言われました。

インタビューを終えて インタビューのはずが、途中から近世社会や飛脚問屋の仕組み、貨幣のこと、為替のこと、長さや面積の単位のことなどを、まるで授業のようにわかりやすくお話いただきました。こんなおもしろい内容を学生時代に聞きたかったな、後輩たちにも聞かせてあげたかったなと、本気で思いました。これこそ、黒正巖先生や黒羽兵治郎先生が繋いでいって欲しいと思っておられた「大阪経済大学の学問」なのだ確信しました。先生は「本学及び大学院では、今後も開学以来の学風を受け継ぐ研究者をどんどん産み出してほしい。この大学には宝物のような資料がまだまだ眠っています。ぜひ、研究の炎を絶すことなく燃やし続けてください」と熱く語られました。

最後に 後輩の在学生へのアドバイスをお願いしました。「今の大学は、企業に合う人を育てる専門学校化しつつあります。皆さんは、本来大学とは何なのかを考えてください。

私は、学生に『常に最善を目指す』ことを伝えてきました。ただし、皆さんそれぞれの最善は常に変化します。大学は、今の自分にとっての最善とは何かを見つける方法を自ら得ることのできる場です。何よりも大学一体となつて、文科省が求める大学に安住するのではなく、自立した学習・研究・学問の場としての大阪経済大学を目指してほしいと思います」。(聞き手=広報部・河内龍徹)

略歴 愛媛県立宇和島南高等学校卒業。本学経済学部卒業(36回)、本学大学院経済学研究科博士課程単位取得、同博士号取得、本学経済学博士第1号(論文博士)。本学教授黒羽兵治郎博士に師事。競技スキー一部出身。大阪市史料調査会主任調査員。佛教学文学部教授。佛教学歴史学教授・初代歴史学部長。佛教学名譽教授。日本近世史・経済史専攻。

隣接市場へ拡大し存在感を高めて 未来のある会社に成長させていきたい

石原ケミカル株式会社 代表取締役社長
藤本 昭彦 氏 (51回)



石原ケミカル株式会社(石原ケミカル)は兵庫県神戸市に本社を置く化学薬品メーカーで2013年に旧社名(石原薬品株式会社)から社名を変更、東京証券取引所プライム市場に上場している創業124年の歴史ある会社です。その石原ケミカルの第9代目代表取締役社長に就任された藤本昭彦社長にお話をお伺いしました。

* * *

経大在学当時は創立50周年の記念行事で休講が多かったため、アルバイトに精を出し、中でも神戸の造船所で溶接関係の仕事や化成処理作業をしていました。就活では元々自動車が好きで車関係の製品を扱う石原薬品を受験、その際面接でアルバイトについて話したところ内定をいただくことができたのですが最初の配属先は溶接薬品部でした(笑)

希望していた営業職の仕事に就きましたが、若い頃から現場に行くのが自身のスタイルでした。駆け出しの頃大手自動車メーカーからの開発案件をいただき、ほぼ1年間月2回ずつ工場に通い続けたことがありました。自宅からは遠距離にあり、現場でのテストも夜遅くなるので宿泊出張でしたが、最後はお客様の全国の工場に入所出来る入門証をいただけるまでになっていました。経済学部出身でケミカル品の営業職でしたので専門的なことは研究開発部門の先輩方はもちろん、お客様にも積極的に色々な質問を続けるうちにとにかく会話することで相手の本心を汲み取り、理解できる事が楽し



くなり、その話すというスキルは後の商品開発、市場開発に大いに役立ったと思っています。

経大に入学したのは、知り合いのOBの方から「社会人になったときに役立つことを学べる大学だよ」と教えて頂いたこと、中高とサッカー漬けで少し社会経験もしたかったこと、あまり上京欲が無かったことなどが理由です。

趣味はゴルフ、バイクでの旅行とソロキャンプ。さすがに社長に就任してからは安全面を考慮して単車は自重していますが、SSTR サンライズ・サンセット・ツーリングラリー(日の出に自身で決めた海辺からスタートし、日没までに石川県の千里浜にゴールする)への出場は良い思い出です。キャンプでは自然の中で自由気ままに食事を作りながら美味しいお酒を飲んでリフレッシュしています。

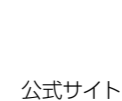
学生さんへのアドバイスは?

大学の4年間というのは、子供と大人の間で人生の幅を広げるための時間の取れる絶好の機会です。何にでも興味を持ってチャレンジしてみて、1つでも2つでも人に誇れる物を掴んでほしいと思います。

これからの抱負は?

会社経営のトップとして、業績の拡大はもちろん、社員をはじめ多くのステークホルダーの期待に応える経営を行い、歴史ある会社として今後も継続して未来ある会社に成長させていきたいと思っています。

(聞き手=会長・角脇忠之、広報部副部長・天野康弘)



公式サイト



採用ページ



略歴 1961年、兵庫県神戸市生まれ。兵庫県立北須磨高等学校卒業。1985年、本学経済学部卒。同年、石原薬品株式会社に入社。2012年4月、第一営業部次長。2017年4月、マーケティング部長。2020年4月、理事・新規事業推進部長。2023年6月、取締役・新規事業推進部長。2024年6月、代表取締役社長兼新規事業推進部長。

国内外を魅了するカリスマ絵師は 大経大、漫画倶楽部の出身!

漫画家・イラストレーター
やま だ あきひろ
山田 章博氏



継ぐはずの仕事がなくなって

サイン会や原画展で東京をはじめ各都市へ。フランスなど欧州やアジア各地にも熱狂的なファンがいます。美麗で精緻な漫画、挿絵や装画、ゲーム・アニメーションのキャラクター原案……、カリスマ性を帯びた数々の仕事の人々を惹きつけます。そんな山田さんに、母校で過ごした学生時代について伺いました。

少年時代は、怪獣映画や少年雑誌、貸本漫画が好きな普通の男の子。ただし、映画は好きなシーンを記憶して紙に描写。ミッション系幼稚園で話してもらったミルトン作「失樂園」やダンテの「神曲」も、「面白い場面を絵にしていました」。高校では美術の先生が、創設されたばかりの大学漫画学部へ進学を勧めてくれたそうです。

しかし、家業の羊毛生地会社を兄弟で継ぐよう育てられ、「兄も通った大経大経営学部へ入学しました。ところが在学中、豪州で大干ばつが起こり、羊毛が高騰して実家が廃業。継ぐ会社がなくなりました」。

漫画への取り組みとしては、学内掲示板で「漫画の同人誌を作ります」というポスターを見て、有志3人で漫画倶楽部「飛行舎」を結成、同人誌「乱葉(らっぱ)」を制作しました。その一人が風狸けん氏、後のプロ漫画家です(本号表紙イラスト。瀬江59号P61参照)。「山田さんは、突出して絵が上手かった(風狸氏)」。「風狸さんは、ストーリー漫画を正攻法で描く強者(山田氏)」とのこと

です。ちなみに、同人誌づくりを応援してくれたのが、後年にリサイクル

ショップ「無限堂」を立ち上げた山口安彦氏。共に母校卒業生の奥様も、絵や漫画好きとのことです(瀬江59号P60参照)。

圧倒的な筆力、幅広い職域

母校在外中に、漫画家デビューを果たし、翌年には単行本「人魚變身」を出版。同年、同人誌活動を通じて今の奥様と知り合い結婚。

「少年少女SF漫画競作大全集」という雑誌では、吾妻ひでお氏や諸星大二郎氏など、著名漫画家と共に作品が掲載されました。本格ファンタジー漫画「ロードス島戦記ファリスの聖女」(原作・水野良氏)は、代表作の一つとなります。ケント紙にペンではなく、基本的に画用紙に筆ペンで描く——、その個性的な手法は今も変わりません。

さらに、中国風ファンタジー小説「十二国記」のエピソードゼロ「魔性の子」の装画を1991年に担当。以降、30余年も続く大人気シリーズとなり、画集も出版されています。装画・挿絵は宮部みゆき氏、押井守氏の小説など多数。ゲームでは、「ミスティックアーク」などのキャラクターデザイン、「ファイナルファンタジー」のイメージイラストも担当。さらに、アニメの人物デザインや、映画のコンセプトデザインも手掛けています。

そのほか、以前に京都精華大学漫画学部の客員教授も務め、小説の挿絵家を育成。

「人の作品に沿って描くのが挿絵家です。自分を押し出すばかりではだめ、引き過ぎて無個性なものだめ。自分の名前で描く漫画と、小説の挿絵はまるで違います」。

大プロジェクトとしては、いま進行している劇場用アニメのほか、壮大な中国古典小説の漫画化を構想中とのこと。母校の在学生には「大学時代は、好きな道を探すモラトリア



ムな時間、今は甘えて、ゆっくり将来を考えて」と助言をいただきました。

(聞き手=広報部・河内龍澈)

略歴 1957年、高知県生まれ。高知県立高知西高等学校卒業。1981年、本学経営学部中退。本学在学中に、「ぱだんぱだん」(みのり書房「増刊アウトアラン」)で漫画家デビュー。イラストレーターとしても「十二国記」(小野不由美・著)ほか多数の挿絵を手掛ける。また、ゲームやアニメ、特撮のキャラクター原案、映画のコンセプトデザインなど幅広く取り組む。1996年、第27回星雲賞(アート部門)受賞。

すべては、 II部軽音楽部の部室から始まった

浪曲師
あずまや こうたろう
東家孝太郎氏(本名:岡山守治)氏(64回)



東京、浅草寺近くにある浪曲の定席「木馬亭」に浪曲師の東家孝太郎さんを訪ねました。「中学時代は水球に打ち込み、全国4位まで行きました。高校ではエレキギターにハマり、メタル(注1)バンドを結成してボーカルも担当しました。進学は私の好きな音楽シーン(音楽分野)の熱い大阪の大学を目指しました。そんな中、大経大は特に軽音楽部活動が盛んだと聞き入学しました。最新の音楽を目指していましたが、先輩達が演奏する60年代、70年代の楽曲など様々なジャンルに興味を持つようになりました」。当時の大阪には、世界中の様々な音楽を取り入れて演奏するバンドが多くあったそうです。「そこで初めて南シベリアトゥバ共和国のホームイ(QRコード1)と出会いました。ホームイに取り憑かれてしまい独学で発声を練習しましたが、大声を出すのに部室は最適でした。今日の自分があるのは、あの部室のお陰ですと笑われました。「しかし、独特の発声はなかなか習得できませんでした。ある日、阪急電車が淡路駅に着く直前に掛けたブレーキ音が口の中に入り共鳴しました。その時、突然ホームイに開眼されたそうです。「すぐホームに飛び降り、何度も何度も声を出してしまいました。その後も部室で練習を重ねました」。

卒業後、さらに音楽を極めたいとの思いから東京の音楽専門学校に入学されます。音楽の学びを続けながら、ホームイの技にも磨きをかけられました。2000年にはトゥバ共和国で開かれたホームイコンテストにグループ部門で出場、何と総合2位に入賞されました。遠い異国からやって来た若者が、並み居る現地の猛者を押し退けて2位に入賞したことは大きなニュースになったそうです。2001年には南インドにてホームイと同じように倍音(注2)を使う楽器「口琴」(QRコード2)を、マスター・ニーヤティンカラクリシュナン師に学ばれまし



た。帰国後は松たか子さん主演のミュージカル「コーカサスの白墨の輪」に出演したり、ミュージシャンとしてアニメ「シグルイ」、NHKスペシャル「ヤノマミ」等のサウンドトラックに参加、「フジロックフェスティバル」、「ap bank fes」

などの音楽フェスにも積極的に出演されました。

また、ホームイ、口琴のワークショップ講師も始められました。そこで浪曲との不思議な出逢いがあったそうです。「生徒の一人から『先生の声は浪曲の広沢虎造さんにそっくり』と言われました。たまたま友人が虎造さんのCDを持っていて、貸してくれました。浪曲の発声には倍音の要素があることに気付き興味を持ちましたが、この芸能はすでに無くなっていると思っていました。所が、やはり生徒から二代目東家浦太郎師匠のカルチャースクールがあり、浪曲を学べることを教えてもらい受講しました。また、浅草には「木馬亭」という定席もあることを知り入り浸りました。2011年、正式に弟子入りされ、2015年11月に「木馬亭」にて名披露目興行(年明興行)を打たれ、プロとして本格的にデビューされました。その後、ホームイで鍛えた独特の節回しと古典から新作までの幅広い演目で人気を博しておられます。またホームイ、口琴を交えた倍音浪曲にも挑戦されています。2017年には第3回日本ホームイコンテストで、最優秀賞を受賞されました。この取材は7月5日に行いましたが、2日後の7日にはNHKFMの「浪曲十八番」に出演されました。また、秋にはNHK大阪ホールでのテレビ収録も控えているそうです。「今年の春から、私もカルチャースクールで教え出しました。ここで、自分のようなプロの浪曲師を育てたい」とも言われました。

最後に在学生へのアドバイスをお願いしました。「大学時代にはたくさんの方に挑戦し、その中から何か集中してやり続けられるものを見つけてください。社会に出るとそんな余裕の時間が無くなってしまいます」。

(聞き手=広報部部長・田中伸治)

注1 70年代のハードロックの流れをくむ、電氣的に極度にゆがめた金属的なサウンドを特徴とする音楽
注2 ベースの音のほかに鳴っている、2~4倍周波数の高い音

1 ホームイ
口琴
浪曲



2 口琴



略歴 1975年、石川県金沢市生まれ。石川県立金沢辰巳丘高等学校卒業。1998年、本学経営学部(2部)卒業。II部軽音楽部元部長。二代目東家浦太郎師門下。一般社団法人日本浪曲協会理事。

みんなで護った貴志川線 「第14回地域再生大賞」受賞

貴志川線の未来を“つくる”会代表
木村 幹生 氏 (36回)



活動を始めた経緯とどのような活動をされましたか

40年前、和歌山市から貴志川町に転居しました。県が開発した団地の前に貴志川線の駅があったからです。2003年11月、夕刊に運営会社が「貴志川線から撤退する」との信じられない記事が掲載され、毎日電車を利用する全ての乗客に衝撃が走りました。通勤客、通学生、病院に通う方、車を持たない方々が途方にくれました。翌年、沿線の有志7名で「電車の存続活動をしよう」と集まり、沿線の自治会へも「電車が無くなれば大変です。協力してください」。駅前ではピラを配り、各駅にのぼりを立てました。高校の体育館でシンポジウムもしました。黄色いスタッフジャンパーも作りました。多くの方々に呼びかけ、危機を感じる賛同者がどんどん増えていきました。団地の自治会館で町役場の企画課長との懇談会では、住民からは電車が無くなることに大騒ぎになりました。私が手をあげ「私たち住民が底力を出し、電車を残しましょう」と発言しました。会場は大拍手になりました。

私しか知らなかったのですが、会場の後ろにいた、NHK全国放送の人気番組「ご近所の底力」ディレクターが「木村さん協力してください」となり、NHKと繋がりました。私が電



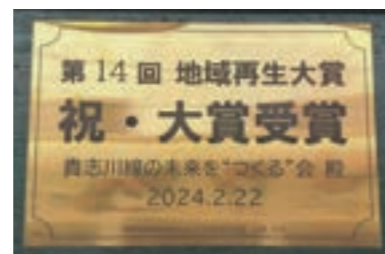
車がなくなり、マイカー通勤となった場合の職場近くでの駐車場探しの場面を2日にわたって撮影しました。住民有志が東京・NHKのスタジオに集まり、討論形式

での収録がありました。この2つの映像が全国放送され、貴志川線の「存続活動」が全国に知られることになりました。この日をもって「貴志川線の未来を“つくる”会」の発足としました。年会費1000円の会員が6300人になりました。

活動が全国に知れ渡り、やっと行政が動いてくれました。和歌山県、和歌山市、貴志川町(現紀の川市)に支援が表明されました。後継運営会社が公募され、岡山の両備グループの岡山電気軌道が親会社として受け入れてくれました。行政は10年間の赤字補填してくれるようになりました。2006年4月1日、未明の暗い中貴志駅で大勢の人々の歓声が響く中、小嶋社長、知事、両市長、来賓がテープカットし、和歌山電鉄としての1番電車が出発しました。小嶋社長と三戸岡デザイナーのコンビで、貴志駅を檜皮葺で建て替え、既存車両を次々にデザイン電車に変えました。世界初、猫の駅長が誕生し、国内はもとより世界の関心を集め、外国からの観光客もたくさん訪問してくれています。20年間続けてきた活動が認められました。2024年2月15日全国47の地方新聞、NHK、共同通信社が主催する「地域再生大賞」を受賞しました。東京・新橋の共同通信社で授賞式がありました。

全国的に公共交通の維持は困難な中にあります。和歌山電鉄と私たちが行政に希望しているのは「公有民営」です。ありがとうございました。これからもご活躍をお祈りいたします。

(聞き手=広報部・田島裕司)



ねこ駅長

略歴 1970年、本学経済学部卒業。建設会社を経て地元和歌山の日本経団連の地方組織の経済団体勤務後、現在和歌山市役所勤務。

私の Motto 「make a difference」違いを創る

みすず精工株式会社 代表取締役社長
佐藤 信春 氏 (38回)



大阪市西淀川区に本社を置き現在、主に日本の原子力発電の安全を維持する為の部品の供給をはじめ他事業にも積極的に取り組んでおられる、みすず精工株式会社の佐藤社長にお話を伺いました。

* * *

学生時代はどのように過ごされましたか

我々の大学時代は学生運動が盛んで、一生懸命何でも自分が正しいかのように理由をつけては活動しているのを横目に、今ではスキー人口が減少していますが、当時はスキーが盛んな時代で私は体育会競技スキー部で部長との上下関係を守りながら、青春を謳歌していました。冬は北海道のニセコアンブルスキー場、春は長野県岩岳スキー場、赤倉スキー場、大会は鳥取県の大山スキー場、夏は富山県の立山スキー場、他多くのスキー場に行きました。お金もかかりましたが多くの思い出と、多くの人との出会いはお金では計り知れない宝になり思い出となりました。

現在のお仕事の内容を教えてください

みすず精工株式会社の三代目の代表取締役社長を現在しております。

当社は1950年に創業し、今年75周年を迎えます。みすず精工はエネルギー産業に関わる製品を製造しており、特に今問題になっております原子力発電の再稼働に関する特別重要施設対応の製品を主に造っております。2024年2月16日に発行されたNewsweekに当社が掲載されましたので、以下の掲載分を読んでいただくと当社について理解して頂けると思います。

『創業75周年を迎えたみすず精工は原子力産業におけるキーパーソンとして、日本の原子力イノベーションをリード



し続けている。当社は世界の脱炭素化に伴い、ますます重要性を増すエネルギー源である原子力産業を支える中核メーカーのひとつである。福島原発事故後の課題にも関わらず日本政府の原子力エネルギーのコミットメントはみすず精工にチャンスをもたらしている。当社の製品とソリューションは原子力発電所だけでなく、火力発電所や化学産業でも使用されており、厳しい環境下での侵食や摩耗の問題に取り組むなど厳格な品質管理が特徴である。当社は新しい技術者を採用・育成し、貴重な技術を継承することを目指している。また現在は国内プロジェクトに注力しているが、グローバルな事業展開も視野に入れており、中国企業との協力関係もある。当社が原子力の有力な中堅企業として、技術革新、顧客満足、社会貢献を最優先し、伝統と革新を重んじる100年続く長寿企業になることを目指している」

話は変わりますが、現在75歳でみすず精工野球部(軟式野球)の監督をしています。学生時代に体を鍛えた事が、今でも現役で監督をできている礎になっているような気がします。



在校生にアドバイスをお願いします

当社には現在、私を含め8人の大阪経済大学の卒業生がいます。人生の先輩として、学生の皆様にアドバイスできる事は、人生の良きアドバイザーを多く持つことだと思います。人生は自分が思うように順風満帆にはいきません。必ず壁にぶつかります。その時に相談できる同僚または先輩が必要です。今から多くの人と付き合って学生生活を送ってください。ありがとうございました。

(聞き手=広報部・田島裕司)

略歴 1949年、大阪生まれ。大阪学院高校卒業。1972年、本学経済学部卒業。同年経理の勉強の為に石鍵公認会計事務所入社。1974年、みすず精工(株)入社。1975年、創業者(父)の逝去に伴い、専務取締役に就任。2003年、日本原燃再処理プラント関連工事拡販の為、青森県六ヶ所村にみすず六ヶ所工場建設。2014年、代表取締役社長に就任。現在に至る。2024年、日刊工業新聞主催40回優秀経営顕彰にて優秀経営者賞受賞。

天空を駆け巡る二人の卒業生

ANA 全日本空輸株式会社 B787 機長

相良 徹氏 (57回)

東京消防庁 消防士

柳野 寛貴氏 (89回)

始まりは、当時4回生だった柳野さんの大樟会事務局来訪でした。対応した角庵事務局長に「卒業生でANAパイロットの相良さんにお会いしたいのですが」と突然言われたそうです。その後、角庵さんの計らいでお二人は伊丹空港の近くで会われました。

* * *

柳野さん、そもそも相良さんに会いたいと思われた理由をお教えてください。それと、相良さんのことをどこでお知りになりましたか。

「私は、子供のころからパイロットに憧れていました。でも、それはとても叶わない夢だと思っていました。そんな中、消防庁に入庁しヘリコプターのパイロットになる道があることを知りました。後で詳しく書きますが、彼は努力の末、難関の消防庁採用試験に合格されます。



「相良さんのことはネット検索で知りました。長い歴史があり、多方面に素晴らしい人材を輩出している大学だと聞いていたので『大阪経済大学 パイロット』で検索してみました。すると、相良さんが見つかりました。夢の存在である本物のパイロットにお会いできたら、入庁後更に厳しい選考を経てパイロットを目指すためのパワーをいただけるに違いないと感じました。実際にお会いし、パイロットの心構えなど色々なお話しをお聞きして、精神的な支とすることができました」。結果的に、彼は何年かに1度しかないパイロット選考試験に合格されました。何と合格者は彼1人だけだったそうです。

ここで、大経大の不思議な「つながる力。」で本当につながった2人のことをお聞きしたいと思います。

相良さん、本学入学までのことをお聞かせください。「神戸市で生まれ育ちました。中学は軟式テニス部、高校ではアーチェリー部でした」。

次に本学入学後のことをお教えてください。

「入学してすぐに、将来は起業したいとの夢を抱きはじめました。特に当時発展著しかった中国と日本をつなぐ新しいビジネスモデルを構築したいと考え、2回生の時中国経済論の山本恒人教授を訪ねました。ゼミで1年学んだ後に中国に留学したいと申しましたら、先に留学した方が良いとのアドバイスをいただきました」。西安外国語大学で中国語を学ぶ傍ら、英語力も高められたそうです。経済特区の深圳を調査するなど積極的に学んだ後、1年半後に帰国されました。「ところが、帰国後すぐ

に天安門事件が起きました。留学生は全員帰国、事件後は、しばらく留学もできなくなりました。もし計画通り1年後にしていたら、人生が変わっていたかもしれません」。

就職先は、起業前に中国貿易の経験を積むため専門商社を目指されました。「内

定をいただきましたが、同時に受けていたANAのパイロット試験にも合格しました。商社からは『不安定なパイロットより安定した当社を選んだ方が良い』と言われました。相良さんが出された答えは「もし商社を選んだ後にパイロットの道を望んでも無理だが、逆は可能」というものでした。

「不思議なことに、昨日まで急なフライトで深圳におりました。35年ぶりの訪問でしたが、大きく発展した街の姿に驚きました」。

もし相良さんが中国と日本をつなぐ会社を起業されていたら、どんな凄いことが起こっていたのだろう、と想



フライト先のロサンゼルスにて

像してしまうのは私だけでしょうか。

柳野さんにも、本学入学までのことをお聞きします。

「大分市出身と言っていますが、本当は父の転勤で宮城、福岡、埼玉、千葉と転居しました。中学からは大分に落ち着きました。中学は野球部、高校では野球部と硬式テニス部に所属しました」。

本学入学後のことをお教えてください。

「消防庁を目指していましたので、その試験対策を指導していただける先生を探しました。外部講師の桐生富稀先生は、SPI(社会人基礎学力)担当の先生ですが、消防庁の試験問題対策の相談にのっていただきました。分からない設問に付いて質問すると、とても丁寧にまた的確に指導していただきました(QRコード参照、本学の学生広報隊インタビュー記事)。消防庁の競争倍率は20倍以上だそうです。「もし桐生先生との出会いが無かったら、消防庁には合格できなかったと思います」。

もう1つ、将来目指すパイロット選抜試験には高い英語力が求められるため、TOEICの点数を上げるなど英語の学習努力を怠らなかったそうです。「1回生の秋には、カフェで働きながら語学学校で英語を学ぶ、3ヶ月間のインターンシップ型の短期留学をカナダで経験しました。本当は長期の留学を考えていましたが、コロナ禍のため断念しました」。

ヘリコプターパイロット選抜試験(操縦士選抜試験)に合格された柳野さんは、任務を続けながら養成学校で訓練を受けられるそうです。「免許取得は、3年後くらいになります」とのこと。優秀なパイロットとして、人命救助や消火活動等で活躍されることを大いに期待したいと思います。



カナダ留学時の写真です。日本からの留学生、上位2名にのみ卒業証書が授与されます。中央は担当の先生です。

最後にお二人から、在学生へのアドバイスをお願いします。まずは相良さんからお願いします。

「皆さんは大学で、たくさんの友を得ることができましたか。高校までは原則的に狭いエリアでの生活なので、自然と友達が増えていきます。大学では、特に私のような自宅生は友達を作るのが難しいです。しかし、ここで得られる友達は生涯に渡る大きな財産になると思います。ぜひ、たくさんの友達を作ってください。日本一たくさんの友達を作れる大学なんて、素敵だと思いませんか。大学は、そのための施設の充実やプログラム策定など、環境作りに取り組んでください」。

柳野さんにもお願いします。

「たった一人で良いので、頼れる大人を見つけてください。私の場合、桐生先生がその頼れる大人です。試験対策の指導だけでなく色々な悩みの相談にもなっていました。卒業後も変わらずお付き合いいただいております。人生そのものの師と呼べるほどの存在です。私もいつか先生のような大人になりたいと、常に思っています。きっとあなたの周りにも、そんな掛け替えのない方がおられるはずです」。

(聞き手=広報部部長・田中伸治)

略歴 相良氏：1966年、神戸市生まれ。兵庫県立舞子高等学校卒業。在学中に西安外国語大学に留学。1991年、本学経済学部卒業。ANA自社育成パイロットとして入社。

略歴 柳野氏：1999年、大分市生まれ。大分県立大分雄城台高等学校卒業。2022年、本学経済学部卒業。東京消防庁入庁



https://note.com/dkd_prs/n/n00da9a7c7bd3#kTm1i

製造の現場から 更なる学問を目指し母校大学院へ その後、京都大学教授として研究者に



左から、浅田先生、上総先生、田中

京都大学名誉教授・京都大学博士（経済学）

上総 康行氏（院 40 回）

大阪経済大学情報社会学部教授・京都大学博士（経済学）

浅田 拓史氏

司会＝広報部部长・田中伸治

前号のインタビュー時に、浅田教授が「私の京大時代の指導教授は、本学の卒業生です」との衝撃発言をされました。浅田先生が京都大学在学中から師事する上総先生は、若き日に母校大学院経済学研究科で学び、修士課程を修了されました。当時のキャンパス事情や、現在に至るお二人の交流について伺いました。

司会 浅田先生、上総先生との出会いと、今に続く研究活動についてお聞かせください。

浅田 私は2001年に京都大学へ入学し、2年生から上総ゼミで指導いただきました。奥飛騨の温泉で合宿し、朝から夜遅くまで缶詰状態で勉強に打ち込んだ思い出もあり、京都の居酒屋で「課外授業」を受けたことも頻繁にありました。

上総 居酒屋で学問の面白さを話したり、研究者の道を勧めたりしてね。「同じ釜のめしを食う」という雰囲気、当時はありました。

浅田 上総先生とお会いしていなければ、大学教員になっていなかったと思います。

上総 定年後、福井県立大学へ移っ



浅田先生

た後も、京都市の四条烏丸近くで会館の会議室を借りて「烏丸上総塾」を開き、今も各地の弟子たちと共に研究を続けています。浅田君とは烏丸上総塾のほか、大経大での研究会や海外の日系企業での管理会計の聞き取り調査などを続けていて、月に1回程度は顔を合わせています。

司会 上総先生の若い頃のご経歴は、現在の研究者と異なり、本学の学生・卒業生にも学びや気づきをもたらすと思います。

上総 尼崎市で生まれて間もなく、父の故郷の、丹後・宮津近くの与謝野町へ疎開し、戦中・戦後を過ごしました。高校への進学者が少なく、地方から大学に進む生徒はほとんどいない時代でした。宮津高校の電気科を卒業し、日本電池株式会社（現・株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション）に就職、10年ほど勤めました。勤務条件がよく、大学の夜間部に通える企業を選びました。

司会 そこで働きながら、立命館大学の夜間部へ。
上総 立命館大学の理工学部を卒業し、専門学校でコンピュータのプログラミングを学んで本社の電算室へ出入りするようになりました。そこで、企業経営、とくに管理会計や原価計算に興味を持ち、今度は立命館大学の経営学部（夜間）の3回生に編入学。卒業の3カ月前に、大学院に入る準備のため会社を依願退職しました。

司会 それが本学の大学院経済学研究科ですね。どうして大経大に。

上総 経済分野に特化した大学で、戦前からの歴史もあります。研究者では、大阪経済専門学校（大経大の前身）を1947年に卒業し、さらに神戸大学で

研鑽を積んで、まだ女性研究者が珍しい時代に社会会計論で著名となった神戸大学教授の能勢信子さん、1年後に卒業し大阪市立大学で物流経済論を研究して商学博士を取得し大阪市立大学教授となった柴田悦子さんなどを輩出しています。後日談ですが、柴田教授は大阪市立大学を定年退職された後、名城大学商学部へ赴任されました。あるとき、「私も大阪経済大学の卒業よ」と声をかけていた

だき、大経大の「先輩」であることを知りました。奇遇という他ありません。

大学院を修了すると税理士試験の科目免除を得ることができるので、それを目当てに入る学生が多いのですが、大経大の大学院は研究者を目指す人もかなりいました。日本経済史を研究し博士課程で博士学位を取得し佛教大学へ赴任されて教授となった渡邊忠司さん（P56参照）、経営学を学ぶためにウィーン大学に留学し、後に香川大学教授となった植木英治さん、修士課程の同期生で博士課程において経営情報学を研究し愛知女子短期大学を経て大経大の助教授となった山田文明さん、1年後輩でアメリカ企業の経営を研究し、立命館大学の大学院博士課程を経て龍谷大学の教授となった夏目啓二さんなど、実際に研究者となるケースも少なくありませんでした。私も研究者志望でした。会社勤務のあとでは勉強時間を捻出するのに苦労しましたが、退職して大学院に入学したときは、24時間、勉強ができて嬉しく、もう夢中で勉強しました。ありがたかったのは、図書館の蔵書、特に経済学や経営学・会計学の専門書が充実していたこと。そして、近隣大学から非常勤講師で出講されていた著名な研究者、たとえば岡村正人教授（同志社大学）、市橋英世教授（大阪府立大学）、渡邊進教授（神戸大学）など、さらに指導教授の北里武三教授をはじめ大学院の優れた先生方に教えていただけたことです。院生が少なかったので、開講科目によっては私一人が受講生でした。ただ、博士課程に会計学の講座がなかったため、修士課程を修了後に立命館大学へ戻り、大学院で博士課程を単位取得後退学しました。

司会 その後、名古屋の私学、名城大学で勤務されますね。
上総 17年間ほど勤務し、管理会計史などを研究することができました。勉強を始めた院生時代は、知らない事実を知るのが楽しかったのですが、徐々に先行研究の論文や学説が「間違っているんじゃないか」と気づくようになります。すると学問は、がぜん面白くなっていきました。

司会 独自の上総学説ですね。名城大学時代に「アメリカ管理会計史」を同文館出版から出版されて、「1990年・日本会計史学会賞」を受賞。その後、この研究書を京都大学に学位請求論文として提出して経済学博士の学位を取得し、1995年に京都大学へ移られました。



上総先生

上総 京大ゼミのグループ研究では「喫茶店へ行って、コーヒーの原価を調べなさい」として企業の会計実務を調べるように指導しました。すると喫茶店で一生懸命にデータを集め、進んで理論を勉強し、原価計算や損益計算に取り組みます。学生たちは、うどん屋、豆腐屋、予備校など好きな業種を選んで原価を調査し、よい論文を書いていましたよ。

浅田 私たちがゼミ生の頃は大規模製造業を訪ね、どのように管理会計を行っているのかヒアリングをさせてもらいました。私が今、本学で実践している研究には、上総先生の現場主義が影響していると思います。働く人たちがアイデアを出し、会計ツールを使って、自ら働き方を改革する『自律創造型コントロール』（2023年出版）も現場あつての研究です。

司会 上総先生は、製造業での勤務経験をお持ちです。
上総 実際に製造業の現場を知っていると、研究や教育のアプローチ方法が違ってきます。京都大学での12年間に指導したゼミ生約100人のうち、40人を超えるゼミ生が職業会計人（大学教員・公認会計士・税理士）になりました。私と彼らの論文を載せた書籍を還暦、古希に出版し、まもなく『次世代管理会計の進展』を傘寿の記念に上梓します。次の出版は10年後の卒寿の予定です。

司会 最後に、在学生への助言をお願いします。
上総 私はこれまで「夢は、諦めなければ、なし遂げられる」、また「人にできることは、自分もできる」と信じて歩んできました。どうぞ、諦めずに未来へ向かって進んでください。

司会 ありがとうございます。



司会：田中部長

上総先生略歴 会計学者。専門は管理会計。京都大学名誉教授、福井県立大学名誉教授。1962年、京都府立宮津高等学校電気科卒業。日本電池株式会社に勤務しつつ、立命館大学理工学部・経営学部（夜間部）で学ぶ。1971年、大学院進学のため退学。大阪経済大学・大学院経済学研究科に入学し1974年に修士課程修了。1977年、立命館大学・大学院経営学研究科博士課程で単位取得。1978年より名城大学商学部勤務。1991年、京都大学で経済学博士学位取得。1995年より京都大学経済学部・大学院経済学研究科勤務。1998年～2002年本学非常勤講師。2007年、福井県立大学経済学部勤務。2010年、立命館アジア太平洋大学国際経営学部客員教授。2012年、公益財団法人メルコ学術振興財団代表理事（常勤）、2019年、福井県立大学地域経済研究所客員研究員。

2024年度大樟会理事会総会 事業の拡充とさらなる推進のため 本部組織の強化に向け会則改正

気候うららかな5月25日(土)、2024年度大樟会理事会総会が母校で開催され、卒回理事らが参加しました。理事会終了後は80周年記念ホールで親睦会が開かれました。

(2024年5月25日取材、肩書は当時)

D館1階第10教室で午後1時から理事会総会が開催され、142名の理事らが参加しました。角庵勝巳事務局長(43回)による司会のもと、與世田正雄副会長(34回)が開会宣言を行い第1部がスタート。角脇忠行会長(34回)が登壇し、2024年の活動状況などを報告した後「大樟会は2025年、90周年を迎えます。在学生と卒業生のつながる力を強化するとともに、母校の理事会・教授会、大樟会が三位一体となって、大学が取り組む骨太の改革を進めたいと思います」と挨拶しました。

その後、議長に松永清彦常務理事(41回)、副議長に田中伸治常務理事(45回)を選出し、議案の審議に入りました。第1号議案は「2023年度大樟会事業報告及び決算報告並

びに監査報告について」。総務部から学生の食事支援や奨学金などの事業報告、広報部から「濶江59号」発行などの報告がありました。また、会計などを担う財務部から事業報告、支部設立や支部総会開催などを支援する組織部から各地の支部訪問などの報告、支部・OB会などの設立・調整を行う渉外部から学術会・芸術会設立に向けた活動などの報告が行われました。さらに、財務部から大樟会収支決算書・貸借対照表・財産目録、監査報告書の説明があり、質疑応答では、「災害被災地支援の基金を設立してはどうか」といった提案が挙がるなど、活発な意見交換が行われました。

第2号議案は「2024年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」。総務部から煎茶道体験教室の開催など、広報部から「濶江60号」の編集など、財務部からの会計に関する業務、組織部から支部総会開催支援など、渉外部から各OB組織との調整・相談事業などについて計画が述べられ、財務部が収支予算(案)を説明しました。

第3号議案は「大阪経済大学大樟会会則及び会則(内

本部役員からの説明に熱心に耳を傾ける理事ら



理事会参加のため、母校に参集



角脇会長の挨拶



第2部冒頭、来賓の山澤理事長による祝辞



草薙副学長がスライドを用いて、母校の現状を詳しく解説

規)の一部改正について」。会員数10万人超となり、本部組織の内部強化を図るため、常務理事の役員数増(会則)、役員報酬・旅費の見直し(会則(内規))を行う旨、総務部から説明がありました。

第2・第3号議案についても活発な審議が行われ、3議案は全て原案通り承認されました。



司会の角庵事務局長



與世田副会長による開会宣言



選出された松永議長(左)と田中副議長

休憩を挟んで、午後3時から第2部がスタート。大山寿久事務局次長(41回)による開会の辞、角脇会長の挨拶のあと、母校の山澤俱和理事長が祝辞として、今年度設立した国際共創学部や2032年の創立100周年について述べ、草薙信照副学長が母校の概況・近況を報告。続いて、望月久義進路支援部長が就職状況と就職支援について解説し、大石恒光入試部長から2024年度の入試結果について報告がありました。

第2部の終了後、参加者全員で記念撮影を行い、D館8階の80周年記念ホールに会場を移して親睦会が開かれました。角脇会長の挨拶、草薙副学長の乾杯の発声で始まり、歓談を楽しみながら同窓生のつながりを確認しました。最後に、與世田副会長のリードで学歌、八尾英規常務理事(43回)のリードで逍遙歌を斉唱。山本隆造常務理事(37回)の音頭で万歳三唱、閉会となりました。

2024年度全国支部長会議

支部総会活性化について報告



支部長会議に参加した全国の支部長ら

大樟会理事会総会に先立ち、同日午前11時から母校C館第31教室で、全国の支部長・部会長らが参加し全国支部長会議が開かれました。新たに就任した支部長・部会長が紹介されたのち、本部組織の変更や会則改正などの説明と意見交換を実施。また、支部総会の活性化について、該当支部から報告などが行われました。



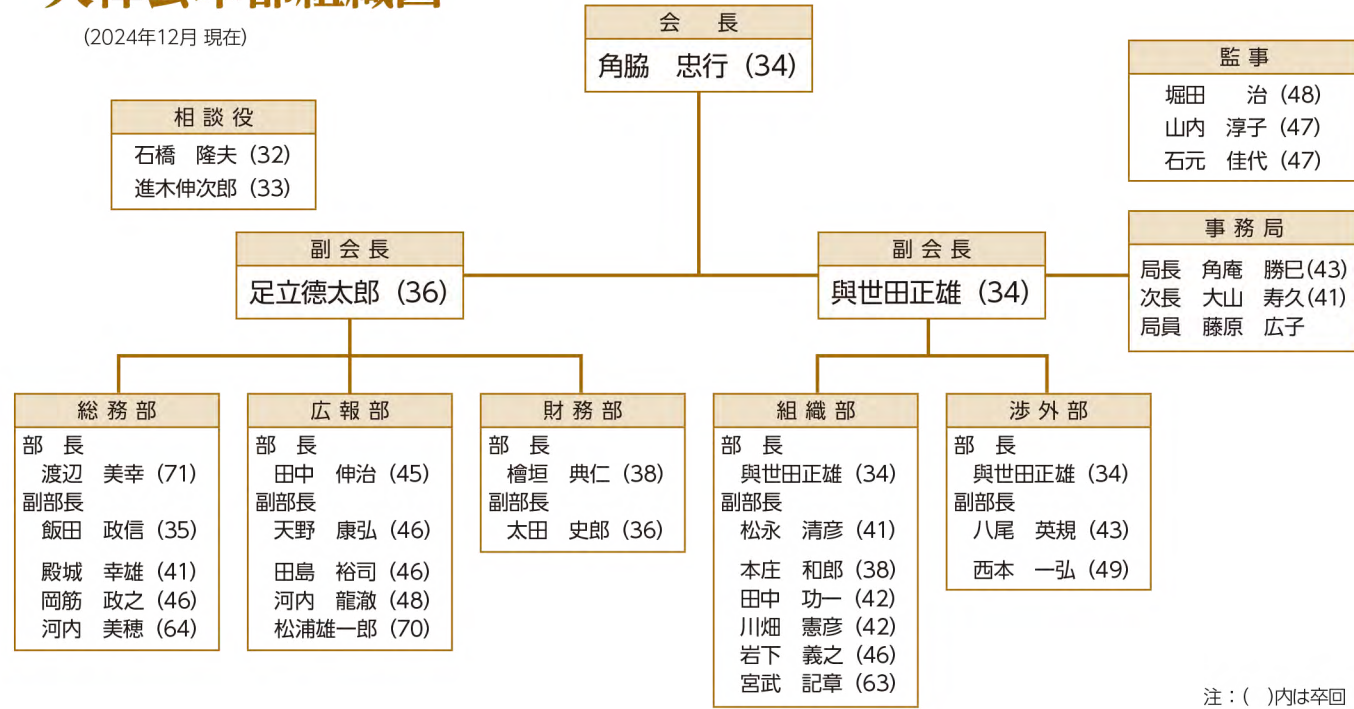
活発な質疑・議論がかわされる



にぎやかに話題が盛り上がる会議後の懇親会

大樟会本部組織図

(2024年12月 現在)



注：()内は卒回

2023 年度収支決算書

自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	76,417,860	76,417,860	総会費	4,542,754	5,000,000
会費収入	56,632,000	58,000,000	役員会費	728,894	1,000,000
総会収入	0	500,000	支部費	10,223,320	14,000,000
利息収入	47,695	50,000	事務費	4,696,169	3,000,000
濶江収入	1,193,000	1,600,000	消耗品費	1,370,164	500,000
広告料収入	954,000	1,000,000	通信費	2,171,667	1,000,000
奨学金収入	1,792,900	1,800,000	人件費	7,327,275	7,500,000
雑収入	2,492,200	50,000	旅費交通費	8,330,582	3,500,000
特別基金引当金取崩収入	10,000,000	10,000,000	広報活動費	19,859,758	17,000,000
			名簿調査費	0	300,000
			学対費	11,594,273	12,000,000
			学生支援費	5,355,359	10,000,000
			諸会助成金	457,000	2,000,000
			寄付金	5,000,000	0
			慶弔費	126,100	200,000
			雑費	338,380	200,000
			予備費	0	200,000
			次期繰越金	67,407,960	72,017,860
合計	149,529,655	149,417,860	合計	149,529,655	149,417,860

2024 年度収支予算書

自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	67,407,960		総会費	5,000,000	同窓会総会・理事会
会費収入	60,000,000	新学部創設・定員増	役員会費	1,000,000	常務理事会・各部会
総会収入	500,000	総会費等	支部費	14,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入	100,000	金利上昇	事務費	5,000,000	日常業務必要経費
濶江収入	1,500,000	購読料	消耗品費	1,500,000	備品等
広告料収入	1,000,000	濶江広告料	通信費	8,000,000	郵送・ネット等
奨学金収入	1,800,000	奨学金	人件費	8,000,000	事務局人件費
雑収入	100,000		旅費交通費	9,000,000	出張費等
特別基金引当金取崩収入	30,000,000		広報活動費	19,000,000	濶江作成費・取材費
			名簿調査費	300,000	会員名簿整理
			学対費	12,000,000	大学祭・クラブ活動援助他
			学生支援金	11,000,000	支援弁当等
			諸会助成金	1,000,000	各種部活動他援助
			慶弔費	200,000	会員等慶弔
			100周年記念事業引当金繰入	10,000,000	大学 100 周年事業用
			雑費	200,000	
			予備費	3,000,000	
			次期繰越金	54,207,960	
合計	162,407,960		合計	162,407,960	

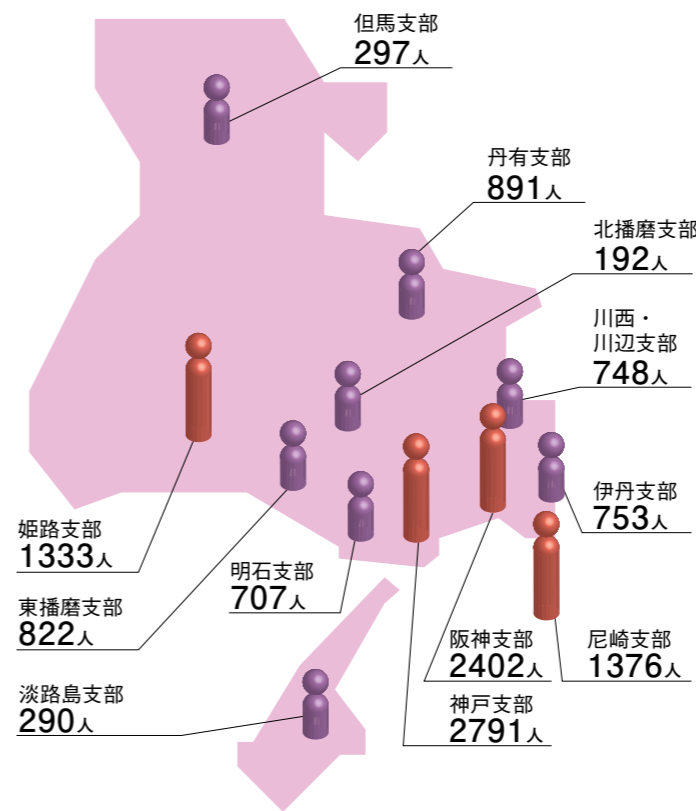
大樟会支部長・各種部会会長一覧

2024年12月現在

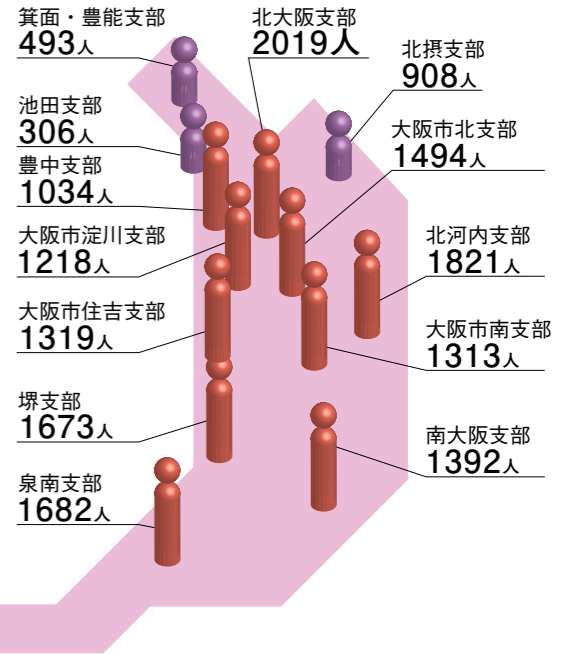
支部・部会名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	池田 正勝			
東京都	木村 義美			
富山	浦辺 則一			
石川	鍛冶 一英			
福井	川畑 憲彦			
岐阜	山根 一男			
静岡	大塩 博喜			
愛知	三津 辰雄			
三重	池山 英典			
滋賀	殿城 幸雄			
京都	柴田 俊彦			
大阪市淀川	杉山 幹人			
大阪市北	小原 宏夫			
大阪市南	吉川 進			
大阪市住吉	山本 岩雄			
大阪市役所				
北大阪	角野 力			
北摂	細井 三郎			
北河内	山西 喜久			
豊中	田中 功一			
池田	平井 裕能			
箕面・豊能	畑岸 隆一			
泉南	塩谷善一郎			
南大阪	藤田 鉄夫			
堺	岩下 義之			
尼崎	松浦雄一郎			
伊丹	本庄 和郎			
川西・川辺	宮東 豊一			
阪神	大山 寿久			
神戸	正岡 健二			
丹有	藤林 靖浩			
明石	長谷中英昭			
北播磨	小塩 慶明			
但馬	中川 茂			
東播磨	宮崎 善人			
姫路	芦田 雄二			
淡路	喜田 憲康			
奈良	樋口清二郎			
和歌山	岩田 弘彦			
鳥取	本庄 克則			
島根	山本 篤治			
岡山	岡本紳一郎			
津山	藤井 治則			
福山	岡崎 正廣			
広島	飯田 徹			
山口	藤原 俊明			
徳島	吉岡 宏美			
香川	高木 新仁			
愛媛	媛 二宮 克郎			
高知	南 宏道			
北九州	植田 達三			
大分	寒田 陽			
熊本	坂本 純夫			
宮崎	富永喜美夫			
鹿児島	前蘭 博隆			
沖縄	西里 喜明			
大樟春秋会	森田 俊作			
大樟体育会	山本 隆造			
池田泉州銀行大樟会	山中 康史			
日立大樟会	小坂 朋弘			
税理士大樟会	堀田 治			
大樟教育研究会	八木 大輔			
社労士大樟会	飯田 政信			
大学院大樟会				
大樟樟政会	西 恵司			

卒回	氏名									
14	柴田 悦子	藤川 玲子								
23	西本 集一									
24	上野 晃司	大場 謙二	多賀 平							
25	中平 秀寛	水納 敏也	森川 義一							
27	松田 英志									
28	大久保儀臣	鶴谷 利一	平尾 哲男							
29	国西 良昌	米村紀代孝								
30	佐藤 武司	田村 正晴	橋本 庫一							
31	木谷 正雄	中村 敏啓	平田 義行	安田 秀雄						
32	石橋 隆夫	五十榎保彦	植村 祐三	桑原 勇臣	小池 勝章	小林 真人	竹中 亨	中嶋 肇		
33	新田 和弘	春木 洋次								
33	進木伸次郎	西川 嘉紀	本郷 公夫							
34	岡田 輝夫	◎角脇 忠行	竹内 通弘	廣野 義直	藤本 二郎	松田今朝男	◎與世田正雄			
35	◎飯田 政信	大西 健介	小野 隆	櫻本 孝	木戸 淳一	近藤 靖太	佐藤 和夫	竹本 勇		
35	谷丸 八郎	濱 忍	堀内 健一	三木 泰	南 和男	山本 憲章				
36	青木 正道	◎足立徳太郎	◎太田 史郎	片山 剛征	木岡 良郎	下垣 恒彦	鈴木 澄夫	田淵 善人		
37	赤松 慶久	秋山 治信	老月 邦夫	梶村 貞男	竹本 巧	福田 敏裕	淵上 清二	山下 徹男		
37	山本 隆造									
38	植田 富雄	岡本 久	田安 敏男	橋本 廣	原田 猛	◎檜垣 典仁	◎本庄 和郎	松田敬一郎		
38	森友 通夫									
39	秋口 政俊	内田 敏雄	大河内徹心	大隅たつみ	北川 茂	西出 省三	福地 利仁	松本 辰郎		
39	矢倉 英一									
40	池上 照夫	上野 隆裕	木村 健治	齊藤 敏明	佐藤 英夫					
41	◎大山 寿久	奥村 勝茂	川口 正義	小谷 融	高塚 邦夫	田中 一良	◎殿城 幸雄	中坪 健治		
41	松尾 洋助	◎松永 清彦	森 義晴	安原 教夫	山田 正人					
42	市原 幸恵	◎川畑 憲彦	◎田中 功一							
43	◎角庵 勝巳	刀根 唯誌	中嶋 閔一	西村 幸雄	廣嶋 健次	南 正治	◎八尾 英規			
44	陰山 秀明	山田 栄宏								
45	赤井 幹雄	坂本 勝宣	◎田中 伸治	森田 伯幸						
46	◎天野 康弘	◎岩下 義之	◎岡筋 政之	上甲 宣史	◎田島 裕司	大門 由秀	竹本 善久	前田 基美		
46	安田 太	吉田 敏明								
47	◎石元 佳代	岩崎 隆	川元 信夫	河野 順一	長崎 諭	西野 宗一	◎山内 淳子			
48	上畑 雅之	◎河内 龍澈	川田 直嗣	西平 綾太	◎堀田 治	山崎 正順				
49	◎西本 一弘	畠山 昌憲	林 日出夫	翠 紀雄	森村 信治	山田 増人				
50	今井 正弘	柴田 俊彦	山本陵太郎							
51	大谷 忠久	吉里 香織								
52	青山 栄三	伊藤 英明	上田敬二郎	原田かおり						
53	倉橋 幸三	小坂 朋弘	竹内 秀樹	安村 和久						
54	岡田 隆義	藤原広太郎	堀 康博							
56	久保 雅則	山本 充子								
57	飯田 徹	池山 英典	能多 英明	陸野 敬	湯村 徳光					
58	浦尾 雅文	齋 哲弘	中尾 篤也							
59	菊川 和義	米原 秀雄								
61	上田平元茂	衛藤 重豪	竹原林太郎							
62	梅原 猛	藤井 茂雄	山下 一佳							
63	◎宮武 記章									
64	◎河内 美穂	浪花 拓也								
65	石橋佳世子	二宮 勉	三津 辰雄							
66	加藤 正憲	辻 大輔	寺西 博文							
67	伊藤 和人									
68	坂口 達也	西川 孝幸	松下 恵美	吉仲美智子						
69	上西 政則	棟近有美子								
70	徳重 和寛	富山 芳勝	藤田 尚毅	◎松浦雄一郎						
71	林 辰郎	松田 記幸	◎渡辺 美幸							
72	大井 順平	岡村 志穂	岡本 圭秀	波多 朋美						
73	阪口 美和	松井 啓子								
74	藤田絵里菜	山田 武								
75	佐々木奈美	谷 力	高田 友美	原田有紀子						
76	服部 貴志	道阪 友裕								
77	久郷 健									
78	小田 恭平									
79	八木 大輔									
81	岸 孝雄									
82	上山 直城									
85	平田 直哉									
86	植田 拓実									
88	松下 聖治									

兵庫県

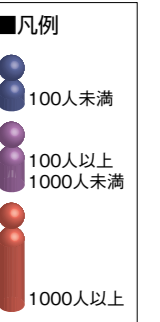
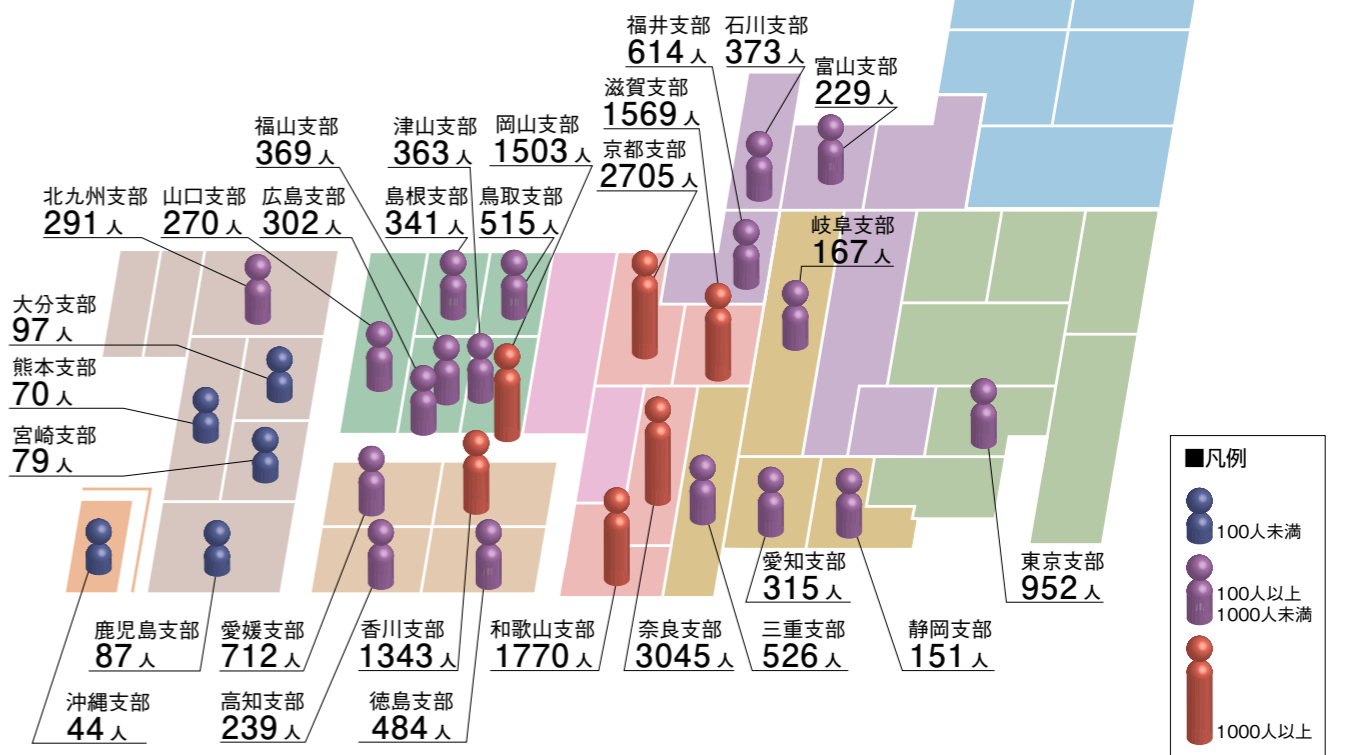


大阪府



都道府県別(地区別)支部会員数

(2024年12月現在)



こどもきょうしつミラコロ

ふじた いちろう (57回)

子供教室ミラコロ
藤田 一郎
直通 090-3568-0160
(事務局) 〒515-0065 三重県松阪市五月町 1505-3
TEL.FAX 0598-25-0007
mail:positivo.miracolo@gmail.com

大阪土産の新革命

代表取締役 紀雄(49回)
専務取締役 翠 大輔(78回)

2025 大阪・関西万博に出店します!

みどり製菓株式会社 大阪市東住吉区東田辺 3-2-2
HP「みどり製菓」で検索 ☎06-6691-6186

"毎日スプーン1杯の習慣、心も体も健康に!"

玄米黒酢

桜
SAKURA

無農薬・無化学肥料の玄米から
生まれたオーガニック玄米黒酢!

【販売者】 **前 蘭 博 隆** 34回生
鹿児島県鹿児島市桜島白浜町 1267
TEL 099-245-2822
FAX 099-245-2823

facebook ↓

697(ムクナ豆) パーキンソン 認知症
DONKOMAN(ドンコマン)

前 蘭 博 隆

〒892-0823 鹿児島市住吉町7番6号
TEL:099-805-0596
FAX:099-805-0633
携 帯:080-5252-2026

絵画・美術品の修復
ギャラリー中

代表 **中 三 郎** (51回)

〒546-0014 大阪市東住吉区鷹合 1-1-17
mobile:090-2105-4289
fax:06-6607-2447
e-mail:g-naka@dab.hi-ho.ne.jp
https://www.g-naka.com

お仕事詳細

大阪経済大学グリーンクラブOB会

グリーンOBの親睦と現役グリーンクラブ応援のために活動しています。本会と連絡のついていないグリーンクラブOBの方ご連絡下さい。

OB 会会長 八尾英規 (43回)
090-9879-7663
hideki-s290304@k.vodafone.ne.jp

大 樟 体 育 会

応援、清掃活動を全員参加で行います!

応援部 事務局長 田島 裕司 (46回) 携帯:090-8754-1790

Mail : okusutaiukai@osaka-ue-denko.com
携帯:090-3702-9608

会長 **山本 隆造 (37回)**

大樟春秋会に是非、ご入会下さい!

2024年12月 会員102名 になりました。

大樟春秋会は、大阪経済大学を卒業した人(大樟会会員)で企業の経営者、及び企業の将来の幹部候補生の方々で組織し、母校の支援や学生支援、並びに春秋会会員相互の情報交換等を目的としております。

2024年度の主たる活動
●寄付講座開講 ●企業セミナー開設 ●就職支援 ●懇親ゴルフ

大樟春秋会 ホームページ

入会申込ページ

32期生(昭和41年卒業)の皆さん 元気ですか!!

集おう32期同期会!!
【多くの方のご出席お待ちしております】

※2025年(大樟会設立90周年記念総会)開催日決まりましたら後日のご案内させていただきます

OSAKA

2024年11月2日32期生集合しました

32期同期会世話人 竹中 亨 携帯090-5093-5026

37期生会

今年はお祝いを同期で行います!!

Mail : ryuzou.yamamoto@ezweb.ne.jp
携帯:090-3702-9608

世話人代表 **山本 隆造**

大樟会阪神支部総会

2024年9月7日
ホテルニューグランドで開催しました

2024年度大阪経済大学 大樟会阪神支部総会

次回開催時も皆様のご参加をお待ちしております。

未来を創るつながる力。

愛知支部 総会・懇親会

日程:2025年9月7日(日)
開会:13:00(受付12時30分より)
場所:名古屋リーガロイヤルホテル

愛知支部長 中川 茂 携帯090-4644-8600
E-mail: tatehara@sunet.ne.jp

大阪市淀川支部

支部長 杉山 幹人 76回卒
mobile:090-7109-0507

地元で母校を盛り上げよう。

*対象地域
<西淀川区・淀川区・東淀川区>

大阪市北支部

支部長 小原 宏夫 38回卒
mobile:090-3274-3063

**一度はおいでよ北支部
未来を語ろう!!**

*対象地域
<此花区・福島区・北区・都島区・旭区・城東区・鶴見区>

神戸で会いましょう!!

神戸支部
支部長 正岡健二 (36回卒)
mobile:090-5903-2408
※対象地域(神戸市内全区)

大樟会 但馬支部
**支部総会に参加して
懐かしい学生時代を
語り合しましょう!**

◎7年度総会は6月14日(土) 待ってます。

支部長 **中川 茂** (40回卒)
Mobile:090-4644-8600

大阪市南支部

支部長 吉川 進 41回卒
mobile:090-1719-3184

**青春がよみがえる場所こそ
南支部、集まれ語れ!!**

*対象地域
<港区・大正区・西区・中央区・浪速区・西成区・天王寺区・阿倍野区・東成区>

大阪市住吉支部

支部長 山本 岩雄 33回卒
mobile:090-1071-0821

**いつまでも元気なOB・OGが
楽しく集う住吉支部!**

*対象地域
<住之江区・住吉区・東住吉区・平野区・生野区>

南大阪支部

支部長 藤田 鉄夫 40回卒
mobile:080-1483-4851

皆で支部総会に参加しよう!!
2025年6月14日(土)
道頓堀ホテル

*対象地域
<大阪狭山市・河内長野市・富田林市・羽曳野市
藤井寺市・松原市・河南町・太子町・千早赤阪村>

京都支部は元気です!!

昨年の12月21日(土)に支部総会を開催。なんと! 新卒の女性を含む11名が初参加。地元有名企業の社長や若手起業家を中心に、まるで「異業種交流会」状態に。総勢53名の賑やかなお祭り総会でした。本年は11月29日(土)に開催予定。乞うご期待!?

支部長 **柴田俊彦** (50回)

人材の意識改革を担う

社員手帳・ノート 経営計画手帳

企業理念、経営計画、行動指針、就業ルールなど
経営陣が伝えたい企業の価値観や目標・課題を明確にした手帳は
社員の行動一つひとつに成長を促す企業風土づくりに貢献します



オリジナル手帳制作
サービスはこちら



大信印刷株式会社 tel.06-6451-7631
〒531-0076 大阪市北区大淀中4丁目13-11 fax.06-6451-3735

庭・No.1



やすらぎのある空間づくり



<https://takasho.co.jp>

株式会社タカショー

本社：和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9
TEL.03-5244-5650
国内16支店・営業所、海外6支店
タカショーグループ19社（国内6社・海外13社）

ガーデン&エクステリアで世界のステージへ



わらび餅カステラ わらかず（笑かす）

大阪いぢくタルト

2025 大阪・関西万博に出店決定！





2013年・広島
全国菓子大博覧会
「名誉総裁賞」受賞

大阪住吉 黒胡椒くず餅
墨よし

大阪産 空港、駅、土産店にて販売中
イベント等特注承ります

みどり製菓株式会社 HP「みどり製菓」で検索
大阪市東住吉区東田辺3-2-2 Tel.06-6691-6186 代表取締役 翠 紀雄(49回) 専務取締役 翠 大輔(78回)

関西・東海に幅広く展開

農業と園芸、家庭菜園の専門店



農業屋

「豊かなみのりにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。主に農業屋では農家さんの「つくる」を、産直市場みのもりでは「売る」をサポートしています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。

つくる人と食べる人をつなぐ農産物直売所 農家の産直市場みのもり


日本最大級の種の通販サイト 農業屋.com <http://www.nogyoya.com>

田んぼ・畑の黙書にお困りの方に!! 防獣バスターズ

農産物流通事業 Happy Vegetable

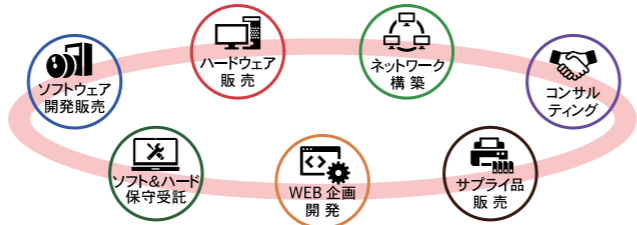
クラギ株式会社 三重県松阪市川井町花田 539 電話：0598-26-1111(代)
HP：https://nogyoya.jp FAX：0598-26-1113(代)

System Integrator & Information Technology




サン・アトラス株式会社

IT Hardware ● Software



サン・アトラス株式会社は、企業が抱えるシステム化、ネットワーク化など様々なお客様のニーズに合わせた情報システムの企画、構築、運用などの業務を一括して請け負い、システム企画・立案からプログラムの開発、必要なハードウェア・ソフトウェアの選定・導入システム保守・管理までのビジネスサポートをトータルに行なうシステムインテグレーション企業です。

サン・アトラス株式会社
大阪市浪速区幸町1-3-19
代表取締役 西口直樹
昭和58年49回卒
準硬式野球部OB



当社企画開発パッケージソフト
警備業向けトータルシステム
SACセキュリティシステム
オンプレ版 / Cloud版

求人急募集
システムエンジニア
プログラマー
システム営業
スキルUPしませんか

なにができるんだろう？



夢と希望にあふれた
社会づくりを実現させるために、
わたしたち大成建設は
これからも人がいきいきとする環境を
創造します。

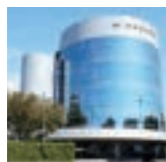
地図に残る仕事。*



大成建設
For a Lively World



日本のインフラを支え 成長を続ける ジッコウグループ



コンクリート関連資材の総合販売

日本ジッコウ株式会社

TEL / 078-974-1141 FAX / 078-974-7786 URL / <https://www.jikkou.co.jp>



機能性モルタル類の総合メーカー

テクノスジャパン株式会社

TEL / 078-924-1234 FAX / 078-924-0050 URL / <https://www.technosjapan.com/>



コンクリート構造物の劣化調査・診断

エースコンサルタント株式会社

TEL / 078-920-2251 FAX / 078-920-2253 URL / <https://www.ace-con.co.jp>



取締役 会長 佐藤武司 (昭和39年 30回卒業)



ウエルシアホールディングス

総店舗 3,010店 (2024年10月現在)

-- グループ企業 --

ウエルシア薬局株式会社 (東京都)
総店舗 2,241店

シミズ薬品株式会社 (京都府)
総店舗 72店

株式会社よどや (高知県)
総店舗 26店

株式会社ププレひまわり (広島県)
総店舗 134店

株式会社コクミン (大阪府)
総店舗 162店

株式会社ふく薬品 (沖縄県)
総店舗 22店

株式会社丸大サクラキ薬局 (青森県)
総店舗 103店

株式会社クスリのマルエ (群馬県)
総店舗 56店

株式会社ウエルパーク (東京都)
総店舗 143店

株式会社 MASAYA (岡山県)
総店舗 39店

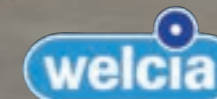
Welcia-BHG (Singapore) Pte.Ltd.
総店舗 12店

ウエルシア介護サービス株式会社
ウエルシアパートナーズ株式会社
ウエルシアオアシス株式会社
ウエルシアリテールソリューション株式会社
株式会社エクスチェンジ

売上1兆2千億円！ 地域とともに発展し続ける ウエルシアホールディングス



大阪経済大学 経済学部卒業
ウエルシアホールディングス株式会社
代表取締役会長 池野隆光



ウエルシアホールディングス株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田二丁目2番15号
<https://www.welcia.co.jp/>

祖谷庄千寿庵



私ども千寿庵は四季それぞれの食材を菓子にすることにより、色鮮やかな日本の春夏秋冬を和菓子を通じて視覚・味覚共に和を感じて頂けるよう日々邁進しております。

祖谷庄千寿庵発祥「祖谷だんご」は、栄養価の高い餅きびを使用し素朴な味わいを楽しめることができます。定番の人気商品「庄わらび餅」は、わらび粉と阿波和三盆糖を長時間炊き上げるわらび餅。もちもち食感と上品な甘味が特徴です。また、日本の四季の美しさを表現した季節商品もございます。千寿庵自慢の和菓子をぜひご賞味ください。



〒569-0046
大阪府高槻市登町27-1
株式会社 千寿庵
第41回生 代表取締役 五十嵐伸行
TEL 072-671-3333
FAX 072-671-1455
<https://senjuan.co.jp/>

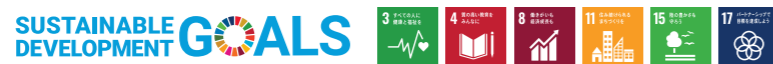


Sustainable Future

新たな価値創造で、
未来を拓く。

6万㎡を超える緑豊かな広場を囲む多彩な店舗。
 ここは、競輪場跡地を活用し、公民連携により誕生した、
 公園の中の商業施設 ブランチ大津京。
 健康的なライフスタイルを提案し、地域のつながりを育む。
 私たち大和リースは、課題解決型のまちづくりを通じて、
 地域の魅力を高める価値創造で、持続可能な未来に貢献します。

複合商業施設 ブランチ大津京(滋賀県大津市)



大和リース株式会社
 本社 大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ビップビル 〒540-0011
www.daiwalease.co.jp



海上輸送や航空輸送、通関、国内配送など
 出荷から納品までをトータルにサポートいたします
国際物流のことならAITにお任せください



株式会社エーアイティー

本 社 : 大阪市中央区本町二丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階
 TEL 06-6260-3450 FAX 06-6260-3460
 東 京 支 社 : 東京都中央区八丁堀四丁目5番4号 FORECAST 桜橋2階
 TEL 03-5542-3340 FAX 03-3551-7720
 名 古 屋 営 業 所 : 愛知県名古屋市中区丸の内三丁目17番13号 いちご丸の内ビル8階
 TEL 052-963-0260 FAX 052-963-0261
 福 岡 営 業 所 : 福岡県福岡市博多区博多駅中央街8番27号 第16岡部ビル9階
 TEL 092-433-7560 FAX 092-433-7561

大阪経済大学 経営学部卒業 (39回卒)
株式会社エーアイティー
 代表取締役社長 矢倉英一

